brother

ユーザーズガイド パソコン活用編

DCP-9040CN
MFC-9440CN
MFC-9450CDN
MFC-9640CW
MFC-9840CDW

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド
「こんなときは」で調べる　ユーザーズガイド

2 

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 6P

Version C

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。

冊子

はじめにお読みください

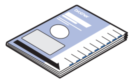
「かんたん設置ガイド」



・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」



・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリント
・日常のお手入れ
・消耗品や部品の交換

HTML（CD-ROM）

使いたい機能をすばやく探せます

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■「ユーザーズガイド」

・ファクス/プリンタ/コピーの使いかた
・トラブルがおきたときの対処方法
・消耗品の注文

■「パソコン活用ガイド」

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・Control Centerで便利に使う

■「ネットワーク設定ガイド」

・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定



PDF

最新版をダウンロードできます

「パソコン活用ガイド」（本書）
「かんたん設置ガイド」
「ネットワーク設定ガイド」
「ユーザーズガイド」

補足

●Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから画面で見るマニュアル（HTML形式）を閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［モデル名］－［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を選んでください。

●Macintoshをお使いの場合

①CD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットします。

②[Documentation]フォルダをダブルクリックします。

③画面で見るマニュアル（HTML形式）：XXX-XXXXXXX_JpnTop.htmlファイルを開いてください。

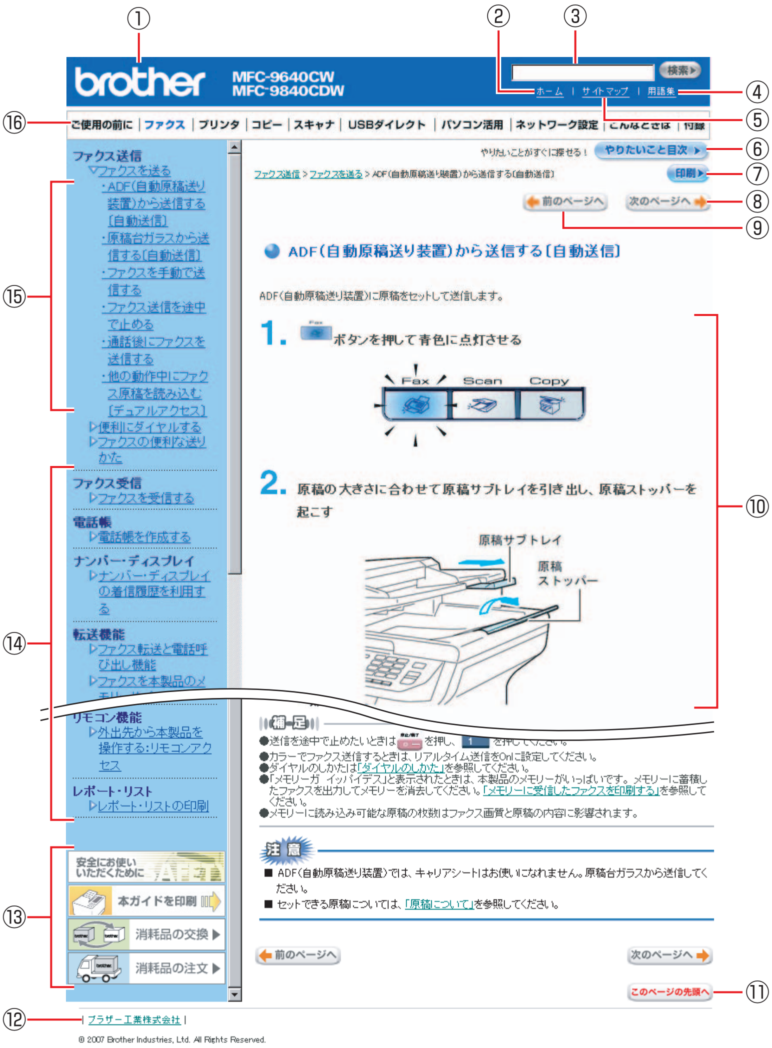
●最新のユーザーズガイドは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作

画面で見るマニュアル（HTML形式）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。



①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	本ガイドの全体構成図を表示します。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷する場合の説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑦	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①②	トップページに移動します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑥	やりたいこと目次に移動します。
⑦	現在のページを印刷します。
⑧	次のページに移動します。
⑨	前のページに移動します。
⑩	操作内容を表示します。
⑪	現在のページの最上部に移動します。
⑫	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑬	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷するときの説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑭	大見出しです。
⑮	中見出し・小見出しです。
⑯	各機能のページ（章）に移動します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
P.XXX	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemです。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system です。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows、Windows Server、Windows VistaおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、Apple Inc.の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop、PostScript、PostScript3は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
Intel、Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

関連する内容を説明しているページを示します。

章を示します。

見出しインデックスです。現在の章を青色と黒色で示します。

大見出しです。

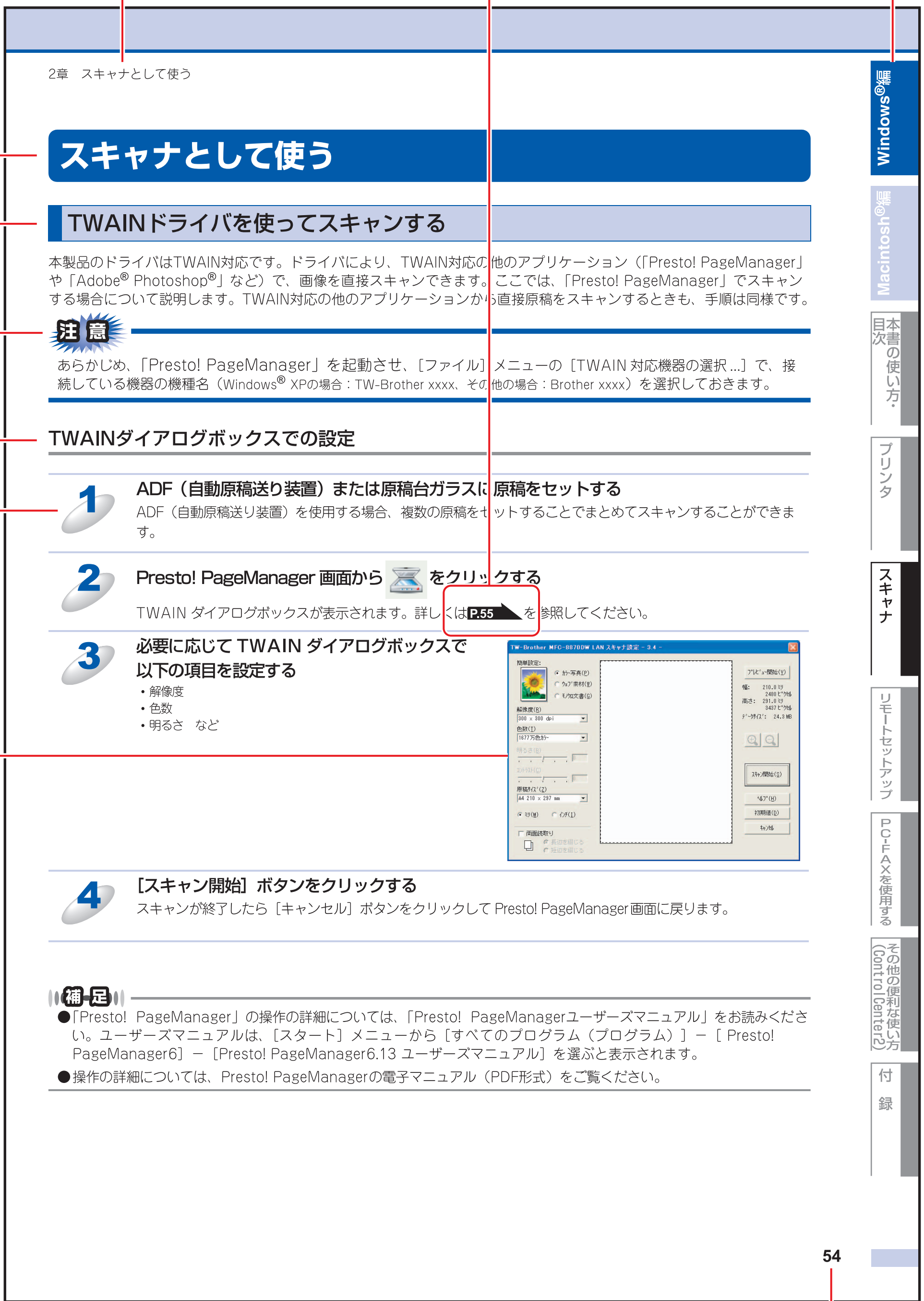
中見出しです。

ご注意していただく内容です。

小見出しです。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。



ページ番号です。

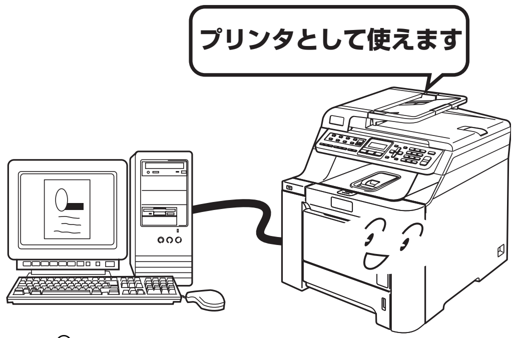
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

プリンタ

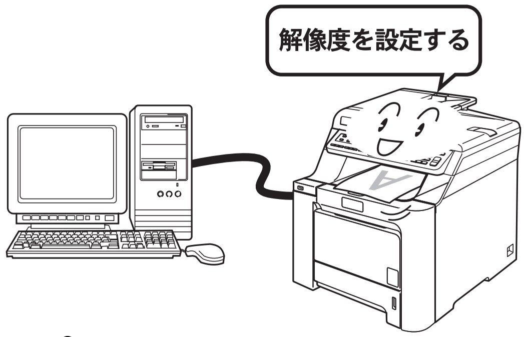
プリンタとして使いたい。



[Windows® の場合]
P.17

[Macintosh の場合]
P.151

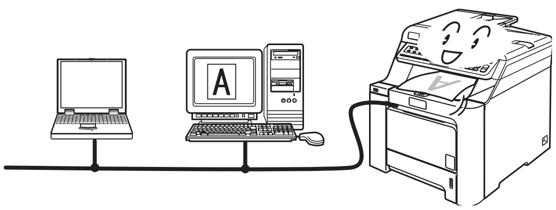
印刷設定を変更したい。



[Windows® の場合]
P.30

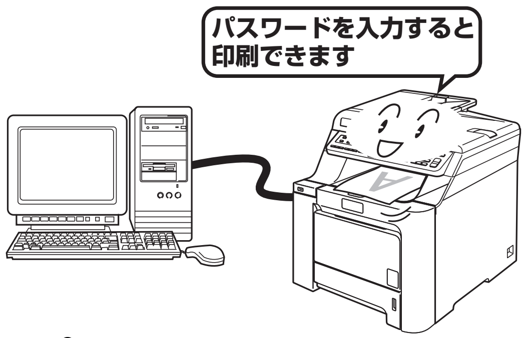
[Macintosh の場合]
P.160

ネットワーク内で本製品を共有プリンタとして使いたい。



詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」を参照してください。

機密文書を印刷したい。[セキュリティ印刷]

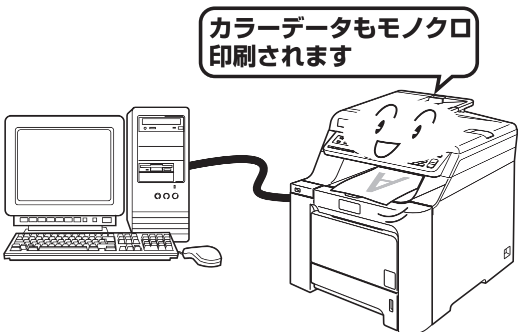


[Windows® の場合]
P.38

[Macintosh の場合]
P.166

モノクロ印刷だけに制限したい。

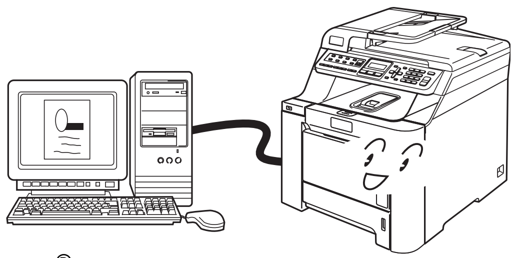
ドライバの設定により、カラーデータもモノクロ印刷されるよう制限できます（Windows® のみ）。



P.28 および P.42

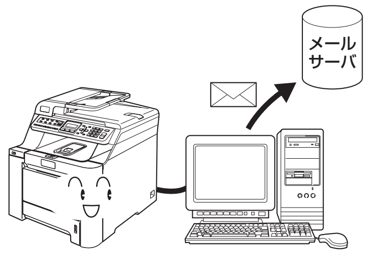
スキャナ

原稿をスキャンしてコンピュータに保存したい。
［スキャン to ファイル］
スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。



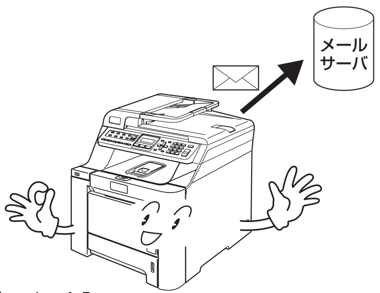
［Windows® の場合］
P.71
［Macintosh の場合］
P.186

原稿をスキャンして E メールで送りたい。
［スキャン to E メール添付］
スキャンした原稿を E メールに添付して送信できます。



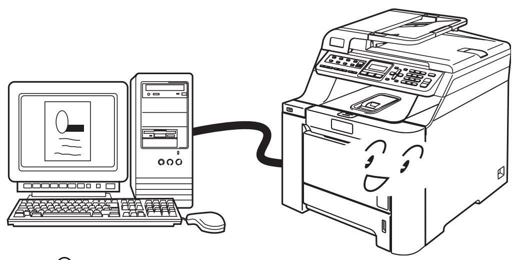
［Windows® の場合］
P.68
［Macintosh の場合］
P.183

原稿をスキャンして本製品から E メールで送りたい。
［スキャン to E メール送信］
（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）
スキャンした原稿をコンピュータに送らず、本製品から直接、E メールで送信できます。



［Windows® の場合］
P.60
［Macintosh の場合］
P.175

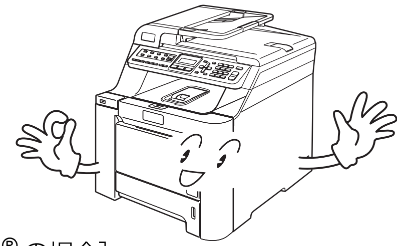
原稿をスキャンしてアプリケーションソフトに送りたい。
［スキャン to イメージ］
スキャンした原稿をコンピュータのアプリケーションソフトに送って編集できます。



［Windows® の場合］
P.69
［Macintosh の場合］
P.184

原稿をスキャンして FTP サーバーに送りたい。
[スキャン to FTP]

スキャンした原稿をネットワーク上またはインターネット上の FTP サーバーに保存できます。



[Windows® の場合]

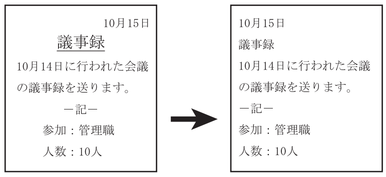
P.63

[Macintosh の場合]

P.178

文字を修正できるようにスキャンしたい。
[スキャン to OCR]

スキャンした原稿を解析して、文書（テキスト）データに変換できます。



[Windows® の場合]

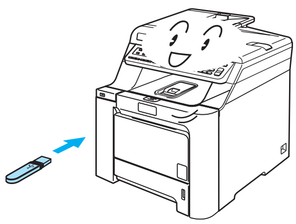
P.70

[Macintosh の場合]

P.185

原稿をスキャンしてUSBメモリに保存したい。
[スキャン to USB]
（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW）

スキャンした原稿を本製品に接続したUSBメモリに保存できます。



[Windows® の場合]

P.66

[Macintosh の場合]

P.181

コンピュータを使わずにスキャンしたい。
[スキャン to E メール送信]
（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）
[スキャン to FTP]
[スキャン to USB]
（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW）

スキャンした原稿をコンピュータに送らずに、本製品で E メール送信／ FTP サーバーへの送信／ USB メモリーへの保存ができます。

[Windows® の場合]

P.60（スキャン to E メール送信）
P.63（スキャン to FTP）
P.66（スキャン to USB）

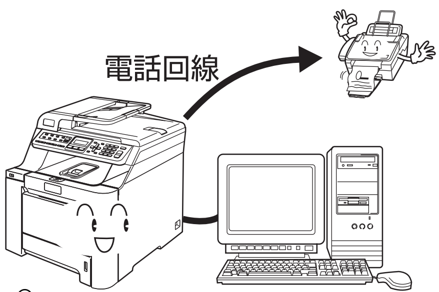
[Macintosh の場合]

P.175（スキャン to E メール送信）
P.178（スキャン to FTP）
P.181（スキャン to USB）

PCファクス（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW）

コンピュータからファクスを送りたい。
［PC ファクス送信］

コンピュータで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。

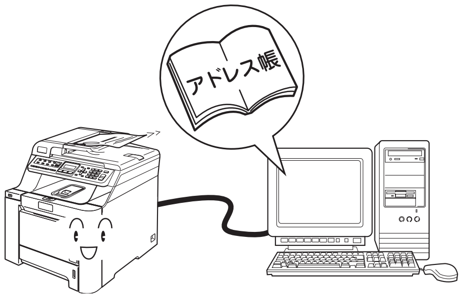


［Windows® の場合］
P.106

［Macintosh の場合］
P.216

アドレス帳を利用したい。
［PC ファクスアドレス帳］（Windows® のみ）

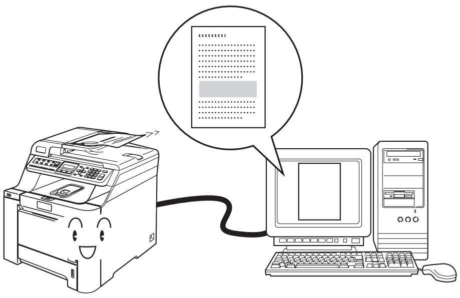
PC ファクスを送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。



P.112

受信したファクスをコンピュータで確認したい。
［PC ファクス受信］（Windows® のみ）

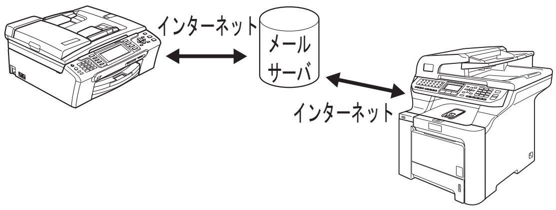
受信したファクスを本製品と接続しているコンピュータに送ります。コンピュータ上で内容を確認してから印刷できます。



P.123

インターネットファクス（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）

インターネット経由でファクスを送信、受信したい。[インターネットファクス]



[Windows® の場合]
P.130
※Macintoshには対応しておりません。

その他

スキャナ、PC ファクスなどをかんたんに起動したい。[ControlCenter2、3]



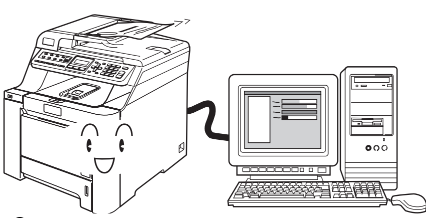
[Windows® の場合]
P.141
[Macintosh の場合]
P.221

コンピュータから本製品の状態を確認したい。[ステータスモニタ]



[Windows® の場合]
P.23
[Macintosh の場合]
P.158

パソコンから簡単に電話帳の登録などの設定をしたい。[リモートセットアップ]



[Windows® の場合]
P.90
[Macintosh の場合]
P.200

目　次

Windows® 編

付　録

Windows®編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Windows® 2000/XP/XP x64 Edition、Windows Server® 2003（ネットワーク接続のみ）、Windows Vista®対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
コンピュータとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。OSごとのプリンタドライバについて詳しくは、「画面で見るマニュアル(HTML形式)」の「ネットワーク設定ガイド」を参照してください。

補足

Windows® XP/Winodws Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて印刷できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピュータからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高20枚の印刷ができます。（カラー／モノクロなど印刷する内容によって異なります。）

● 自動両面印刷（MFC-9450CDN/MFC-9840CDW のみ）

1分間に最高７ページ/分※の両面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）
省資源、経費節減に有効です。
※両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、3.5枚/分です。

● 2400 × 600dpi 出力

普通紙に2400×600dpi相当の解像度で印刷します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、ラベル紙およびはがきなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照してください。

● セキュリティ印刷

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.38を参照してください。

● モノクロの印刷制限

モノクロ印刷だけできるように設定できるため、経費節減に有効です（カラーデータを送ってもモノクロ印刷されます)。これは、カラー / モノクロ設定でモノクロ印刷を選び、パスワードでロックすることで実現されます。詳しくはP.28およびP.42を参照してください。

● カラー設定

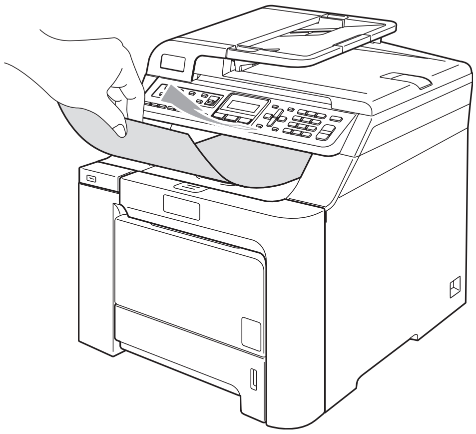
詳細な色合いを調整できます。調整に使う画像は、お好きなものを取り込んで使用できます。詳しくはP.31を参照してください。

● ID 印刷

設定したID（ユーザー名など）を印刷できます。印刷したものが第三者に渡るのを防ぎます。詳しくはP.43を参照してください。

補足

- 解像度などの設定についてはP.30を参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド1章「記録紙について」を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本製品がコンピュータからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピュータの印刷終了後です。また、MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW では、コンピュータから印刷中にファクスを受信すると、コンピュータの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも可能です。

注 意

- ■ご使用のソフトウェアの種類やコンピュータの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。
- ■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙を使用しないでください。紙づまりなどの原因となります。60g/m^2 ～ 163g/m^2 の記録紙を使用してください。また、プリンタドライバの［用紙種類］を、記録紙に合わせて設定してください。
- ■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

印刷する

片面に印刷する

1. アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2. ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする



3. 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

4. ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする
   プリントデータランプ（DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する（MFC-9450CDN/MFC-9840CDWのみ）

両面印刷できるのは、A4サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）のみです。

1. アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2. ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3. ［基本設定］タブの両面印刷 / 小冊子印刷から［両面印刷］を選択する
   両面印刷の設定は、［拡張機能］タブから行います。詳しくは、P.30 を参照してください。

4. ［OK］をクリックする

5. ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする
   プリントデータランプ（MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

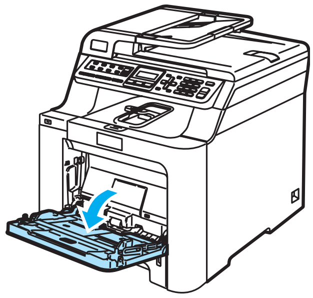
補足

- ●印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。
- ●カラーで両面印刷する場合の品質は、記録紙の種類や紙質によって異なります。あらかじめ試し印刷することをお薦めします。

多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

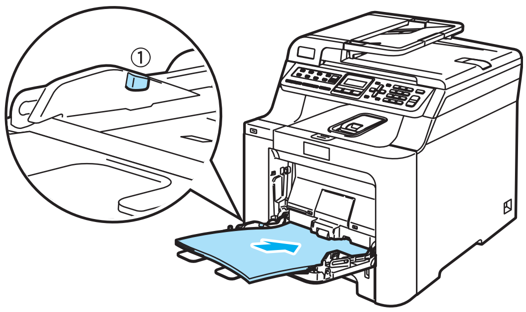
1 **多目的トレイを開く**

必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。



2 **印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする**

記録紙は、多目的トレイ（MP トレイ）の両側にある記録紙ガイド（①）に収まるようにセットしてください。



3 **記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる**

4 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

5 **［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする**

6 **用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする**

7 **［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする**

プリントデータランプ（DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

操作パネルからの操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

1 **キャンセル を押す**

メモリー内のデータが消去されます。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

1 **(DCP-9040CN)**

メニュー 、3 DEF 、2 ABC 、1 の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー 、4 GHI 、2 ABC 、1 の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2 **カラー スタート または モノクロ スタート を押す**

フォントリストが出力されます。

3 **停止/終了 を押す**

プリント設定内容リストの出力

現在のプリント設定内容を印刷できます。

1 **(DCP-9040CN)**

メニュー 、3 DEF 、2 ABC 、2 ABC の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー 、4 GHI 、2 ABC 、2 ABC の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2 **カラー スタート または モノクロ スタート を押す**

プリント設定内容が出力されます。

3 **停止/終了 を押す**

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

1

(DCP-9040CN)

メニュー、3 DEF、4 GHI の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC-9450CDN)

メニュー、4 GHI、4 GHI の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、4 GHI、5 JKL の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2

1 を押す

プリント設定内容が初期化されます。

3

停止/終了 を押す

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のコンピュータからステータスモニタで本製品の状態を確認できます。

ステータスモニタを起動する

1 **［スタート］メニューの［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］の順に選択する**

ステータスモニタウインドウが表示されます。

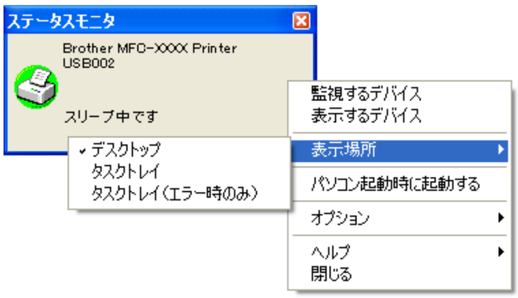


2 **ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする**



3 **ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューの［表示場所］から、ステータスモニタを表示させたい場所を選択してチェックする**

ステータスモニタアイコンが選択した表示場所に表示されます。



補足

- タスクバーの通知領域にあるステータスモニタアイコンを右クリックしても手順2～3の操作が可能です。
- ［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、次回起動時からステータスモニタは表示されません。本製品の状態を確認する必要がなく、印刷速度を上げたい場合は、ステータスモニタを非表示にしてください。

本製品の状態を確認する

ステータスモニタアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

- **緑色のアイコン**

  本製品は正常に動作しています。

- **黄色のアイコン**

  本製品は警告状態です。

- **赤色のアイコン**

  本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題の解決方法は、「画面で見るマニュアル(HTML形式)」の「こんなときは」を参照してください。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター　http://solutions.brother.co.jp/）
ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピュータから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

2 **［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする**

3 **各項目を設定する**

設定内容の詳細は P.26 を参照してください。



4 **［OK］をクリックする**

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

補足

お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効になります。両方を設定せず、プリンタドライバでのみ設定してください。

［基本設定］タブでの設定項目



設定後［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① 現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

② 用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

- A4
- レター
- リーガル
- A5
- A6
- B5
- バイブルサイズ
- ハガキ
- 洋形4号
- 洋形定形最大
- ユーザー定義...
- A3
- B4

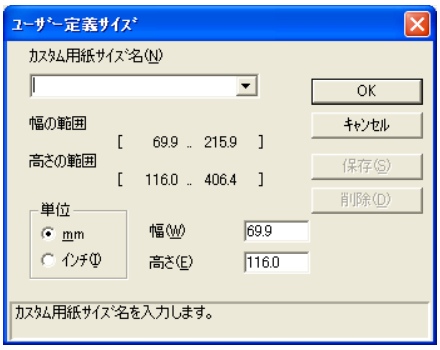
＜ユーザー定義サイズ＞

本製品は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

最小　69.9×116ミリメートル（2.75×4.56インチ）
最大　215×406.4ミリメートル（8.5×16インチ）

このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

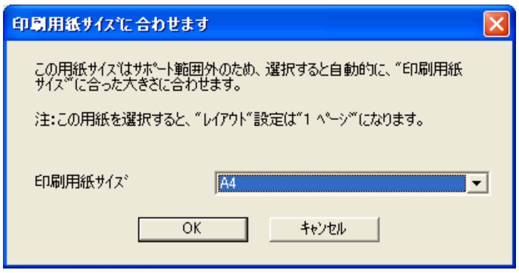
1 使いたい用紙のサイズを計ります。
2 ［用紙サイズ］から［ユーザー定義 ...］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
3 ［カスタム用紙サイズ名］に用紙サイズを入力します。
4 単位は［mm］か［インチ］を選択します。
5 ［幅］と［高さ］を指定します。
6 ［保存］をクリックして用紙サイズを登録します。必要に応じて［削除］をクリックすることで、あらかじめ登録してある用紙サイズを削除することができます。
7 ［OK］をクリックすると、設定した値をユーザー定義サイズとして使用することができます。



＜印刷用紙サイズに合わせます＞

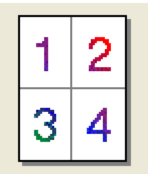
［用紙サイズ］から［A3］または［B4］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。

本製品で対応していない用紙サイズ（A3、B4）を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの［印刷用紙サイズ］で印刷可能サイズに変換して印刷します。

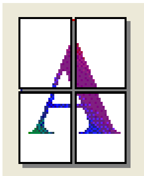


③ レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。



例：４枚を１ページに縮小印刷



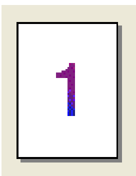
例：１枚を４ページに拡大印刷

仕切り線

［レイアウト］機能で複数のページを１枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「————」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

④ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

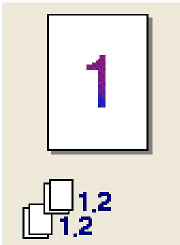
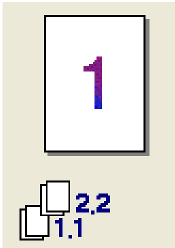
縦選択時	横選択時
	

⑤ 部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。［部単位］のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。［部単位］チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
	

⑥ 用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙（厚め）
- 普通紙
- 厚紙
- 超厚紙
- ボンド紙
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙
- ハガキ
- ラベル紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。

厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。

再生紙には［再生紙］を選択します。

⑦ 両面印刷／小冊子印刷（MFC-9450CDN/MFC-9840CDW のみ）

自動両面印刷または小冊子印刷をするときにプルダウンメニューから選択します。

- 両面印刷..自動で用紙の両面に印刷したい時、設定します。
- 小冊子印刷....................................小冊子印刷をしたい時、選択します。

⑧ カラー / モノクロ

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを切り替えます。

- カラー /モノクロ自動切換........ページごとにカラー設定とモノクロ設定を自動的に切り替えて印刷します。印刷速度は多少低下します。
- カラー..すべてのページをカラー印刷します。
- モノクロ..すべてのページをモノクロ印刷します。

補足

シアン、マゼンタ、またはイエローのトナーがなくなった場合は、「モノクロ」を選択すると、ブラックのトナーがなくなるまでモノクロ印刷を続けることができます。

⑨ 給紙方法

オプションの「記録紙トレイ#2」（LT-100CL）を装着しているときは、1ページ目と2ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- トレイ2（オプション）
- MPトレイ（多目的トレイ）
- 手差し

[拡張機能] タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

注意

Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

印刷品質



① 印刷品質

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 標準（600 x 600 dpi）..............通常の印刷にお勧めします。
- きれい（2400 dpi 相当）..........写真などをなめらかに印刷できます。ただし印刷速度が低下することがあります。

② カラー設定

カラー印刷の色合いを変化させることができます。

- 標準......標準的な色合いで印刷します。
- 鮮やかな色合い......鮮やかな色合いで印刷します。
- 自動切換え.......上記2つのモードをプリンタドライバが自動で切り替えて印刷します。
- なし

③ 設定ボタン

「②カラー設定」で［標準］または［鮮やかな色合い］を選択した場合、さらに明るさやコントラスト、色合い等を調節できます。［設定］ボタンをクリックすると、［カスタム設定］ダイアログが表示されます。



ここで調節した内容とプレビュー画面として選択した画像は、「パラメータセットファイル」として保存することができます。このファイルを使って、別のパソコンにインストールしたプリンタドライバに、同一の値を設定することができます。

④ 読み込み

「パラメータセットファイル」を読み込んで、上記各設定値とプレビュー画面用画像を、ファイルに保存されているデータに変更します。

⑤ 書き出し

上記各設定値とプレビュー画面用画像データを、指定したファイル名で「パラメータセットファイル」として保存します。

⑥ グレーの印刷を改善する

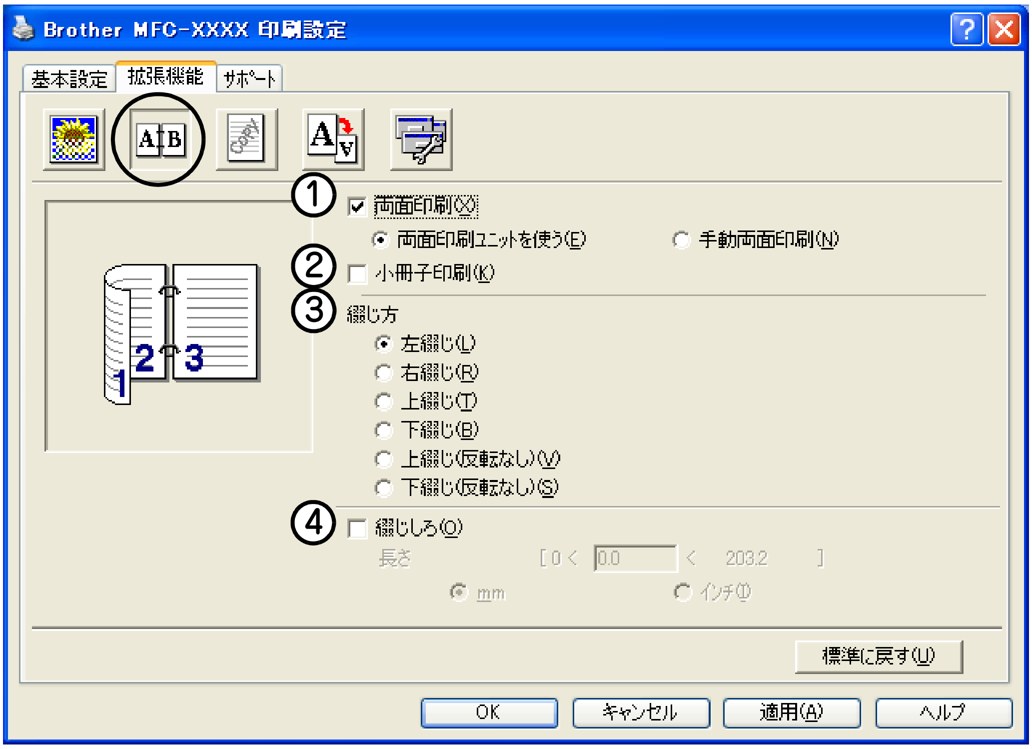
グレーの部分に他の色が混じってグレーに印刷できないときに、このチェックボックスをチェックします。

⑦ 黒色を強調して印刷する

黒の部分が十分に黒く印刷できないときに、このチェックボックスをチェックします。

両面印刷（MFC-9450CDN/MFC-9840CDWのみ）

両面印刷の際のいろいろな設定ができます。



① 両面印刷

チェックボックスをチェックすると、両面印刷を自動で行うか手動で行うかが選択できます。

- 両面印刷ユニットを使う
  本製品内部の両面印刷ユニットを使って自動で両面印刷をします。
- 手動両面印刷
  チェックボックスをチェックすると、はじめに偶数番号のページ（裏面）を印刷します。その後、プリンタがいったん停止し、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、［OK］ボタンをクリックすると、奇数番号のページ（表面）の印刷を開始します。

補足

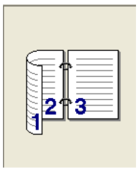
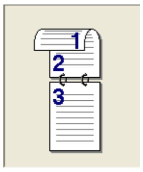
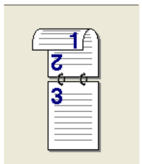
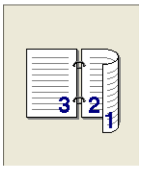
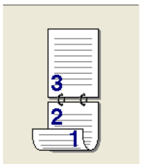
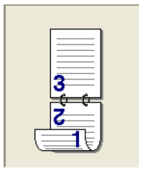
はがきに手動両面印刷する場合は、最初に裏面（宛名面ではない方）を印刷し、その後、表面（宛名面）を印刷するときれいに印刷できます。

② 小冊子印刷

両面印刷のチェックボックスにチェックすると、小冊子印刷が選択できます。小冊子としての印刷をしたい時に設定します。印刷が終了した後、印刷した用紙の真中を折り曲げると小冊子になります。

③ 綴じ方

印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方から選択します。

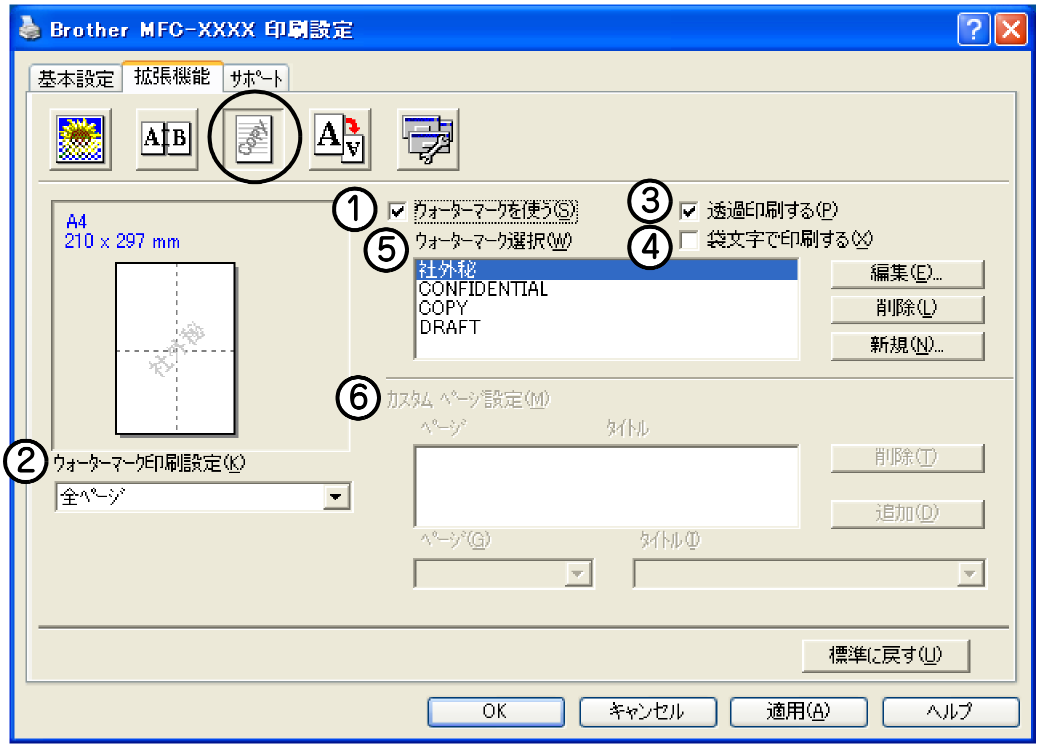
左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
		
右綴じ	**下綴じ**	**下綴じ（反転なし）**
		

④ 綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の量をインチ（0～8インチ）またはミリメートル（0～203.2mm）で設定できます。

すかし（ウォーターマーク）設定

ロゴや本文をすかし絵（ウォーターマーク）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイル、またはテキストをウォーターマークとして新規に登録して使うことができます。
［ウォーターマークを使う］をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。



① ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークの選択ができます。

② ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム..........................ページごとに異なるウォーターマークを設定できます（⑥参照）。

③ 透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書に対し透過してウォーターマークが印刷されます。

④ 袋文字で印刷する

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

⑤ ウォーターマーク選択

選択したウォーターマークが左のプレビュー画面に表示されます。
ウォーターマーク印刷設定（②）で［全ページ］、［開始ページのみ］、［2ページ目から］を選択した場合、指定のページにはここで選択したウォーターマークが印刷されます。

⑥ カスタムページ設定

ウォーターマーク印刷設定（②）で［カスタム］を選択すると、ページごとに異なるウォーターマークを設定できます。

● 設定の追加

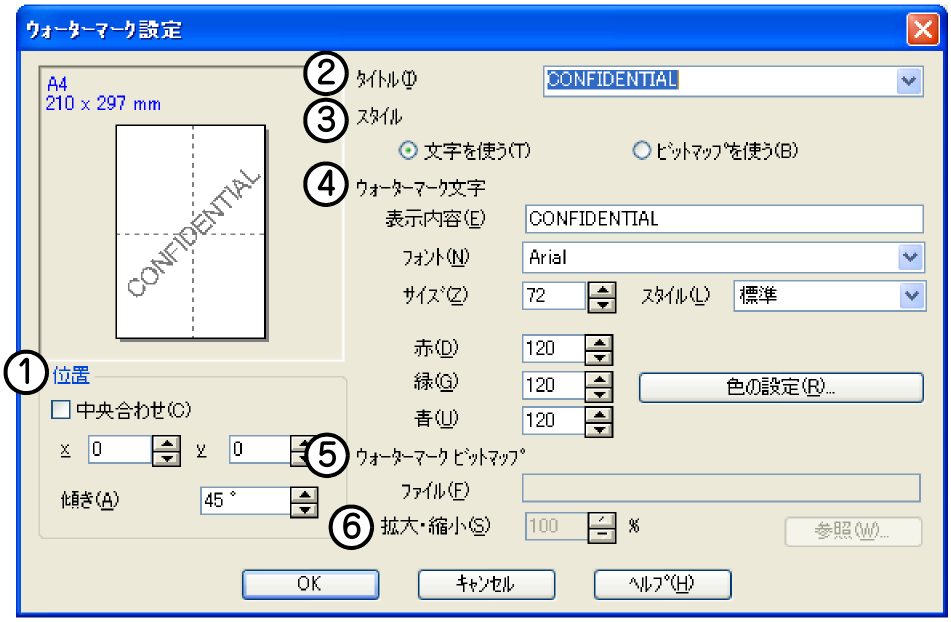
1. ［ページ］にウォーターマークを設定したいページを入力します。
2. ［タイトル］で使用したいウォーターマークを選択します。
3. ［追加］をクリックします。設定テーブル（左の枠）に追加表示されます。

● 設定の削除

1. 設定テーブルで、削除したいページの設定を選択します。
2. ［削除］をクリックします。ウォーターマークが削除され、設定テーブルに表示されなくなります。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、［編集］ボタンを押すと、選択したウォーターマークの設定情報が表示されます。
また、これらの設定値はすべて変更することができます。
新しいウォーターマークを追加したい場合は、［ 新規 ］ボタンをクリックし、［タイトル］および［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択し、その他の情報を設定します。



① 位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

② タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、［ウォーターマーク選択］に表示されます。

③ スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を［表示内容］ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイル、色を選択します。

⑤ ウォーターマークビットマップ

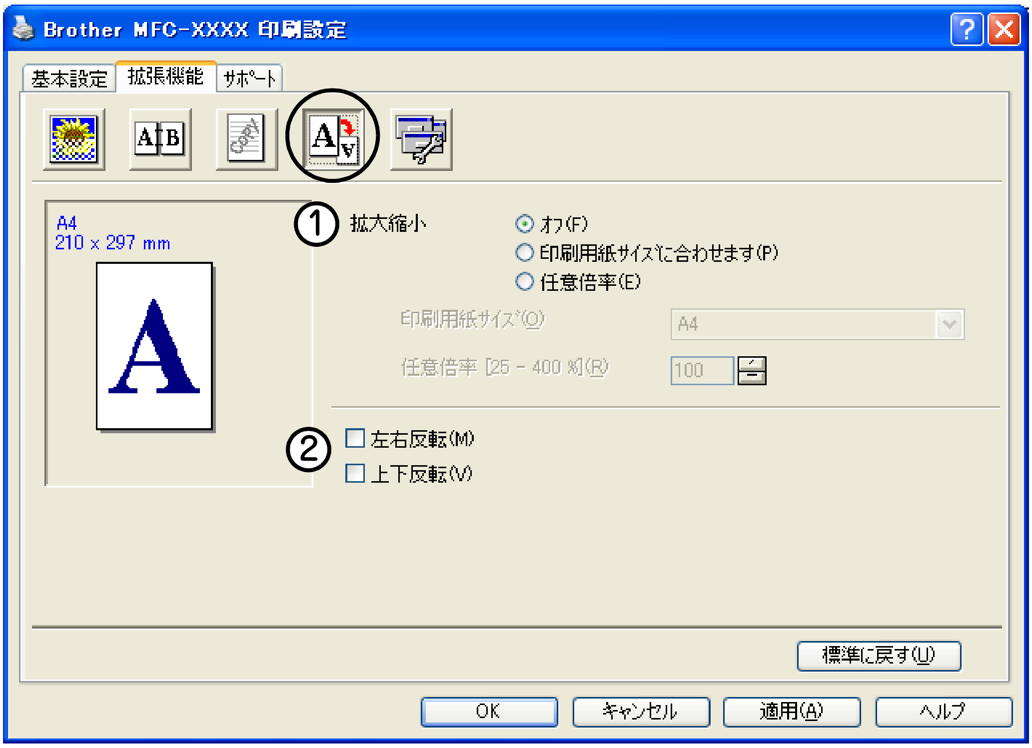
［ファイル］ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、
［参照］ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥ 拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。



① 拡大縮小

文書を作成したサイズどおりに印刷する場合は、［オフ］を選択します。記録紙サイズに合わせて倍率を変えたい場合は、［印刷用紙サイズに合わせます］を選択して、用紙サイズを選択します。

倍率を指定する場合は、［任意倍率］を選択して、倍率を指定します。

② 左右反転 / 上下反転

［左右反転］機能や［上下反転］機能をページの設定に使用することもできます。

その他特殊機能

［その他の特殊機能］で各機能を設定できます。

補足
お使いのアプリケーションソフトによって設定できる内容が異なります。

● セキュリティ印刷

コンピュータから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

コンピュータ側でセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する

▼

コンピュータで印刷を実行する

▼

印刷データが本製品に届き、本製品内に保持される

▼

本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

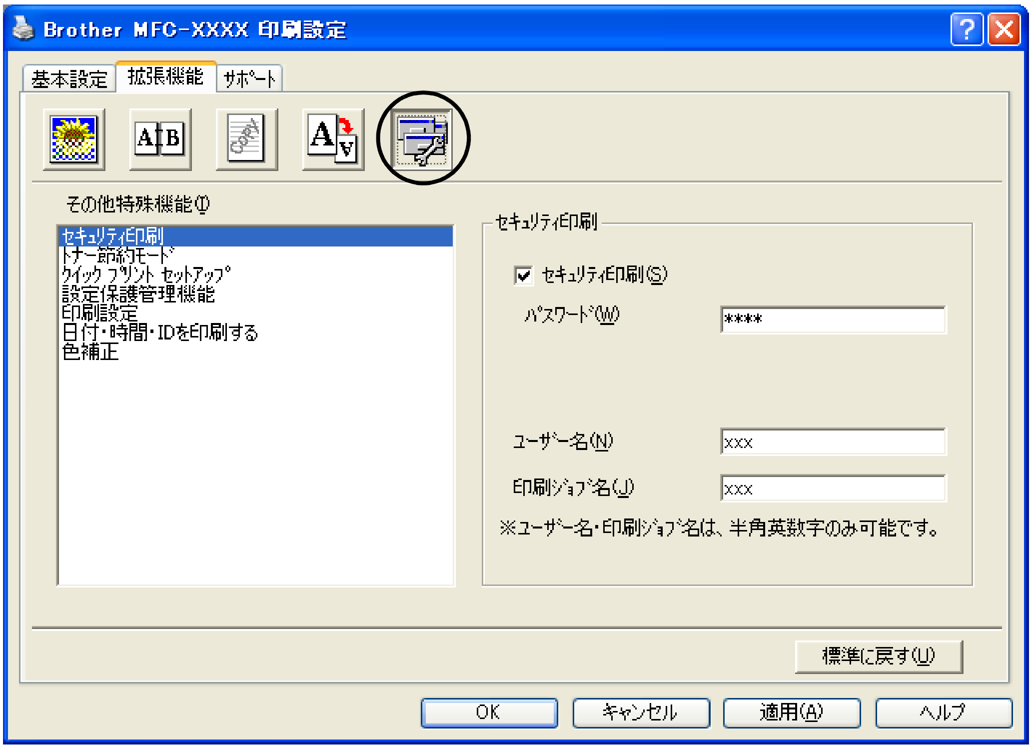
パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。

● コンピュータ側の操作

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 ［印刷設定］ダイアログボックスの［拡張機能］タブで、［その他特殊機能］をクリックする



4 ［セキュリティ印刷］で、［セキュリティ印刷］チェックボックスにチェックを付ける

5 パスワード（半角英数４文字）、ユーザー名、印刷ジョブ名を設定する

6 ［OK］をクリックする

7 ［印刷］ダイアログボックスで印刷を実行する

● 本製品の操作

8 セキュリティを押す

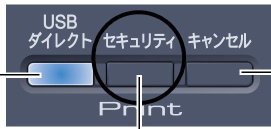
メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データガ　アリマセン」と表示されます。



セキュリティ印刷をします。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

DCP-9040CN



USB ダイレクト印刷を行います。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷をします。

MFC-9440CN/MFC-9450CDN/
MFC-9640CW/MFC-9840CDW

9 ▲または▼を押してユーザーを選択し、OKを押す

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
KOIZUMI              ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
セキュリティ プ゛リント
 ナマエ ?
▲  KOIZUMI
▼  SAKAI
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
```

10 ▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OKを押す

```
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
TEST1                ▲▼
```

```
セキュリティ プ゛リント
 プ゛ンショメイ ?
   TEST1

▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
```

11 4 桁のパスワードを入力し、OKを押す

```
ニュウリョク&OKボ゛タン
パ゛スワート゛:XXXX
```

```
セキュリティ プ゛リント
  TEST1

  パ゛スワート゛:XXXX
ニュウリョク&OKボ゛タン
```

12 ▲または▼を押して「プリント」を選択し、OKを押す

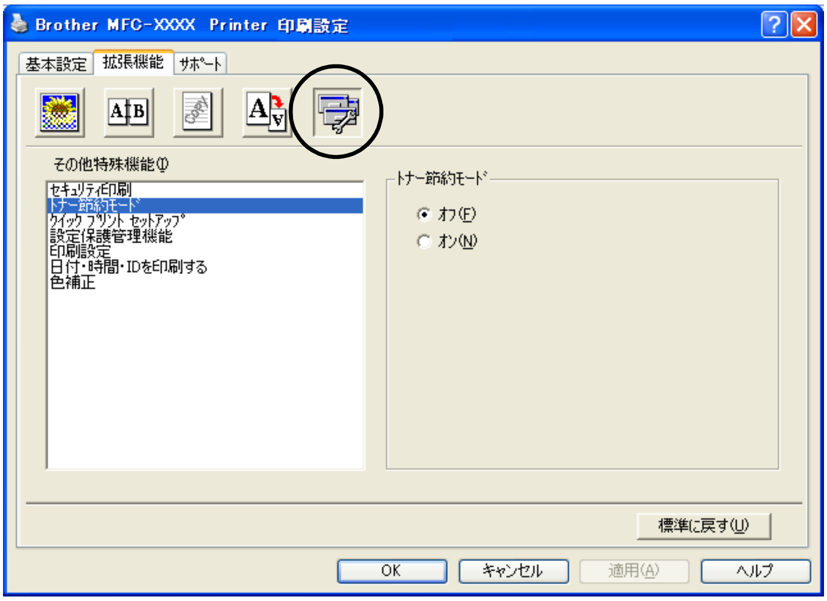
- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「ショウキョ」を選択し、OKを押してください。

```
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
プ゛リント             ▲▼
```

```
セキュリティ プ゛リント
 TEST1
▲  プ゛リント
▼  ショウキョ
▲▼デ゛ センタク&OKボ゛タン
```

● トナー節約モード

［オン］を選択すると、印刷密度を下げてトナーの消費量を抑えることができます。

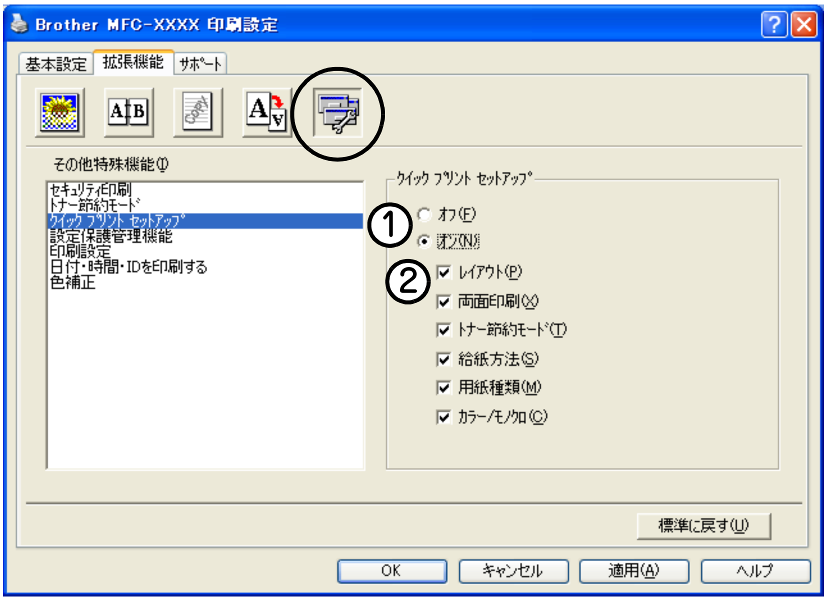


補足

グレースケールや写真を印刷するときは、［トナー節約モード］を［オフ］にしてください。

● クイックプリントセットアップ

ドライバの設定を素早く選択できます。



① クイックプリントセットアップ　オン / オフ

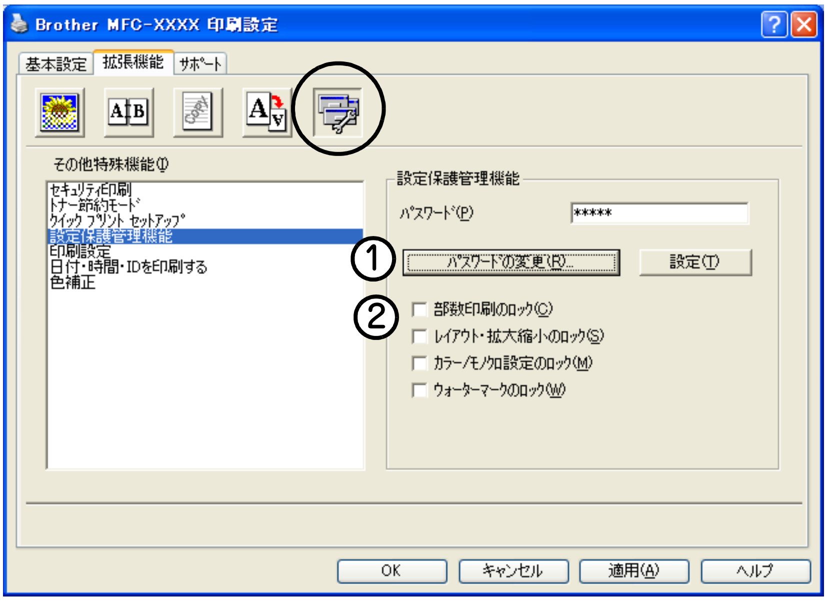
クイックプリントセットアップを［オン］にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクバーの通知領域のアイコンをクリックするだけで、設定を確認できます。

② 項目の表示／非表示

［オン］を選択した場合で、クイックプリントセットアップに表示させたくない項目があるときは、その項目のチェックを外します。

● 設定保護管理機能

パスワードを設定することにより、印刷機能を制限することができます。



① パスワード

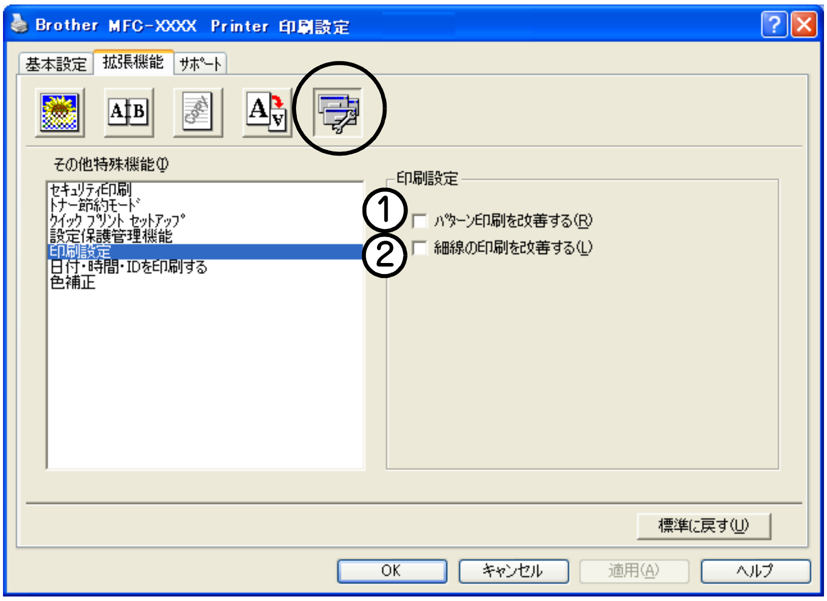
初めてパスワードを設定する場合、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

② 制限したい機能

制限したい機能にチェックを付け、［設定］をクリックします。

ここで［カラー/モノクロ設定のロック］にチェックを付けると、［基本設定］タブP.28で選択したモノクロ印刷に固定されます。

● 印刷設定



①パターン印刷を改善する

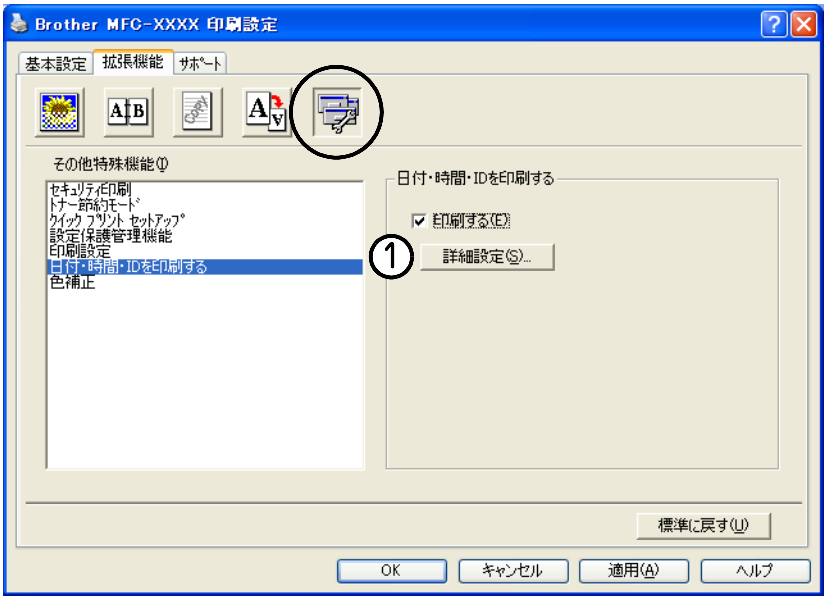
グラフのようなパターンが含まれる図形を印刷する際に、パターンが細かい（パソコン画面上の表示よりも印刷されるものの方が細かい）場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。

②細線の印刷を改善する

グラフなどの図形において、印刷された細線が細い場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。

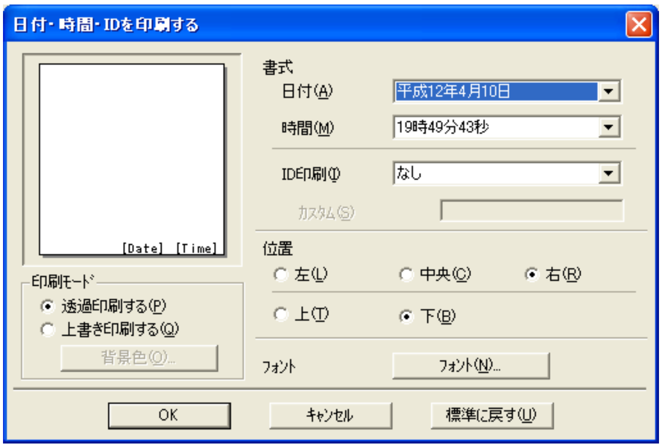
● 日付・時間・ID を印刷する

印刷した日付と時間、ユーザーを識別するためのID情報を設定したフォーマットで文書に印刷できます。



①詳細設定ボタン

日付・時間・IDの設定をするには、［印刷する］チェックボックスをチェックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。［日付・時間・IDを印刷する］ダイアログボックスが表示されます。

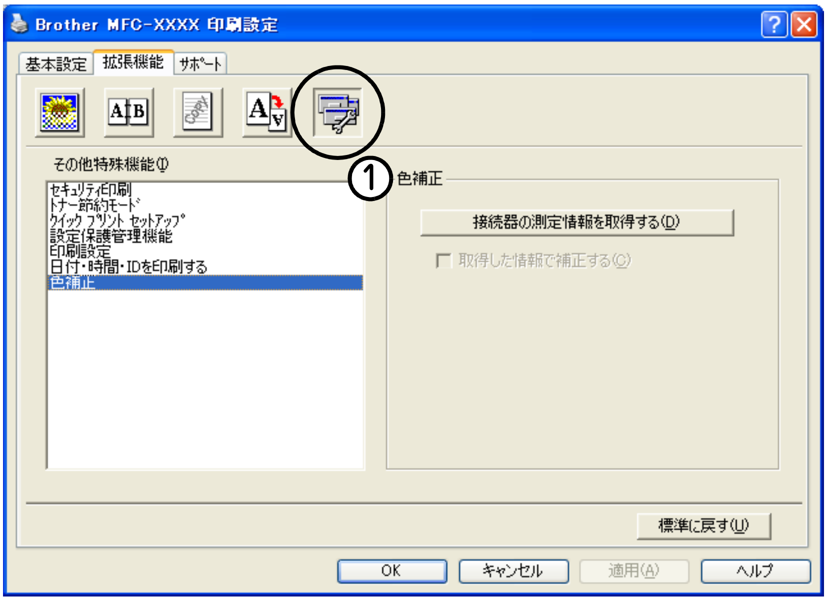


印刷モード、日付と時間の書式、ID印刷、位置、フォントを設定します。

- 印刷モード
  ［上書き印刷する］を選択すると、付加する文字の背景が色で印刷され、文字を目立たせることができます。背景の色は［背景色］で指定します。
  ［透過印刷する］を選択すると、付加する文字だけ印刷されます。
- ID印刷
  ［ログインユーザー名］を選択すると、パソコンにログインしたユーザー名が印刷されます。
  ［カスタム］を選択すると、［カスタム］欄に入力した名前が印刷されます。

● 色補正

各カラーの印刷密度は、本製品の設置場所の温度や湿度といった環境により変化します。
本製品に格納されているカラー測定情報を利用してカラー印刷密度を改善し、色補正することができます。



①色補正

- 接続器の測定情報を取得する
  ［接続器の測定情報を取得する］をクリックすると、本製品からカラー測定情報を取得します。
- 取得した情報で補正する
  カラー測定情報を取得すると、自動的にチェックボックスがチェックされます。取得したカラー測定情報を使用しない場合は、チェックを外してください。

［オプション］タブでの設定項目

オプションの「増設記録紙トレイ」（LT-100CL）※を装着し、使用可能にするには、ドライバにオプションをインストールする必要があります。オプションタブでは、プリンタに装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。
※MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ

［オプション］タブを表示する

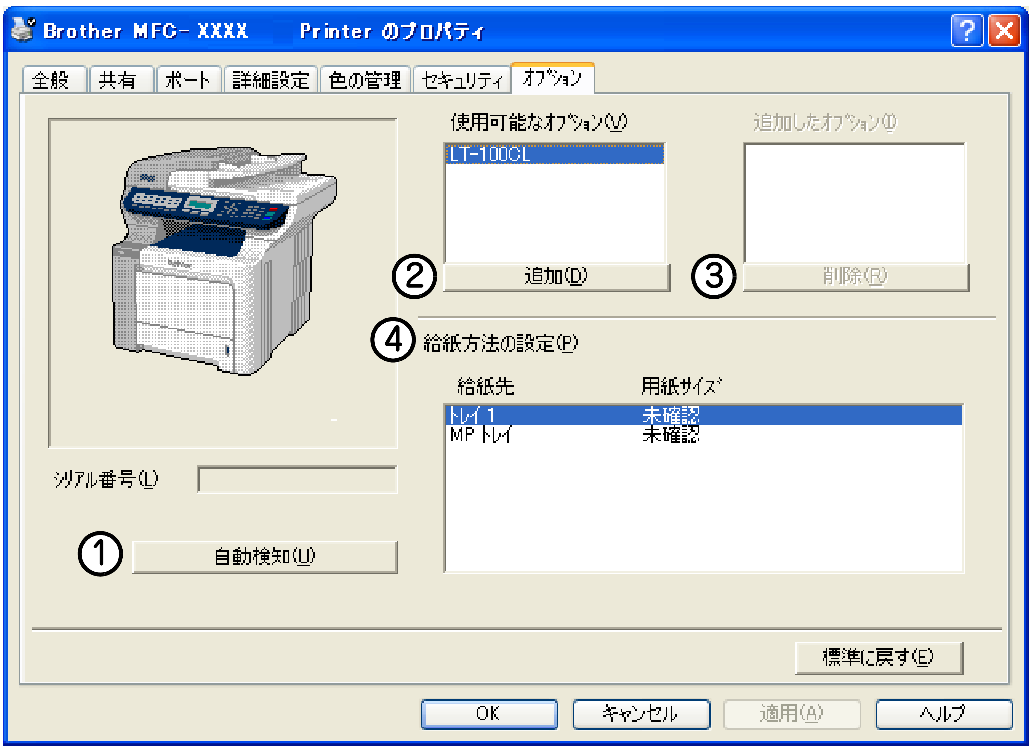
1 **本製品のプリンタドライバのアイコンを表示する**

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

2 **本製品のアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする**

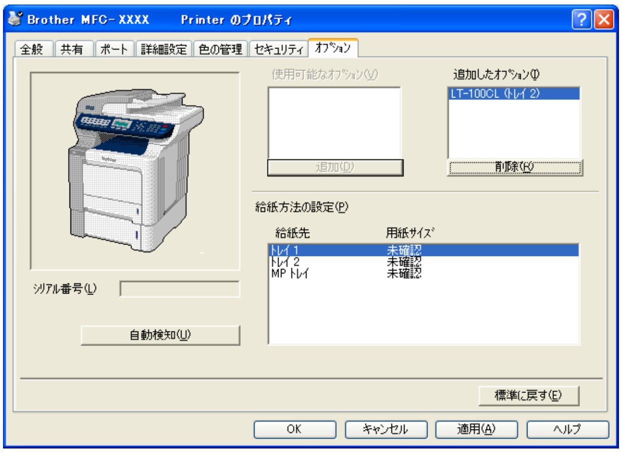
アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。

3 **［オプション］タブをクリックする**



① 自動検知

プリンタに装着されているオプションや給紙先の用紙サイズ設定情報を取得して、オプション設定を自動的に行います。同時に、画面には［増設記録紙トレイ］が設置された本製品のイラストが表示されます。



補足

自動検知による設定情報の取得は、プリンタドライバが選択している印刷先のポートにプリンタが接続され、かつ双方向通信が働く状態であることが必要です。

② 追加

使用可能なオプションのリストから追加するオプションを選択して、追加ボタンをクリックします。

③ 削除

追加したオプションのリストから削除するオプションを選択して、削除ボタンをクリックします。

④ 給紙方法の設定

各給紙先に対して設定されている用紙サイズの情報を表示します。

［サポート］タブでの項目

ドライバのバージョンと設定情報が示されます。また、［Brother Solutions Center］へのリンクもあります。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。



① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザーズガイド、ドライバー更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

② 設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

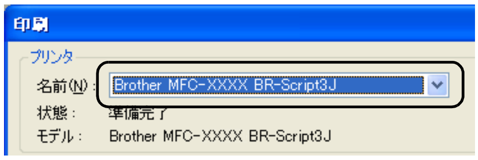
BR-Script3プリンタドライバについて

BR-Script3プリンタドライバはWindows® 2000/XP/Windows Vista®をサポートしています。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

Windows® BR-Script3プリンタドライバを設定する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

2 **［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする**



補足

プリンタドライバの設定画面は、「スタート」メニューから表示することもできます。

① ［スタート］メニューから［プリンタとFAX（プリンタ）］をクリックします。

② ［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

3 **各項目を設定する**

設定内容の詳細は P.51 を参照してください。



4 **［適用］または［OK］をクリックする**

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

ポートを選択する

［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートが選択されていることを確認します。

1 **本製品のプリンタドライバのアイコンを表示する**

- Windows® 2000の場合

  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合

  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合

  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

2 **［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

3 **［ポート］タブをクリックする**

4 **［Brother（モデル名）BR-Script 3J］のポートがチェックされていることを確認する**

選択されていないときは、［Brother（モデル名）BR-Script 3J］と表示されているチェックボックスをチェックします。



フォントオプションを指定する

TrueTypeフォントとPostScriptフォントの使用について、オプションを指定します。

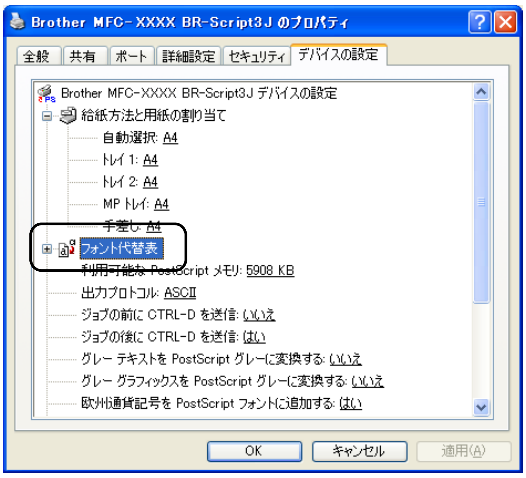
1　本製品のプリンタドライバのアイコンを表示する

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［プリンタ］をダブルクリックして開きます。

2　［Brother（モデル名）BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

3　［デバイスの設定］タブをクリックする

4　［フォント代替表］をダブルクリックする



5　TrueType フォントオプションを指定する

PostScriptフォントを使用する代わりに、TrueTypeフォントを使って印刷する場合は、［Don't Substitute］を選択します。
TrueType フォントを使用する代わりに、PostScript フォントを使って印刷する場合は、［フォント名］を選択します。



BR-Script3プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

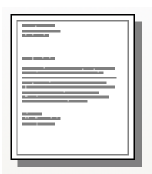
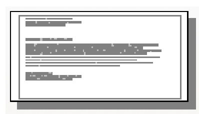
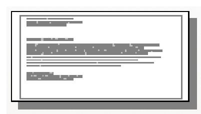
［レイアウト］タブでの設定項目



設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

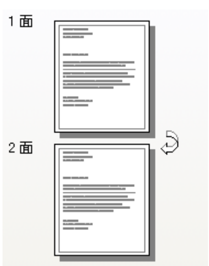
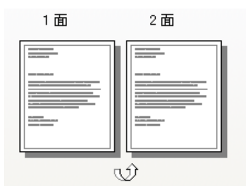
① 印刷の向き

文章を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦	横	横置きに回転
		

② 両面印刷（MFC-9450CDN/MFC-9840CDW のみ）

自動両面印刷の設定（短辺または長辺を綴じる）を選択します。

短辺を綴じる	長辺を綴じる
	

③ ページの順序

印刷されるページの順番（順または逆）を選択します。
［順］を選択すると1ページ目が1番上になり、［逆］を選択すると最後のページが1番上になるように印刷されます。

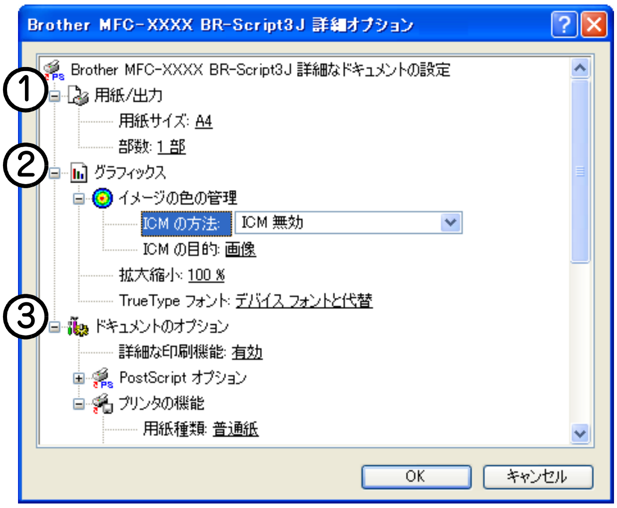
④ シートごとのページ

複数のページを1枚の用紙に印刷します。

2ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	4ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	6ページ分を1枚の用紙で印刷する場合
		
9ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	16ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	小冊子で印刷する場合（MFC-9450CDN/MFC-9840CDWのみ）
		

⑤ 詳細設定

［Brother（モデル名）BR-Script 3J詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。



以下の項目を設定できます。

① 用紙 / 出力

- 用紙サイズ
- 部数

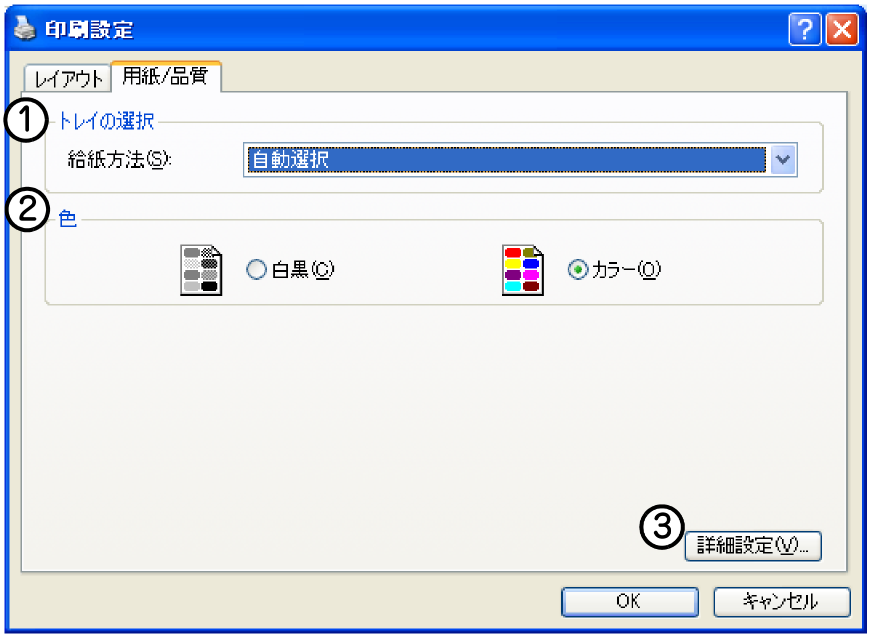
② グラフィックス

- イメージの色の管理
- 拡大縮小
- TrueTypeフォント

③ ドキュメントのオプション

- 詳細な印刷機能
- PostScriptオプション
- プリンタの機能

［用紙/品質］タブでの設定項目



設定後［OK］または［適用］をクリックして、選択した設定を確定します。

①トレイの選択

給紙するトレイを選択します。

- 自動選択……［デバイス設定］タブにある「給紙方法と用紙の割り当て」の設定に従って、印刷する用紙が割り当てられたトレイ（給紙方法）を自動的に選択します。
［デバイス設定］タブの開き方は、「フォントオプションを指定する」P.50の手順1～3を参照してください。
- プリンタによる自動選択……本製品が自動的にトレイを選択します。
- トレイ1……記録紙トレイ1から給紙されます。
- トレイ2（オプション）……増設記録紙トレイ（トレイ2）から給紙されます。
- MPトレイ（多目的トレイ）……多目的トレイから給紙されます。
- 手差し……多目的トレイから給紙されます。

②色

モノクロ/カラー印刷を切り替えます。

③詳細設定

P.52の⑤を参照してください。

Windows®編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。

- 「スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）」P.60
- 「スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】」P.63
- 「スキャンした原稿を USB メモリーに保存する【スキャン to USB】（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/ MFC-9840CDWのみ）」P.66

ネットワークを設定する（ネットワーク経由でスキャンする場合のみ）

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みですが、そうでない場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」または「無線LANの設定」を参照してください。

補足

Windows® XP/Winodws Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、ネットワーク経由でスキャンできないときは、ポート52925と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

設定の変更（ドライバがインストール済みの場合）

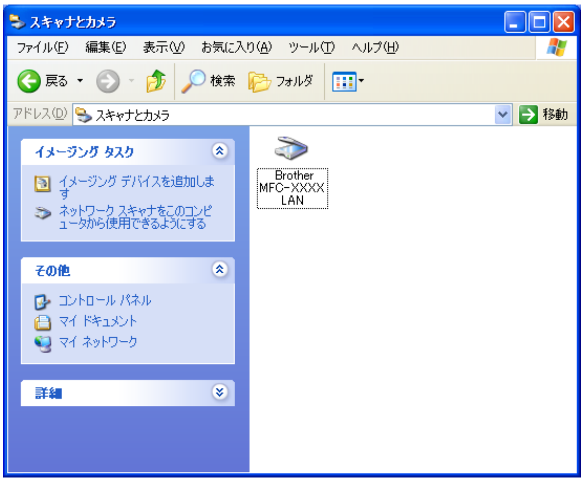
ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

1 **「スキャナとカメラ」アイコン スキャナとカメラ をダブルクリックする**

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  スタートメニューから［コントロールパネル］をクリックして開き、［スキャナとカメラ］をダブルクリックして開きます。

2 スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
- Windows Vista®の場合は、スキャナのアイコンを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。



補足

Windows Vista®の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

●管理者アカウントでログオンしているとき

［続行］をクリックします。



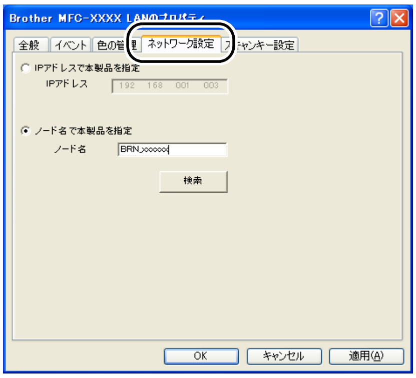
●一般ユーザーでログオンしているとき

管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

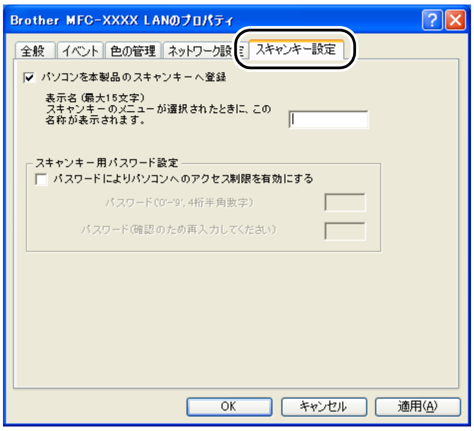


3 「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

- IPアドレスを変更する場合
  本製品の IP アドレスを入力します。
- 名前を変更する場合
  本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。
- 使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
  ［検索］をクリックし、既存の LAN 内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。



4 「スキャンキー設定」タブをクリックする



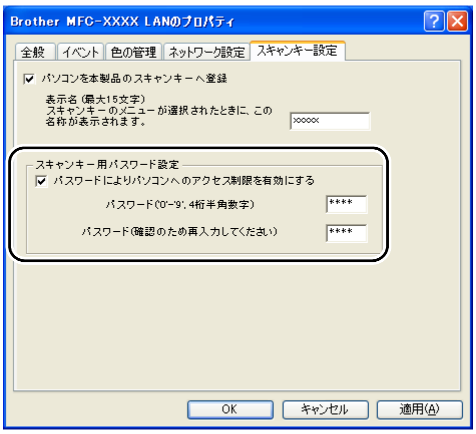
5 スキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本製品の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータ名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。



6 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

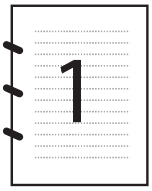
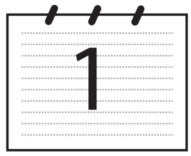
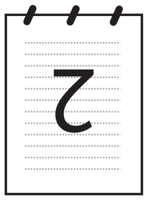
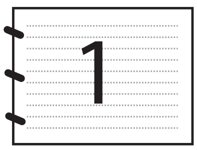
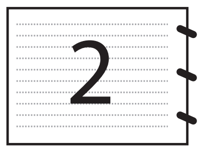


7 ［OK］をクリックする

設定が変更されます。

自動両面スキャンについて（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。

縦方向		横方向		LCDメッセージ
表 	裏 	表 	裏 	リョウメン　チョウヘン　トジ
表 	裏 	表 	裏 	リョウメン　タンペン　トジ

スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをコンピュータから新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.68
		スキャン to Eメール送信※	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。(本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、コンピュータ上の操作は必要ありません。)	P.60
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.69
	TWAIN/WIAドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.73
	スキャン to OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.70
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル		スキャンしたデータをコンピュータ上のハードディスクに保存します。	P.71
	スキャン to FTP		スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	P.63
	スキャン to USB ※※		スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリーに保存します。	P.66

※ MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ
※※ MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ

補足

- Presto! PageManagerは、スキャンした原稿ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルはTXT 形式、RTF 形式、HTML形式、PDF形式で保存できるので、Microsoft® Word やAdobe® Acrobat®で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows® Image Acquisition）」はWindows®でデジタルカメラやスキャナなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

本製品のスキャンボタンからスキャンする（コンピュータに送らない場合）

操作パネルの［Scan］を押してスキャンした原稿データを、本製品で直接送ったり保存したりします。
コンピュータを使用しないため、ドライバのインストールは不要です。

スキャンした原稿を E メールで直接送る【スキャン to E メール送信】(MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ)

準備～本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳細は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿は E メールの添付ファイルとして、モノクロはTIFFまたはPDF形式、カラーはJPEGまたはPDF形式で送信されます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ［Scan］を押す

3 ［▲］または［▼］を押して「スキャン to Eメール」を選択する

```
▲スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
 スキャン to イメージ
▼スキャン to OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

4 ［OK］を押す

5 ［▲］または［▼］を押して［リョウメン チョウヘン トジ］、［リョウメン タンペン トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン チョウヘン トジ］または［リョウメン タンペン トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 ［OK］を押す

7 ［▲］または［▼］を押して「Eメールデ チョクセツオクル」を選択する

8 OKを押す

9 ▲または▼を押して「ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ」を選択する

画質を変更しない場合は、「ｱﾄﾞﾚｽ ﾆｭｳﾘｮｸ」を選択し、OKを押して、手順15へ進みます。

10 OKを押す

11 ▲または▼を押して解像度とモノクロ／カラーを選択する

下記の中から選択してください。
- ｶﾗｰ　150　dpi
- ｶﾗｰ　300　dpi
- ｶﾗｰ　600　dpi
- ﾓﾉｸﾛ　200　dpi
- ﾓﾉｸﾛ　200×100dpi

12 OKを押す

13 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

14 OKを押す

15 送信先のEメールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、すでに登録してあるEメールアドレスを入力することもできます。

16 カラースタートまたはモノクロスタートを押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順9～11で画質を変更しない場合は、初期設定の画質・ファイル形式が適用されます。
詳しくは、P.83を参照してください。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで送る

E メールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することもできます。画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限られます。インターネットファクスのアドレスは利用できません。

補足

スキャンの画質やファイル形式（スキャンプロファイル）は、E メールアドレスごとにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録できます。詳しくは、ユーザーズガイド（MFC-9640CW/MFC-9840CDW 3 章）の「電話帳を作成する」を参照ください。

1 **スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする**

2 **[Scan] を押す**

3 **宛先の E メールアドレスが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押す**

4 **[カラー スタート] または [モノクロ スタート] を押す**

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】

この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
スキャン to FTPを使用するには、送信先の情報を操作パネルから入力するか、ウェブブラウザであらかじめ登録したFTPサーバーを選択します。操作パネルから入力する方法はP.64、ウェブブラウザで登録する方法はP.86を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る

1 **スキャンする原稿をADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする**

2 **Scan を押す**

3 **▲または▼を押して「スキャン　to　FTP」を選択する**

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン to FTP        ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン to USB
 スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
▼スキャン to イメージ゛
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 **OKを押す**

5 **▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する**

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 **OKを押す**

7 **▲または▼を押して、送信したいFTPサーバーを選択する**

送信先のFTPサーバーを登録する方法は、P.86を参照してください。

8 **OKを押す**

9 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTP サーバーは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、液晶ディスプレイ上で選択する必要があります。必要に応じて次ページの手順 11 へ進んでください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、送信先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を手動でFTPサーバーに送る

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

3 ▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to FTP」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼ﾃﾞﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
ｽｷｬﾝ to FTP
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to FTP
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to ｲﾒｰｼﾞ
▲▼ﾃﾞﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 OK を押す

5 ▲または▼を押して［ﾘｮｳﾒﾝ ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ］、［ﾘｮｳﾒﾝ ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ］または［ｶﾀﾒﾝ］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［ﾘｮｳﾒﾝ ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ］または［ﾘｮｳﾒﾝ ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

FTP サーバーの送信先をウェブブラウザで登録済の場合は、手順 9 に進みます。

7 ▲または▼を押して、「ｼｭﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ」を選択する

8 OK を押す

9 **ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーのドメイン名を入力する**

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

10 **OK を押す**

11 **ダイヤルボタンを押して送信先のフォルダ名を入力する**

例：brother/abc

12 **OK を押す**

13 **▲ または ▼ を押して［ユーザーメイ　ニュウリョク］か［セッテイ　ヘンコウ］を選択し、OK を押す**

- ［ユーザーメイ　ニュウリョク］を選択した場合は、手順15に進みます。
- 解像度は下記の中から選択できます。
  - カラー　150　dpi
  - カラー　300　dpi
  - カラー　600　dpi
  - モノクロ　200　dpi
  - モノクロ　200×100dpi

14 **▲ または ▼ を押して、画像の形式を選択する**

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

15 **ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する**

16 **OK を押す**

17 **ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する**

18 **OK を押す**

19 **カラー スタート または スタート モノクロ を押す**

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順１からやり直してください。FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「ニンショウ　エラー」と表示されます。手順1からやり直してください。

スキャンした原稿を USB メモリーに保存する【スキャン to USB】（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

スキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリーに保存します。

1 **USB メモリーを本製品の USB コネクタに接続する**

本製品が USB メモリーを認識し、USBダイレクトが青く点灯します。

2 **スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする**

3 **Scanを押す**

4 **▲または▼を押して［スキャン　to　USB］を選択する**

- MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順7に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順5に進んでください。

MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン to USB        ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン to USB
 スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
▼スキャン to イメージ゛
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

5 **OKを押す**

6 **▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する**

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

7 **OKを押す**

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順8に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順15に進んでください。

8 **▲または▼を押して「セッテイ　ヘンコウ」を選択する**

9 **OKを押す**

10 ▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　150 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100dpi

11 OKを押す

12 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、[PDF] か [JPEG] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF] か [TIFF] を選択します。

13 OKを押す

14 保存するファイル名を入力する

[例] ABC01

15 OKを押す

16 カラースタートまたはスタートモノクロを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに BROTHER フォルダが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダがある場合は、その中に保存されます）

●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、P.85を参照してください。

- ファイル形式
  カラー　150　dpi／PDF
- ファイル名
  yymmddxx
  yy：西暦の下2桁
  mm：月
  dd：日
  xx：通し番号

本製品のスキャンボタンからスキャンする（コンピュータに送る場合）

操作パネルの（Scan）を押してスキャンした原稿データを、コンピュータに送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿を E メールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがコンピュータに届くと、メール送信画面が起動します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （Scan）を押す

3 （▲）または（▼）を押して「スキャン　to　Eメール」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン　to　Eメール　　　◆
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　FTP
 スキャン　to　Eメール
 スキャン　to　イメージ゛
▼スキャン　to　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 （OK）を押す

5 （▲）または（▼）を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 （OK）を押す

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順9に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順7に進んでください。

7 （▲）または（▼）を押して「Eメールソフトニ　テンプ」を選択する

8 （OK）を押す

9 （ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

10 **OK を押す**

11 **カラースタート または スタートモノクロ を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- スキャンされた原稿が E メールの添付ファイルとして保存されます。ControlCenter3 で設定されているメールソフトが起動します。
- Scan を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter3から変更できます。詳しくはP.144を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがコンピュータに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータの画面に表示されます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **Scan を押す**

3 **▲または▼を押して「スキャン　to　イメージ」を選択する**

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
スキャン　to　イメージ゛
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　FTP
 スキャン　to　Eメール
 スキャン　to　イメージ゛
▼スキャン　to　OCR
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
```

4 **OK を押す**

5 ▲または▼を押して［リョウメン チョウヘン トジ］、［リョウメン タンペン トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン チョウヘン トジ］または［リョウメン タンペン トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OKを押す

7 （ネットワーク接続の場合）
▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する
ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 OKを押す

9 カラースタートまたはモノクロスタートを押す
原稿のスキャンが開始されます。

補足
ControlCenter3 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.144を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scanを押す

3 ▲または▼を押して「スキャン to OCR」を選択する
- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン to OCR
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
 スキャン to イメージ゛
▼スキャン to OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 OK を押す

5 ▲ または ▼ を押して［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾁｮｳﾍﾝ　ﾄｼﾞ］、［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾀﾝﾍﾟﾝ　ﾄｼﾞ］または［ｶﾀﾒﾝ］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾁｮｳﾍﾝ　ﾄｼﾞ］または［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾀﾝﾍﾟﾝ　ﾄｼﾞ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

7 （ネットワーク接続の場合）
▲ または ▼ を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 OK を押す

9 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足
Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、コンピュータの指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter3で行います。詳しくは、P.144 を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter3）
付録

3 ▲または▼を押して「スキャン　to　ファイル」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン　to　ファイル
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　Eメール
 スキャン　to　イメージ゛
 スキャン　to　OCR
▼スキャン　to　ファイル
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 OKを押す

5 ▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OKを押す

7 （ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信するコンピュータ名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピュータ名が表示されます。
送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 OKを押す

9 カラースタートまたはスタートモノクロを押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

● 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  マイドキュメント¥マイピクチャ ¥ControlCenter3¥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxxx：通し番号

● ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

アプリケーションからスキャンする

コンピュータ側で、TWAINまたはWIA対応のアプリケーションを操作してスキャンします。
Windows Vista®をお使いの場合は、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」も利用できます。

TWAINドライバを使ってスキャンする

本製品のドライバは TWAIN に対応しており、TWAIN 対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションからスキャンするときも、手順は同様です。

注意

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（Windows® XP/Windows Vista®の場合：「TW-Brother MFC-xxxx」/「TW-Brother DCP-9040CN」、その他の場合：「Brother MFC-xxxx」/「Brother DCP-9040CN」）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 **Presto! PageManager 画面から  をクリックする**

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.74を参照してください。

3 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定する**

- 解像度
- 色数
- 明るさ　など

4 **［スキャン開始］ボタンをクリックする**

スキャンが終了すると、Presto! PageManager の表示エリアに、スキャンした原稿がサムネールで表示されます。

補足

操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。



① 簡単設定（イメージタイプ）

カラー写真：写真の場合に選択します。（解像度：300×300dpi　色数：1677万色カラー）
ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。（解像度：100×100dpi　色数：1677万色カラー）
モノクロ文書：文書の場合に選択します。（解像度：200×200dpi　色数：白黒）

② 解像度

プルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。
選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／256階調グレー	256色カラー	1677万色カラー
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○
19200×19200dpi	○	×	○

③ 色数

白黒

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または256階調グレーに設定します。

カラー

256色カラー、1677万色カラーのいずれかを選択します。

④ 明るさ／コントラスト（白黒／グレー／ 256 階調グレーのみ）

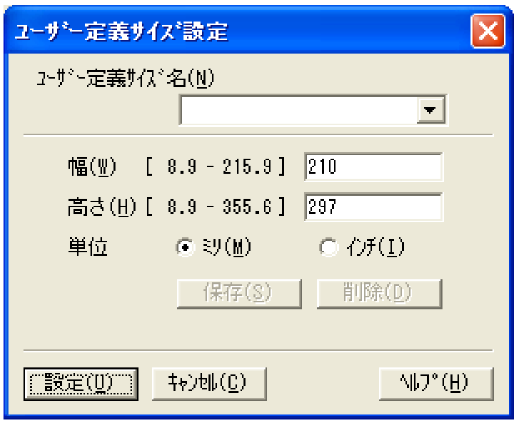
必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4　210×297mm
- B5（JIS）　182×257mm
- レター　215.9×279.4mm（8.5×11 in）
- リーガル　215.9×355.6mm（8.5×14 in）
- A5　148×210mm
- エクゼクティブ　184.1×266.7mm（7.25×10 1/2 in）
- 名刺　90×60mm
- ポストカード　10×15cm（4×6 in）
- インデックスカード　127×203.2mm（5×8 in）
- L判　89×127mm
- 2L判　127×178mm
- ハガキ　100×148mm
- 往復ハガキ　148×200mm
- ユーザー定義サイズ...

［ユーザー定義サイズ...］を選択した場合は、右の画面が表示されます。［幅］と［高さ］を入力します。



⑥ 両面読取り（MFC-9640CW/MFC-9840CDW のみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読み取ることができます。綴じしろの位置を指定することで、読み取った偶数ページのデータを自動的に回転し、すべてのページのイメージが同じ向きで表示されます。

- 長辺を綴じる
- 短辺を綴じる

補足

●1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。

●ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。

●名刺をスキャンするには、名刺サイズ（90×60mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。

●ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

●必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。

●ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

自動両面スキャンする（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読み取ることができます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**

2 **［両面読取り］のチェックボックスにチェックする**

［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

3 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する**

4 **［スキャン開始］ボタンをクリックする**

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

●スキャンする範囲をドラッグして調節することはできません。

●［プレビュー開始］ボタンは、使用することができません。

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［プレビュー開始］ボタンをクリックする**

原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

注意

ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレビュー開始］ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから［スキャン開始］ボタンをクリックする必要があります。

3 **スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグする**

点線を調整して スキャンしたい部分を囲みます。

4 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する**

5 **［スキャン開始］ボタンをクリックする**

選択された範囲だけが Presto! PageManager 画面に表示されます。

6 **Presto! PageManager 画面上で画像を調整する**

補足

［プレビュー開始］ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面から［スキャン開始］ボタンをクリックして画像をスキャンします。



WIAドライバを使ってスキャンする（Windows® XP/Windows Vista®のみ）

本製品のドライバはWIAに対応しており、TWAINまたはWIA対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像をスキャンできます。
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

注意

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（WIA-Brother MFC-xxxx/DCP-9040CN）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 **Presto! PageManager 画面から をクリックする**

WIA ダイアログボックスが表示されます。詳しくはP.79を参照してください。

3 **給紙方法を選択する**

［フラットベット］を選択した後、「プレビュー」機能を利用してスキャンする範囲を調整することができます。

4 **必要に応じて WIA ダイアログボックスで以下の項目を設定する**

- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類　など

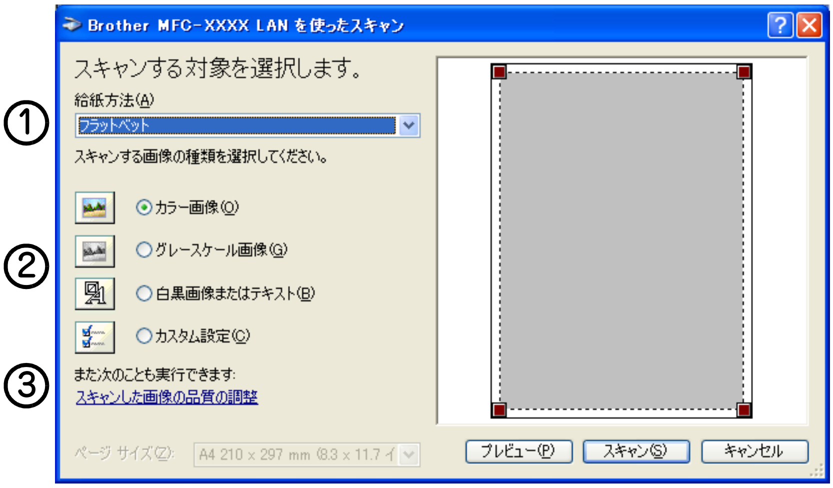
5 **［スキャン］ボタンをクリックする**

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

●WIAドライバは、両面スキャン機能に対応していません。
●操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

WIAダイアログボックスでの設定



① 給紙方法

［フラットベッド］は原稿台ガラスからスキャンするとき、［ドキュメントフィーダ］は ADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした原稿の品質の調整

ここをクリックすると、［詳細プロパティ］ウィンドウが表示されます。



④ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤ 解像度

解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。
［100］［150］［200］［300］［400］［500］［600］［1200］の中から選択します。

⑥ 画像の種類

［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］の中から選択します。

補足

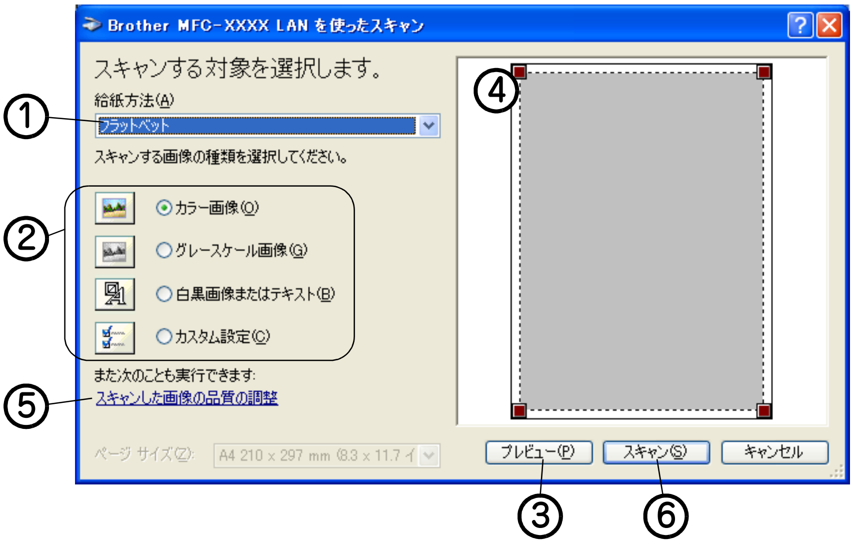
●Windows® XP/Winsows Vista®で、2400/4800/9600/19200dpiの解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。

① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［（モデル名）］ー［スキャナ設定］ー［スキャナユーティリティ］の順に選択します。
「スキャナユーティリティ」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。



1 **原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置く**

2 **［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベッド］（①）を選択する**

3 **画像の種類を選択する（②）**

4 **［プレビュー］ボタン（③）をクリックする**

原稿全体がスキャンされ、スキャンエリア（④）に表示されます。

5 **（④）のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定する**

6 **詳細設定が必要な場合は、［スキャンした画像品質の調整］（⑤）をクリックする**

詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら［OK］を押します。詳細プロパティ画面についてはP.79の③を参照してください。

7 **［スキャン］ボタン（⑥）を押す**

選択された部分だけが取り込まれ、Presto! PageManager 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

Windows®フォト ギャラリー、Windows® FAXとスキャンを使用する場合（Windows Vista®のみ）

Windows Vista®をお使いの場合、付属の「Windows®フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像をスキャンできます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 スキャナとして、本製品を選ぶ

● Windows® フォト ギャラリーの場合

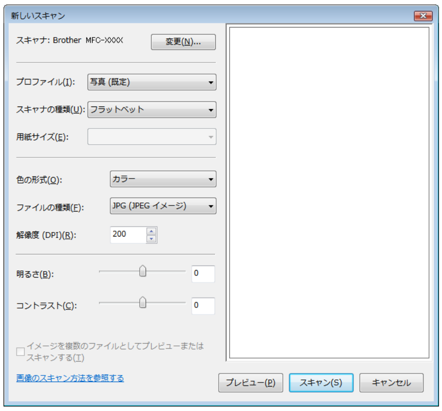
［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother DCP-9040CNまたはMFC-XXXX）を選ぶ

● Windows® FAX とスキャンの場合

［ファイル］メニューから［新規作成］-［スキャン］を選択し、接続している本製品のモデル名（Brother DCP-9040CNまたはMFC-XXXX）を選ぶ

3 ［読み込み］をクリックする

［新しいスキャン］ダイアログボックスが表示されます。



4 ［スキャナの種類］で「フィーダ」（ADF）または「フラットベッド」（原稿台ガラス）を選択する

- 「フィーダ」を選んだ場合は、手順7に進んでください。
- 「フラットベッド」を選んだ場合は、いったん画像を確認する（プレスキャン）ことができます。手順5に進んでください。
  プレスキャンなしでそのままスキャンするときは、手順7に進んでください。

5 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

6 スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

7 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定については、P.79 を参照してください。（Windows® FAX とスキャンを使用のとき）

8 ［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

9 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

Windows®編

3章

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからの設定

本製品のスキャン機能のうち、スキャン to Eメール送信、スキャン to FTP、スキャン to USBでは、解像度とファイル形式の初期設定を以下の手順で変更できます。

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

1 **[メニュー]、[7 PQRS]、[4 GHI] の順に押す**

[▲] または [▼] で選択して [OK] で決定することも可能です。

2 **[▲] または [▼] を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

3 **[OK] を押す**

4 **[▲] または [▼] を押して画像の形式を選択する**

- カラーを選択した場合は、[PDF] か [JPEG] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF] か [TIFF] を選択します。

5 **[OK] を押す**

スキャン to FTPの初期設定を変更する

1 （DCP-9040CN）
メニュー、4 GHI、3 DEFの順に押す
▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

（MFC-9440CN/MFC-9450CDN）
メニュー、7 PQRS、3 DEFの順に押す
▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）
メニュー、7 PQRS、5 JKLの順に押す
▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 **▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する**
下記の中から選択してください。
- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

3 **OKを押す**

4 **▲または▼を押して画像の形式を選択する**
- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

5 **OKを押す**

スキャン to USBの初期設定を変更する（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

解像度と画像の形式を変更する

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー 150 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200×100dpi

3 OK を押す

4 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

5 OK を押す

ファイル名を変更する

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 新しいファイル名を入力する

ファイル名は 6 文字まで入力できます。

3 OK を押す

FTPの送信先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーに送信する際の送信先を、あらかじめFTPプロファイルとして10件まで登録しておくことができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。

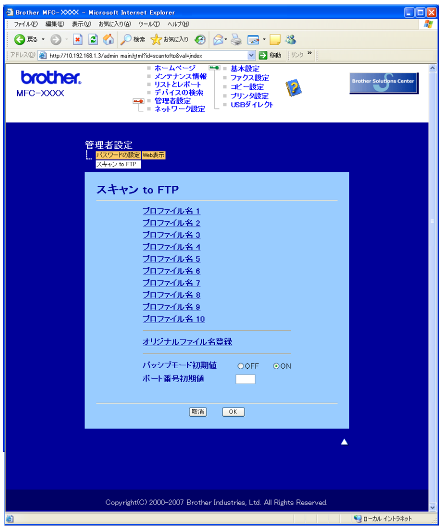
- プロファイル名......................................15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名..32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ......................................60字以内

1 **ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://ip address（ip address はご使用になる本製品の IP アドレス）を入力する**

パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です）。

2 **「スキャン FTP」をクリックする**

3 **登録したい「プロファイル」をクリックする**



4 **FTP サーバーのプロファイル名を入力する**

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



5 **「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する**

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

6 FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

7 FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

8 スキャンした原稿の送信先フォルダを入力する

送信先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc）

9 プルダウンリストから、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori098765.pdf）。

10 プルダウンリストから解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

11 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

12 パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

13 ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

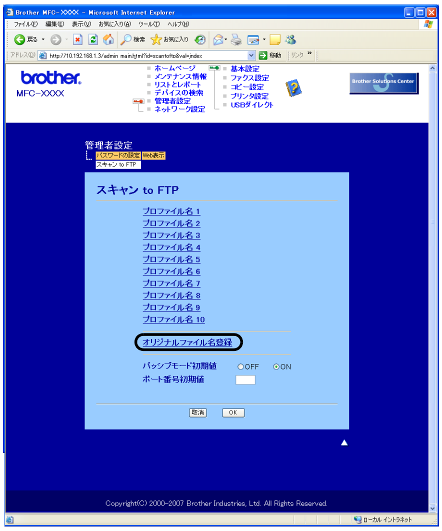
14 OK をクリックする

設定した内容で、FTP プロファイルが登録されます。

オリジナルファイル名を登録する

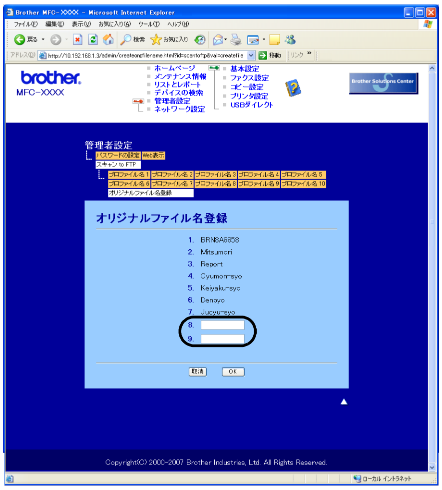
ファイル名は、用意されている7種類のほかに好みのものを2種類登録できます。

1 スキャン to FTP の画面で、［オリジナルファイル名登録］をクリックする



2 オリジナルファイル名の入力欄に登録したいファイル名を入力し、［OK］をクリックする

- ファイル名は半角英数字で15文字まで入力できます。



4章

リモートセットアップ（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

リモートセットアップについて

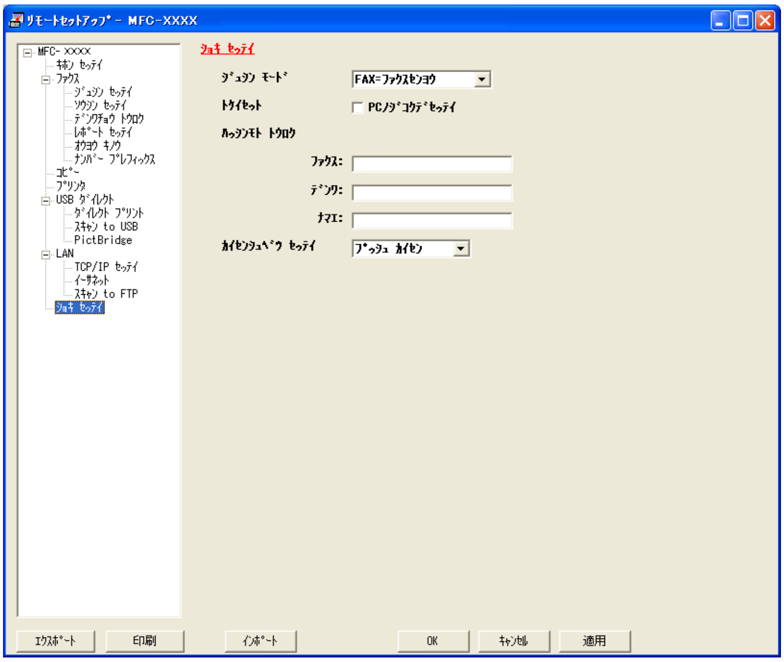
通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をコンピュータで簡単に行うことができます。

補足

Windows® XP/Winodws Vista®で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、リモートセットアップが使用できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［リモートセットアップ］の順に選択します。
※ネットワーク環境でリモートセットアップ機能をお使いの場合、パスワードの入力が必要です。お買い上げ時のパスワードは、「access」に設定されています。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド 2章の「ファクスを受信する」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にコンピュータにダウンロードされ、画面上に表示されます。

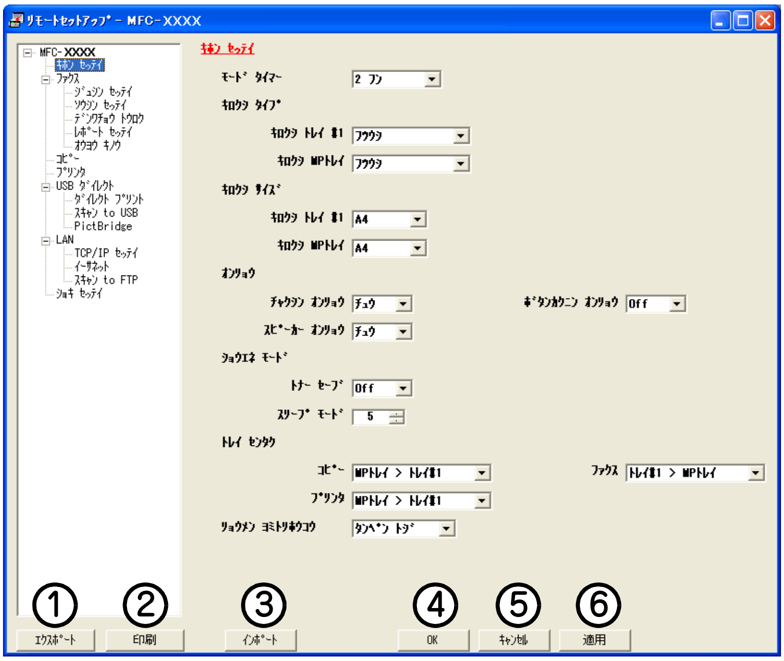
補足

- この章では、MFC-9440CNの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピュータに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PCファクス受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- セキュリティ保護機能を持つ市販のソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② 印刷

「デンワチョウ　トウロク」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ ユーザーズガイド（MFC-9440CN 4章, MFC-9450CDN 4章, MFC-9640CW/MFC-9840CDW 5章)の「レポート・リストの印刷」を参照ください。）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

③ インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

- ●エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定をファイルに保存して設定内容を読み込むことができます。
- ●すべての設定内容を保存するには、画面左側の機能の分類の一番上にあるモデル名を選択してエクスポートをクリックします。
- ●機能の分類の中から機能のトップ項目（例：ファクス）を選択した場合は、ファクスに関するすべての設定が保存されます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

● MFC-9440CN

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	－	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	－	×
	セキュリティセッテイロック	－	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	×
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ/メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	−	×
	ナンバー　プレフィックス	−	×
	アンシン　ツウシン　モード	−	×
コピー	コピー　ガシツ	−	○
	アカルサ	−	○
	コントラスト	−	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	−	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
	インサツ　カラー	−	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	−	×
	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	×
		ホセイ　ヒンド	○
	シュドウイロズレホセイ	イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	○
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	ＬＡＮセッテイナイヨウリスト	－	×
ＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
		ＩＰ　アドレス	○
		サブネット　マスク	○
		ゲートウェイ	○
		ノード　メイ	○
		ＷＩＮＳ　セッテイ	○
		ＷＩＮＳ　サーバ	○
		ＤＮＳ　サーバ	○
		ＡＰＩＰＡ	○
		ＩＰｖ６	○
	イーサネット	－	○
	スキャン　ｔｏ　ＦＴＰ	－	○
	ＬＡＮセッテイ　リセット	－	×
セイヒン　ジョウホウ	シリアル　Ｎｏ．	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	ショウモウヒン　ジュミョウ	ドラム　ジュミョウ	×
		ベルト　ジュミョウ	×
		ＰＦキットＭＰ　ジュミョウ	×
		ＰＦキット１　ジュミョウ	×
		ＰＦキット２　ジュミョウ※1	×
		ヒーター　ジュミョウ	×
		レーザー　ジュミョウ	×
	ショウモウヒン　リセット	－	×
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	－	×
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×
	コジンジョウホウ_クリア	－	×
	キノウセッテイ　リセット	－	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×

※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。

● MFC-9450CDN

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	−	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	−	×
	セキュリティセッテイロック	−	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	×
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ/メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ナンバー　プレフィックス	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	アカルサ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	－	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
	インサツ　カラー	－	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	－	×
	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	×
		ホセイ　ヒンド	○
	シュドウイロズレホセイ	イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	○
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	LANセッテイナイヨウリスト	－	×
LAN	TCP／IP　セッテイ	IP　シュトク　ホウホウ	○
		IP　アドレス	○
		サブネット　マスク	○
		ゲートウェイ	○
		ノード　メイ	○
		WINS　セッテイ	○
		WINS　サーバ	○
		DNS　サーバ	○
		APIPA	○
		IPv6	○
	イーサネット	－	○
	スキャン　to　FTP	－	○
	LANセッテイ　リセット	－	×
セイヒン　ジョウホウ	シリアル　No.	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	ショウモウヒン　ジュミョウ	ドラム　ジュミョウ	×
		ベルト　ジュミョウ	×
		PFキットMP　ジュミョウ	×
		PFキット1　ジュミョウ	×
		PFキット2　ジュミョウ※1	×
		ヒーター　ジュミョウ	×
		レーザー　ジュミョウ	×
	ショウモウヒン　リセット	－	×
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	－	×
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×
	コジンジョウホウ_クリア	－	×
	キノウセッテイ　リセット	－	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×

※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。

● MFC-9640CW/MFC-9840CDW

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	−	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	−	×
	セキュリティ	セキュリティ　セッテイロック	×
		セキュリティ　キノウロック	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
		リョウメン　インサツ※2	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフジョ	○
		ソウフジョ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	○
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	オウヨウ　キノウ	テンソウ／メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ナンバー　プレフィックス	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	アカルサ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	－	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
		リョウメン　インサツ※2	○
	インサツ　カラー	－	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	－	○
	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	○
		ホセイ　ヒンド	○
		イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	×
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○

分類	中分類	項目		設定の可否
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ		×
		インサツ		×
	キノウアンナイ	－		×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン		×
		ナマエジュン		×
	ツウシン　カンリ　レポート	－		×
	セッテイナイヨウ　リスト	－		×
	チャクシンリレキ　リスト	－		×
	ＬＡＮセッテイナイヨウリスト	－		×
ＬＡＮ	ユウセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		イーサネット	－	○
		ショキセッテイ　ニ　モドス	－	×
		ユウセンＬＡＮ　ユウコウ	－	×
	ムセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		セツゾク　ウィザード	－	×
		ＡＯＳＳ	－	×
		ムセン　ジョウタイ	セツゾク　ジョウタイ	×
			デンパ　ジョウタイ	×
			ＳＳＩＤ	×
			ツウシン　モード	×
		ショキセッテイ　ニ　モドス	－	×
		ムセンＬＡＮ　ユウコウ	－	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN	IFAX セッテイ	インターネット セッテイ	メール アドレス	○
			SMTP サーバ	○
			SMTP ポート	○
			SMTP Auth.	○
			POP3 サーバ	○
			POP3 ポート	○
			アカウント メイ	○
			パスワード	○
		メール ジュシン セッテイ	ジドウ ジュシン	○
			ポーリング カンカク	○
			ヘッダ インサツ	○
			エラー メール サクジョ	○
			ジュシン カクニン	○
		メール ソウシン セッテイ	メールタイトル	○
			サイズ セイゲン	○
			ジュシンカクニンヨウキュウ	○
		リレー セッテイ	リレー キョカ	○
			キョカ ドメイン	○
			リレー レポート	○
	スキャン to Eメール	−		○
	スキャン to FTP	−		○
	タイム ゾーン	−		○
	LANセッテイ リセット	−		○
セイヒン ジョウホウ	シリアル No.	−		×
	インサツマイスウ ヒョウジ	−		×
	ショウモウヒン ジュミョウ	ドラム ジュミョウ		×
		ベルト ジュミョウ		×
		PFキットMP ジュミョウ		×
		PFキット1 ジュミョウ		×
		PFキット2 ジュミョウ		×
		ヒーター ジュミョウ		×
		レーザー ジュミョウ		×
	ショウモウヒン リセット	−		×
ショキ セッテイ	ジュシン モード	−		○
	トケイ セット	−		○
	ハッシンモト トウロク	−		○
	カイセンシュベツ セッテイ	−		○
	ダイヤルトーン セッテイ	−		×
	トクベツカイセン タイオウ	−		×
	ナンバー ディスプレイ	−		×
	コジンジョウホウ_クリア	−		×
	キノウセッテイ リセット	−		×
	ヒョウジ ゲンゴ	−		×

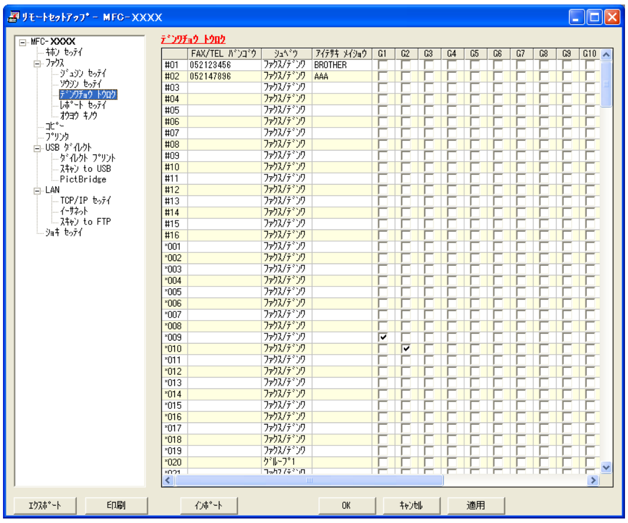
※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。
※2：MFC-9840CDWのみ

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド2章の「ファクスを受信する」を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「デンワチョウ　トウロク」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大16件（1～16、MFC-9440CN/MFC-9450CDN）
  最大40件（1～40、MFC-9640CW/MFC-9840CDW）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号、またはメールアドレス（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

1 左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL　バンゴウ」※をダブルクリックし、電話番号、ファクス番号またはメールアドレス（MFC-9640CW/MFC-9840CDW のみ）を入力する

※ MFC-9640CW/MFC-9840CDW の場合は、「ファクス／デンワ／ E メール」

3 種別を選ぶ

- MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合：「ファクス／デンワ」のみ
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合：「ファクス／デンワ」、「インターネットファクス」または「Eメール」

4 「アイテサキ　メイショウ」をダブルクリックし、相手先の名前を入力する

5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 ［OK］をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

1 左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

3 「アイテサキ　メイショウ」にグループ名を入力する

4 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

5 ［OK］をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳を複数の本製品で共有する

登録した電話帳を、複数の本製品で共有することができます。これには、電話帳のエクスポートとインポートを利用します。

1 共有したい電話帳がある本製品にコンピュータを接続し、リモートセットアップを起動する

2 左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

3 ［エクスポート］をクリックする

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

4 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

5 同じコンピュータを、電話帳を複写したい本製品に接続し、リモートセットアップを起動する

6 ［インポート］をクリックする

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

7 複写したい電話帳のファイルを選択し、［開く］をクリックする

電話帳データがインポートされ、リモートセットアップの起動画面が表示されます。
「デンワチョウ　トウロク」には、青いマークが表示されています。

8 ［適用］または［OK］をクリックする

電話帳データが複写先の本製品の電話帳データに上書きされ、新しい電話帳に置き換わります。数分かかることがあります。

5章

PCファクス（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

PCファクスを使用する前に

PCファクスを利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送受信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PCファクスのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P.112を参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P.107を参照してください。

補足

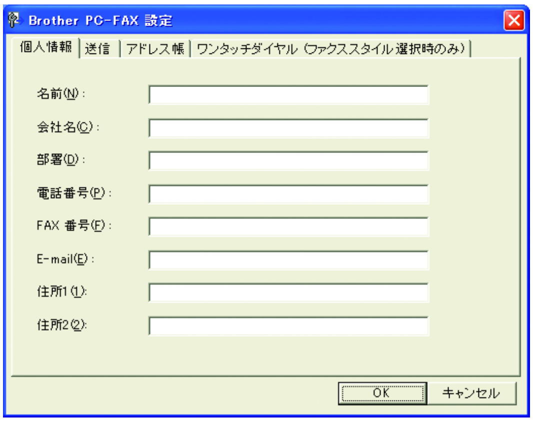
- DCP-9040CNでは、PCファクス機能は使用できません。
- PCファクスは、モノクロのみ対応しています。
- 送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。
- アドミニストレータ（Administrator）権限で使用してください。
- Windows® XP/Winodws Vista® で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、PC ファクスが使用できないときは、ポート 52926 と 137 を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を登録します。
登録は、［Brother PCファクス設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

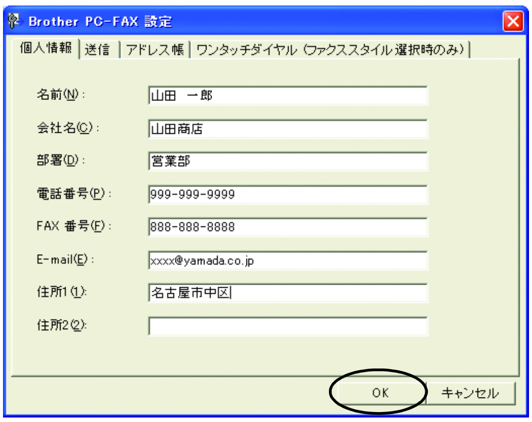
1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC ファクス送信］ー［PC ファクス設定］の順に選択する**

2 **個人情報を入力する**



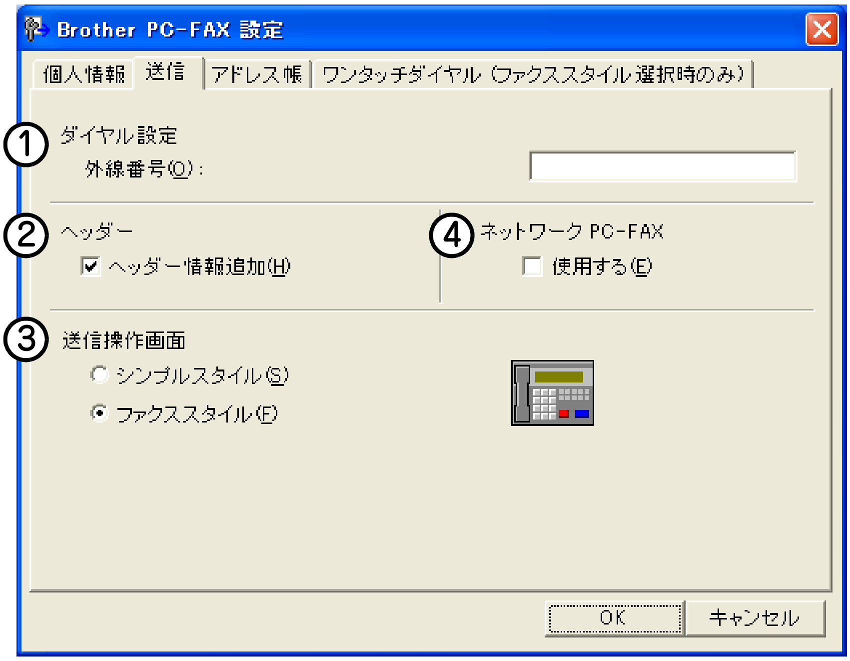
3 **［OK］をクリックする**

個人情報が保存されます。



送信の設定をする

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、［Brother PCファクス 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。



① ダイヤル設定

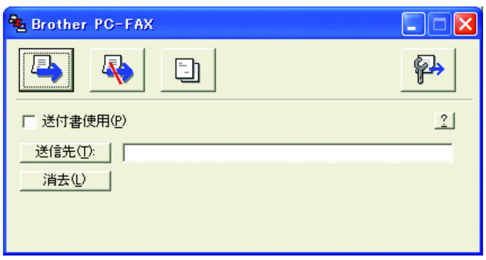
外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX等の内線接続で必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。



<シンプルスタイル>



<ファクススタイル>

④ ネットワーク PC ファクス

PCファクス機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、［使用する］をチェックしておく必要があります。
（送信先がファクス番号の場合、チェックは必要ありません）

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPCファクスアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

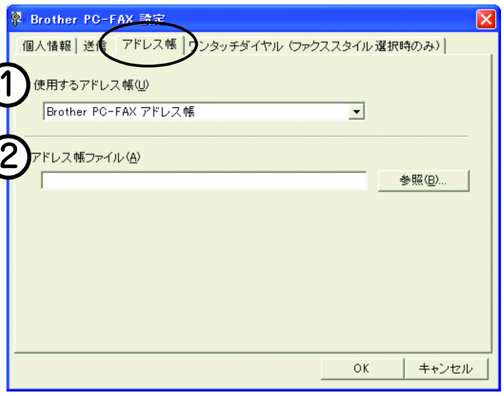
「Brother PCファクスアドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P.112 を参照してください。

設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［アドレス帳］タブで行います。

1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC ファクス送信］－［PC ファクス設定］の順に選択する**

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 **［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする**



①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Windows メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows メールアドレス帳」、「Outlook アドレス帳」、または「Outlook Express アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

補足

- Microsoft Outlook 2000/2002/2003/2007に対応しています。
- Outlook のアドレス帳を使用するには、Outlook が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

3 **［OK］をクリックする**

PC ファクスで使用するアドレス帳が設定されます。

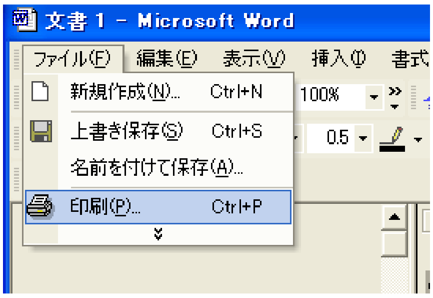
コンピュータからファクスを送る

コンピュータ上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定P.107で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

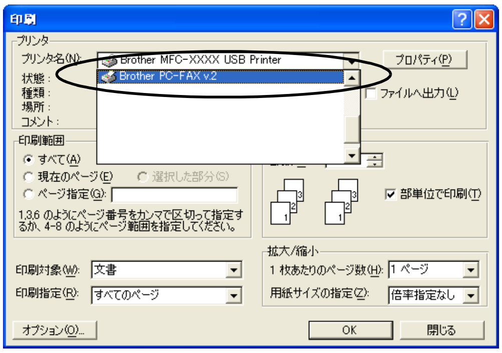
ファクススタイルで送る

1 **コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する**

2 **［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**



3 **プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする**



4 **以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する**

- ダイヤルパッド（①）をクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタン（②）のいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］ボタン（③）をクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.108を参照してください。



5 **［送信］をクリックする**

ファクス送信が開始されます。
送るのをやめるには、［中止］をクリックします。

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方(ControlCenter3)
付録

補足

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother　PC ファクス設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- ワンタッチダイヤルボタンやアドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.108 を参照してください。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。



①送付書使用
ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

②送付書の作成
送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.122 を参照してください。

③消去
ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル
ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに、最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

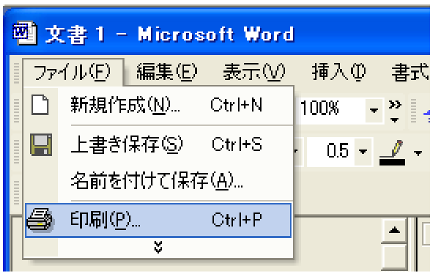
シンプルスタイルで送る

注意

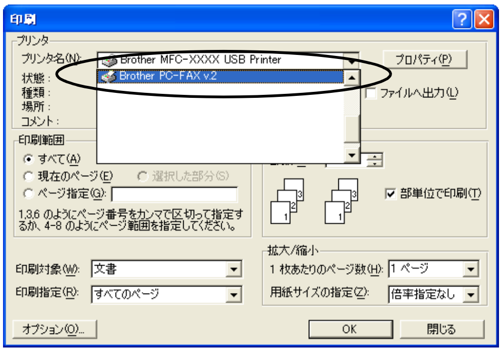
■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1 コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

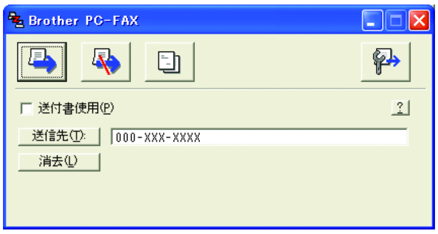


3 プリンタ名の ▼ から [Brother PC-FAX v.2] を選択して、[OK] をクリックする



4 [送信先] に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、[送信先] ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.108 を参照してください。



5 送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、[送付書使用] チェックボックスをチェックする

送付書の作成についてはP.122を参照してください。

6  をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- アドレス帳を使うには、あらかじめ PC ファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。P.108 を参照してください。
- ファクス番号を間違って入力したときには、[消去] ボタンをクリックします。
-  をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。P.122 を参照してください。

PCファクスアドレス帳を利用する

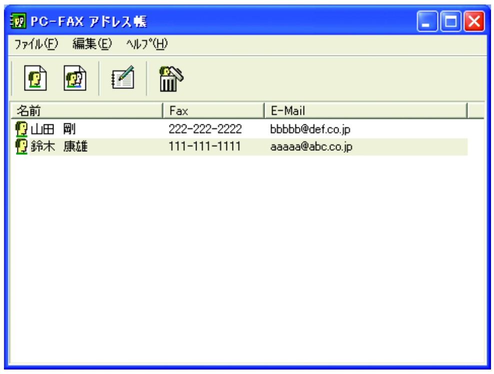
PCファクスを使うときは、PCファクスアドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PCファクスアドレス帳データは、CSV形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PCファクスアドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。

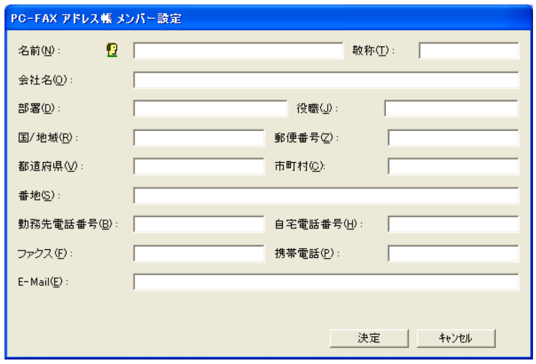
1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC ファクス送信］－［PC ファクスアドレス帳］の順に選択する**

右の画面が表示されます。



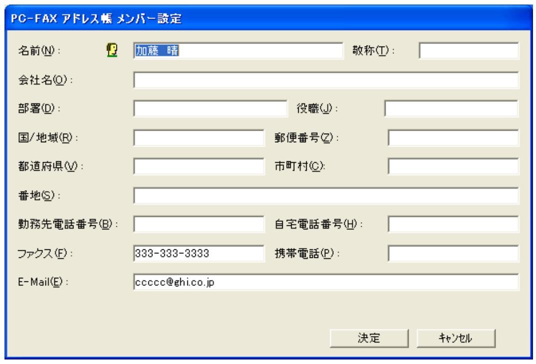
2  **をクリックする**

右の画面が表示されます。



3 **相手先の情報を入力する**

［名前］の入力は必須です。



4 **［決定］をクリックする**

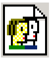
相手先の情報が保存されます。

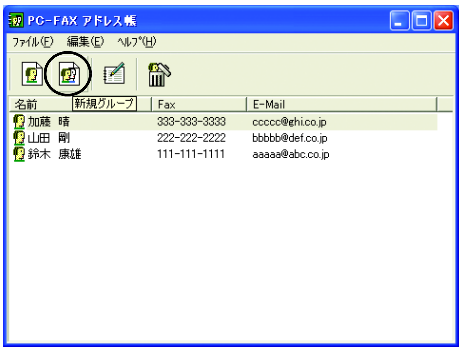
補足

- ●登録情報を追加、編集、削除する場合も、［PC-FAXアドレス帳］ダイアログボックスで行います。
- ●アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

グループダイヤルに相手先を登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数の相手先をグループにまとめて登録しておくと便利です。
一度の操作で、グループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、をクリックする

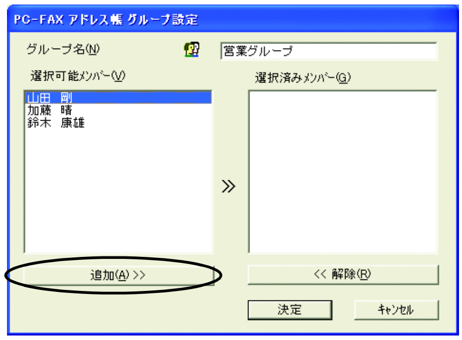


2 ［グループ名］にグループ名を入力する



3 ［選択可能メンバー］ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、［追加（A）>>］をクリックする

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。
追加したメンバーは、［選択済みメンバー］ボックスに一覧表示されます。

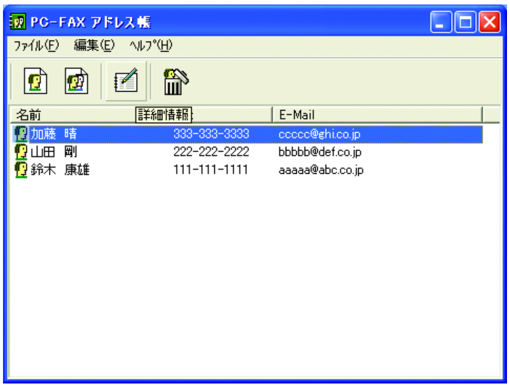


4 メンバーの追加後、［決定］をクリックする

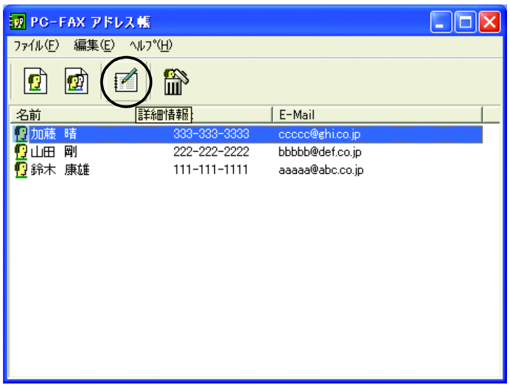
補足
1つのグループダイヤルに最大50件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大256個まで登録できます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

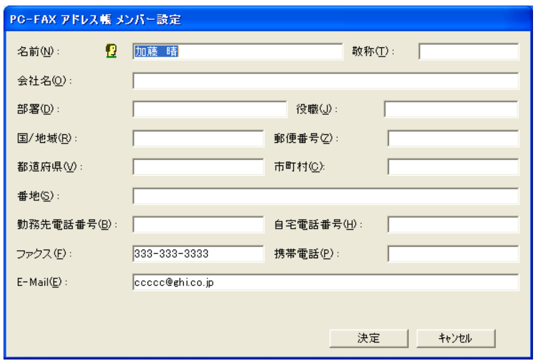
1 **［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する**



2  **をクリックする**



3 **相手先またはグループ情報を編集する**

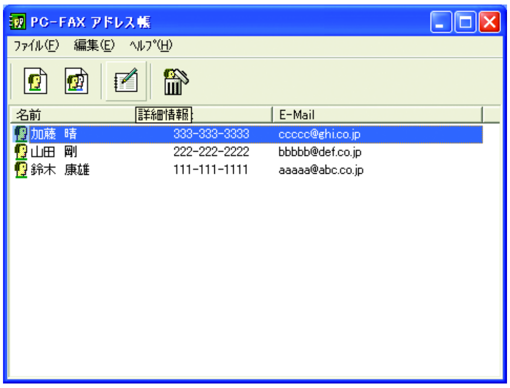


4 **［決定］をクリックする**

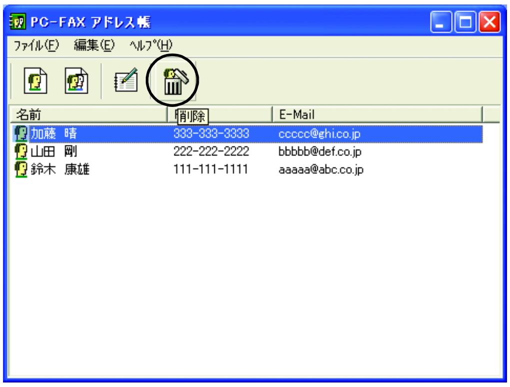
変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

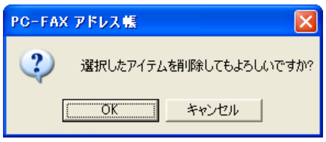
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する



2  をクリックする



3 [OK] をクリックする

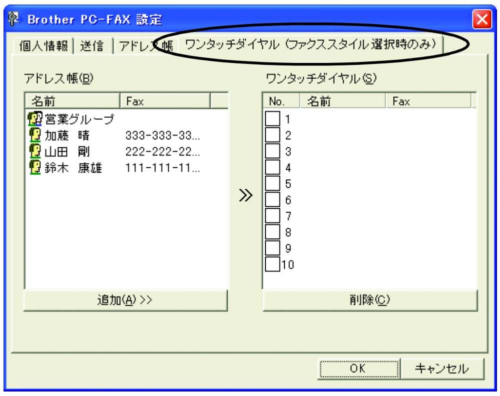


ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

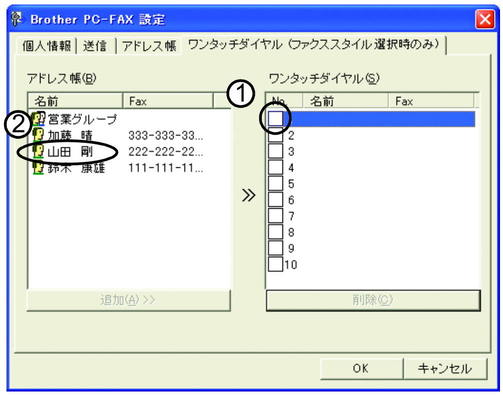
メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）をクリックするだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム)] － [Brother] － [(モデル名)] － [PC ファクス送信] － [PC ファクス設定] の順に選択する

2 [Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [ワンタッチダイヤル] タブをクリックする



3 [ワンタッチダイヤル] ボックスで、登録先のワンタッチダイヤルの番号をクリックする（①）
続けて、[アドレス帳] ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）



4 [追加（A）>>] をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 [OK] をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

1. ［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

2. ［削除］をクリックする

補足

ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］ダブの［送信操作画面］で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV形式のファイル、または「Vcard」としてエクスポートすることができます。

補足

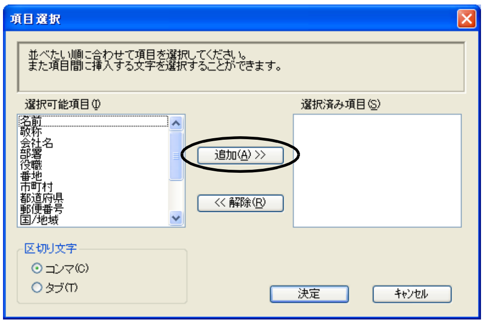
「Vcard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「Vcard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV形式でエクスポートする

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［エクスポート］－［Text］の順にクリックする

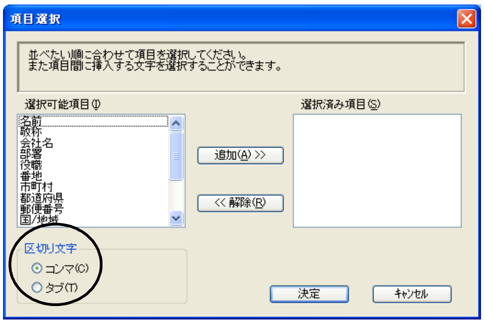
2 ［選択可能項目］欄でエクスポートする項目を選んで、［追加 >>］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



3 ［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する

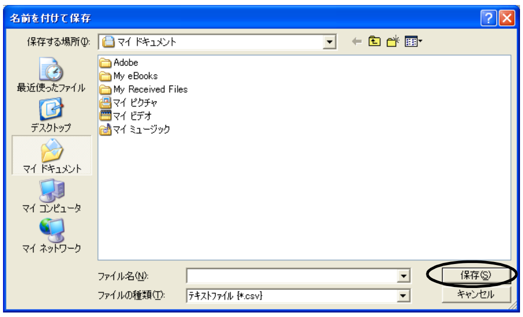
この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。



4 ［決定］をクリックする

データがエクスポートされます。

5 ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする



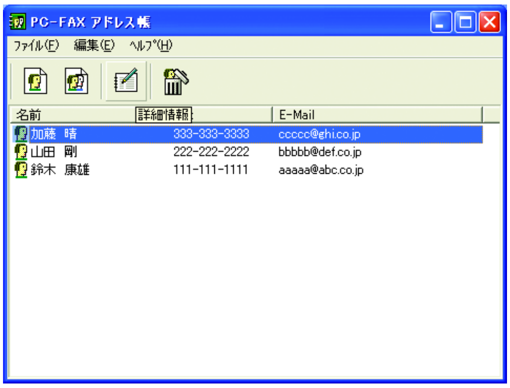
補足

- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。

Vcard（vcf形式）でエクスポートする

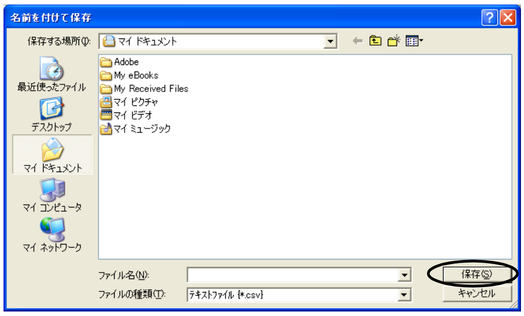
1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、エクスポートしたい相手先をクリックする

追加したい相手先について、この操作を繰り返します。



2 ［ファイル］－［エクスポート］－［Vcard］の順にクリックする

3 ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする



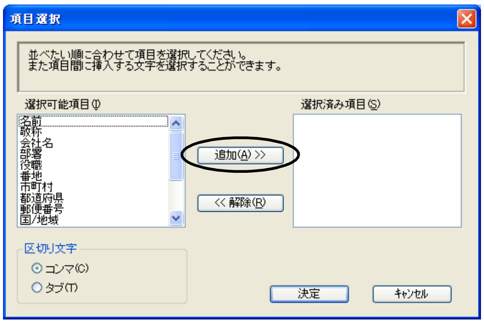
アドレス帳をインポートする

CSV形式のファイルまたは「Vcard」を、アドレス帳にインポートできます。

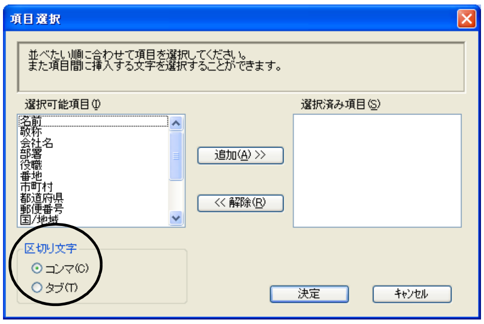
CSV形式でインポートする

1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] － [インポート] － [Text] の順にクリックする

2 [選択可能項目] 欄からインポートする項目を選択してから、[追加（A）>>] をクリックする



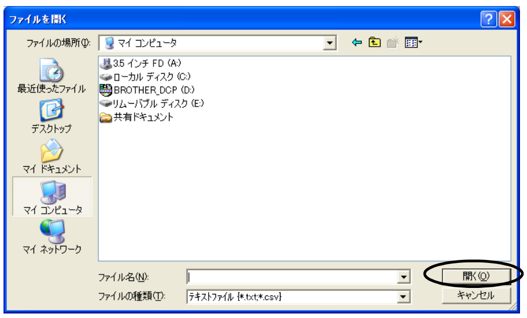
3 インポートするファイル形式により、[区切り文字] で [コンマ] または [タブ] を選択する



4 [決定] をクリックする

データがインポートされます。

5 インポートするファイルを選択して、[開く] をクリックする

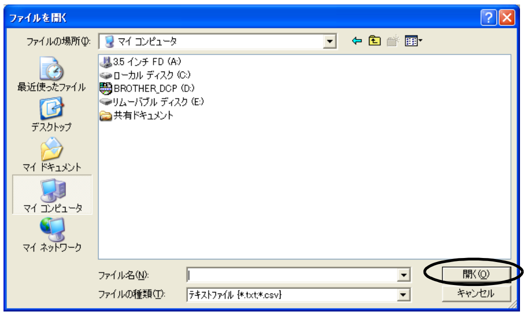


Vcard（vcf形式）でインポートする

1 **[PC ファクス アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] ─ [インポート] ─ [Vcard] の順にクリックする**

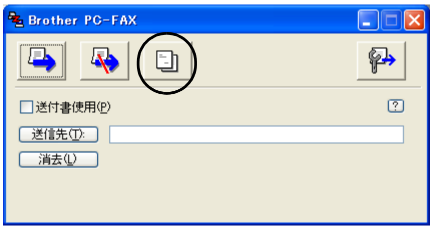
2 **インポートするファイルを選択して、[開く] をクリックする**

選んだ vcf 形式のデータが、PC ファクスアドレス帳に追加されます。



送付書を作成する

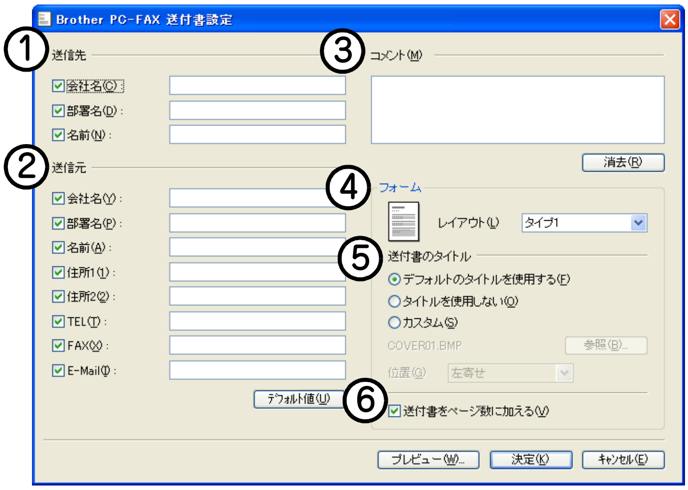
ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。



＜シンプルスタイル＞



＜ファクススタイル＞



送付書に表示させたい項目のチェックボックスをチェックし、各項目を設定して、［決定］をクリックします。

① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 送付書のタイトル

送付書のタイトルを選択します。
［カスタム］を選択すると、会社独自のロゴなどのビットマップファイルを挿入できます。［位置］で配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える

このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

コンピュータでファクスを受信する

受信したファクスをデータとしてパソコンに保存します。

注意

■ファクスを受信したとき、コンピュータの電源が入っていなかったり、コンピュータと接続されていない場合は、本製品に受信データを保存します。

■コンピュータにファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか、UDPのポート137/54926を有効に設定してください。

■PCファクス受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

本製品をPCファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピュータを変更する

PCファクス受信を起動する前に、本製品の設定をする必要があります。ユーザーズガイド(MFC-9440CN 3章, MFC-9450CDN 3章, MFC-9640CW/MFC-9840CDW 4章)の「パソコンでファクスを受信する（PCファクス受信）」を参照して設定してください。PCファクス受信するコンピュータの変更も、同じ手順で行うことができます。

補足

ネットワーク環境の場合、複数のコンピュータが接続されていても、PCファクス受信するコンピュータとして指定できるのは1台だけです。

［PCファクス受信］を起動する

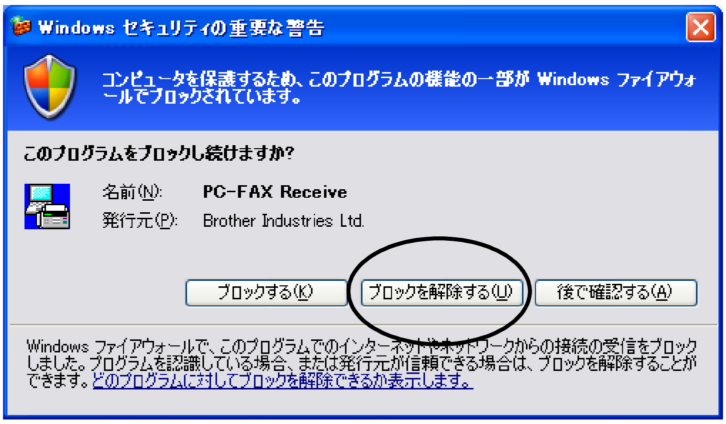
1 **［スタート］メニューの、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC ファクス 受信］－［PC ファクス受信を起動］の順で選択する**

タスクバー上に PC ファクスのアイコン 

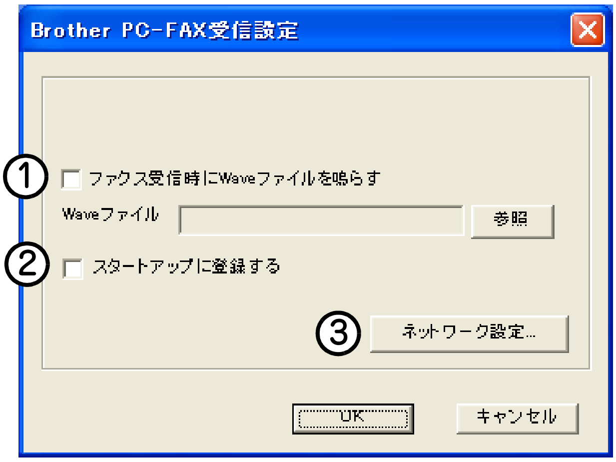
が表示されます。

補足

●ネットワーク環境でWindows® XP Service Pack 2またはWindows Vista®をご使用の場合は、PCファクス受信を起動すると［Windowsセキュリティの重要な警告］が表示されることがあります。その場合は［ブロックを解除する］を選択してください。



●受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC ファクスアイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。



①ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合は、チェックしてWaveファイル名を入力するか、［参照］をクリックしてWaveファイルを選びます。

②スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピュータを起動する際に自動的に［PCファクス受信］が起動されます。

③ネットワーク設定（ネットワーク接続時のみ）

ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IPアドレスやノード名などの設定ができます。

P.125 を参照してください。

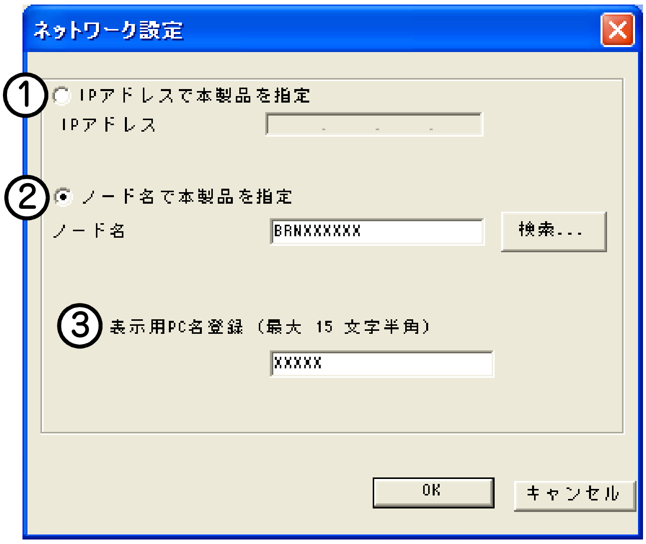
●受信したファクスは My Documents￥My PageManager￥faxes フォルダに保存されます。（My Documents より上のフォルダ構成はご使用のコンピュータにより異なります。）

ネットワーク接続されたコンピュータに登録された本製品を変更をする

本製品で受信したファクスをコンピュータに送るための設定は、ソフトウェアのインストール時に終了しています。（⇒「かんたん設置ガイド」）
インストール時に設定した本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。

1 「Brother PC ファクス受信設定」ダイアログの［ネットワーク設定］をクリックする

「ネットワーク設定」ダイアログが表示されます。



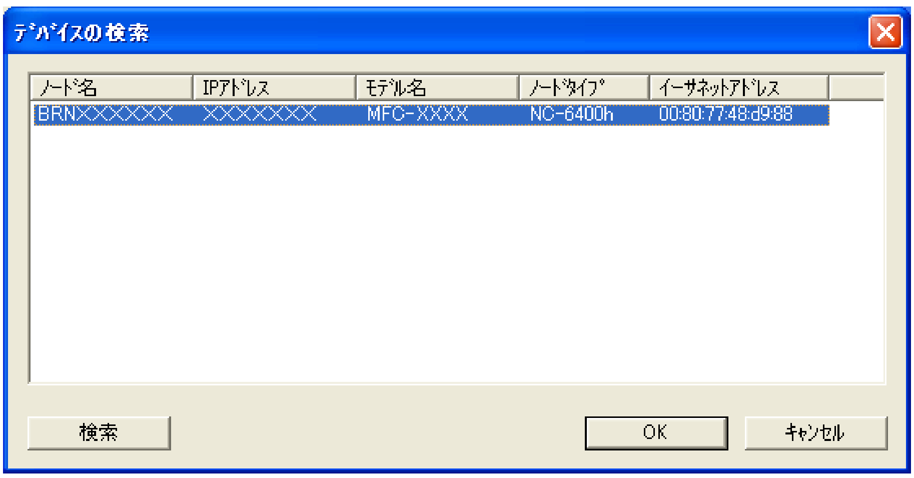
IPアドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で本製品を指定してください。

① IP アドレスで本製品を指定

本製品のIPアドレスを入力してください。

②ノード名で本製品を指定

本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックし、一覧からご使用の製品を選択してください。



③表示用 PC 名登録

本製品のLCD画面に表示されるコンピュータ名を登録することができます。

受信したときは

PCファクスの受信を開始すると青色のアイコン、がタスクバー上で交互に表示されます。
受信が終了すると、が表示されます。

1 **Presto! PageManager を起動します。**

2 **「Faxes」フォルダを開く**

3 **新規のファクスをダブルクリックする**

新規のファクスが開き、メッセージを確認することができます。
受信したメッセージを読み終わると、アイコンが緑色 に変わります。

補足
受信日時がファイル名として表示されます。

Windows®編

6章

インターネットファクス（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

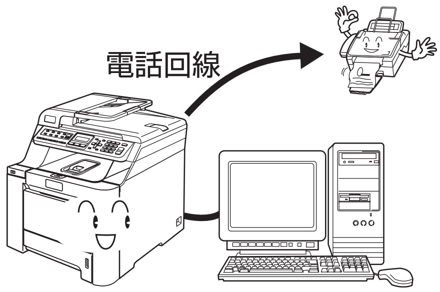
インターネットファクスを利用する前に

インターネットファクス（I-FAX）は、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。PCファクスとは次のような違いがあります。

PCファクスとインターネットファクスの違い

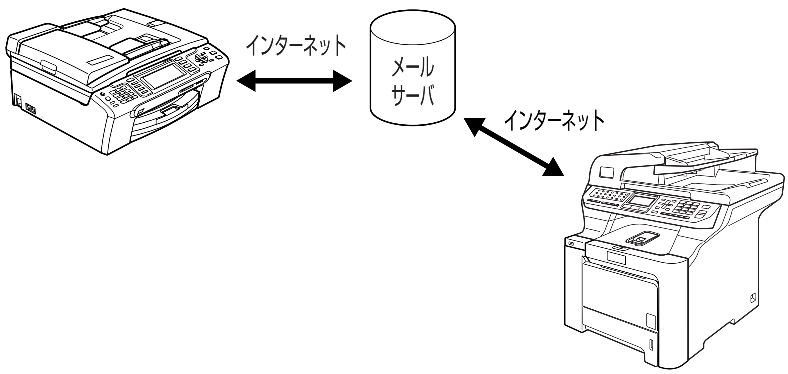
PCファクスとは

通常のファクスは、2 台のファクス機が紙の原稿を送ったり受けたりします。原稿データのやり取りには、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。
PCファクスは、本製品のような複合機にコンピュータを接続し、コンピュータの画面からファクスをやり取りできるようにしたものです。送信時・受信時とも原稿を印刷する必要がないため、用紙やトナー代が節約できます。データのやり取りには、通常のファクス同様、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。



インターネットファクスとは

インターネットファクスは、データのやり取りを、電話回線ではなくインターネットを利用して行います。電話回線が不要になり、通信費がゼロになります（インターネット利用料金は別途必要です）。送受信の操作は本製品の操作パネルで行えるため、必ずしもコンピュータは必要ではありませんが、接続したコンピュータでも可能です。



本製品のインターネットファクスでは、ファクスメッセージはEメール（MIME形式）の添付ファイルとして送信されます。添付ファイルの形式はTIFF-F形式です。受信にコンピュータを利用する場合は、TIFF-Fを閲覧できるビューワーをご用意ください。Windows®ユーザーの方は、標準で搭載されているMicrosoft® Imagingなどが利用できます。

注意

インターネットファクス送受信は、一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。

- 受信者の場所や LAN の構造、ネットワークの混み具合により、エラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は20～30秒）。
- 重要機密などのやり取りには、インターネットファクスではなく一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME 形式に対応していない場合、インターネットファクス文書が送られてきても受信できません。その場合、メールサーバーからのメッセージ（不達など）の返信がないことがあります。
- 送信原稿のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信したメールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

補足

●Windows® XP/Winodws Vista® で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、インターネットファクスが使用できないときは、ポート52926と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

●TIFF-F形式について
ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されている TIFF ファイルとは、圧縮形式、ページ情報を持っている（複数の画像が1つのファイルになっている）などの点が異なります。したがって、複数枚のファクスを受信しても、1つのファイルに変換できます。

●インターネットファクス（I-FAX）機能で送受信できるのは、RFC-2301 記載のモノクロ TIFF-F 形式 Profile S のファイルのみです。

インターネットファクスを送る

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンにインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。これには、本製品の操作パネルで行う方法と、接続したパソコンの画面で行う方法があります。ここでは、接続したパソコンの画面で行う方法を説明します。本製品の操作パネルを使う方法は、ユーザーズガイド(MFC-9640CD/MFC-9840CDW 2章)の「ファクスを送る」を参照ください。

あらかじめ送信の設定P.107で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

注意

■インターネットファクス（I-FAX）を利用するには、あらかじめ本製品のネットワークおよびメールサーバーの設定が必要です。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

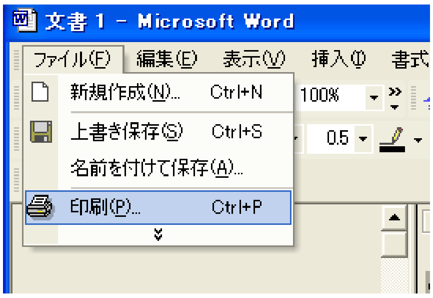
■画質は操作パネルの Fax で選択できます。スタンダード、ファインの各画質を選択できます。カラーでは送信できません。

■サイズ制限
Eメールサーバーによっては、送信できるメールのサイズに制限があります。本製品のサイズ制限をOnにしておくと、1Mバイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたときに「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この場合は、ページを分割するなどして1つのメールを制限値以下に抑える必要があります。
この設定は、操作パネルのLANメニューで変更できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
またウェブブラウザでも設定できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

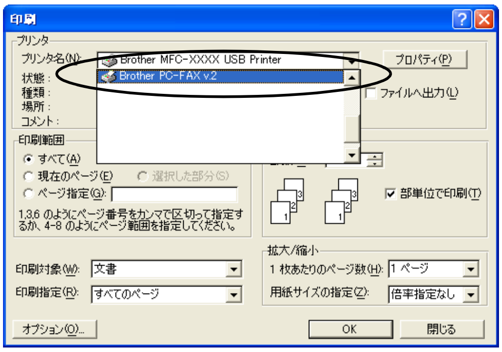
ファクススタイルで送る

1 コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する



3 プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする



4 以下のいずれかの方法で相手先のアドレスを入力する

- 10個のワンタッチダイヤルボタン（①）のいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］ボタン（②）をクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.108 を参照してください。



5 ［送信］をクリックする

ファクス送信が開始されます。
送るのをやめるには、［中止］をクリックします。

補足

●ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。

●ワンタッチダイヤルボタンやアドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でEメールアドレスを登録しておく必要があります。P.108 を参照してください。

●ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。



①送付書使用
ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

②送付書の作成
送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.122 を参照してください。

③消去
相手先を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル
ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに、最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したい相手先が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

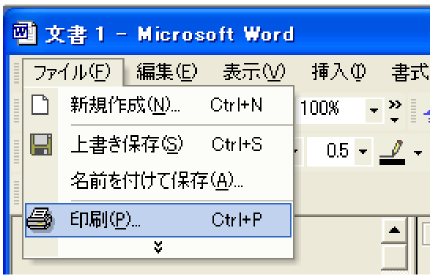
シンプルスタイルで送る

注意

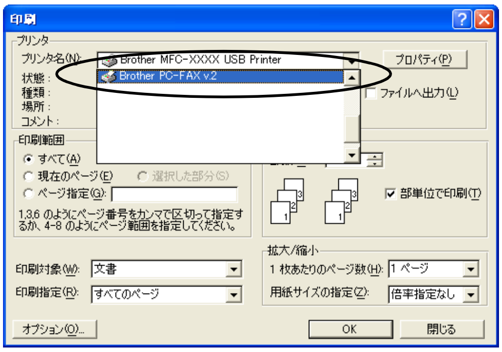
■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1 **コンピュータ上のアプリケーションでファイルを作成する**

2 **［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

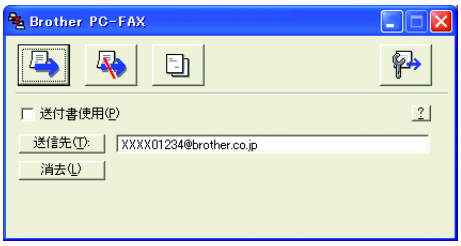


3 **プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX v.2］を選択して、［OK］をクリックする**



4 **［送信先］に、相手のメールアドレスを入力する**

- 相手のメールアドレスは、［送信先］ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- WindowsメールやOutlook、Outlook Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.108 を参照してください。



5 **送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］チェックボックスをチェックする**

送付書の作成についてはP.122 を参照してください。

6 **をクリックする**

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother　PC ファクス設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- アドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でEメールアドレスを登録しておく必要があります。P.108 を参照してください。
- 相手先を間違って入力したときには、［消去］ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。P.122 を参照してください。

受信確認について

本製品からインターネットファクスを送信する場合

送信時に受信確認要求（MDN：Mail Disposition Notification）の情報をあわせて送信すると、受信側のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、またはその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくインターネットファクスが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには

- 受信確認を要求する：　本製品のインターネットファクス設定で、「送信設定」の「受信確認要求」をOnに設定してください。受信側がMDNに対応している場合に確認レポートが送付されてきます。Offの場合は受信確認要求を行いません。
- 受信確認要求に応じる：　本製品のインターネットファクス設定で、「受信設定」の「受信確認」を　On（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信）に設定してください。Off の場合は確認要求に応じません。

詳しい設定方法については「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

エラーメール

エラーによりインターネットファクスが正しく配信されなかった場合、メールサーバーからエラーメッセージが返信され、プリントアウトされます。受信時になにか問題があった場合も、エラーメッセージが出力されます。
（ただし、「ヘッダ印刷」が「ナシ」に設定されているとエラーメッセージは出力されません。）

例：「ジュシンデータ　エラー　：　TIFF-Fケイシキ　デハ　アリマセンデシタ」

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信するには2つの方法があります。

- 自動で定期的に確認する
- 手動で確認する

自動で定期確認を設定する

本製品を定期的にPOP3サーバーへアクセスさせます。操作パネルのLANメニューを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。設定については「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
またウェブブラウザでも設定できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

手動で確認する

手動で本製品をPOP3サーバーにアクセスさせ、メールを確認します。

1 シフト ▼ ＋ スタート（モノクロ）を押す

メールの受信が開始されます。
本製品のディスプレイに［ジュシン　チュウ］と表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。
メール確認の結果、POP3 サーバーにメールが存在しない場合は［メール　ハ　アリマセンデシタ］と表示されます。
データを受信し、印刷開始の時点で記録紙トレイに紙が無い場合、受信されたデータは本製品内のメモリに保存されます。このデータは記録紙を補充することで自動的に印刷されます。

注意

■受信するメールの本文は半角英数の場合のみ、正しく印刷することができます。（日本語には対応していません。）

■受信されたメールがテキスト形式でない場合や、添付ファイルが TIFF-F 形式でない場合は［テンプファイルノ　フォーマットハ　ショウデキマセン　ファイルメイ：XXXX］などのエラーメッセージが印刷されます。

■受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合、［ファイルサイズガ　オオキスギマス］というメッセージが印刷されます。

■操作パネルのLANメニューやウェブブラウザでエラーメール削除機能をOnに設定している時は、これらのメールはサーバーより削除されます。

補足

インターネットファクス（I-FAX）機能で送受信できるのは、RFC-2301 記載のモノクロ TIFF-F 形式 Profile Sのファイルのみです。

コンピュータでインターネットファクスを受信する

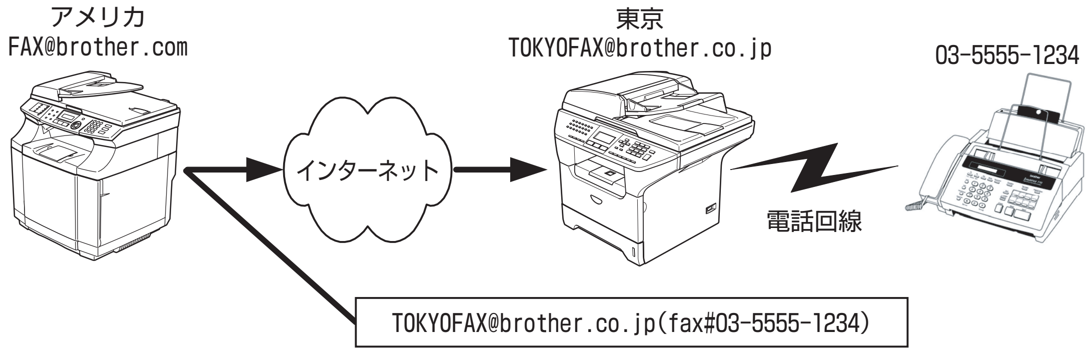
インターネットファクスで送られてきた原稿をコンピュータで受信した場合も、メールの本文に、その文書がインターネットファクス文書であることが記載されています。
インターネットファクス文書（添付ファイル）を読むには、コンピュータにTIFF-Fビューワーがインストールされている必要があります。Windows®に標準で搭載されているMicrosoft® Imagingなどをお使いください。

ファクス転送

本製品で受信したEメールやファクス文書は、他のEメールアドレス（コンピュータやインターネットファクス機）やファクス機器に自動転送することが可能です。また、通常の電話回線経由で転送することも可能です（この場合はモノクロのみになります）。
詳しくは、ユーザーズガイド(MFC-9640CW/MFC-9840CDW 4章)の「ファクス転送を設定する」を参照ください。

リレー配信機能（中継）を使うときは

インターネットファクスで受信した文書を、通常の電話回線を使用して他のファクス機器に再送信することができます。これをリレー配信機能と呼びます。配信先には、最大48台のファクス機器を指定できます。



リレー配信機能には、本製品が中継する場合と、本製品から送り、他の製品に中継させる場合があります。

本製品が中継するとき

本製品をリレー配信機能の中継点として使用するには、リレー配信データの発信元のドメイン名を、あらかじめ本製品に登録し、リレー配信を許可しておく必要があります。登録されていないドメインからのデータはリレー配信されません。登録できるドメイン名は最大10個です。

登録は、操作パネルのLANメニューや、コンピュータのウェブブラウザで行います。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

補足

ドメイン名は、メールアドレスの"@"より後ろの部分です。メールアドレスがtaro@brother.co.jpの場合、ドメイン名はbrother.co.jpとなります。

本製品から送り、他の製品に中継させるとき

出張先のアメリカの本製品（アドレスはFAX@brother.com）から、東京支社にある別の本製品（アドレスはTOKYOFAX@brother.co.jp）を経由して、東京の取引先の通常のファクス機にファクス送信したいような場合、リレー配信機能が便利です。
その際、東京支社の本製品には、あらかじめリレー配信データの発信元として、アメリカの本製品のドメイン名brother.comを、許可ドメインとして登録しておく必要があります。登録がない場合はリレー配信できません。

アメリカからインターネットファクスを送信する場合、宛先には、メールアドレスの後ろにリレー配信先のファクス番号を入力します。

TOKYOFAX@brother.co.jp(fax#03-5555-1234)

Eメールアドレス　ファクス番号

丸カッコ内に必ず"fax#"の文字列を含めます

複数のリレー配信先がある場合は、下記の手順に従います。

1 **1 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力する**

“FAX=03-5555-1234@brother.co.jp”と入力します。
最大 60 文字まで入力できます。
ワンタッチダイヤルにも登録しておくことができます。

2 **OK を押す**

3 **2 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを同様に入力する**

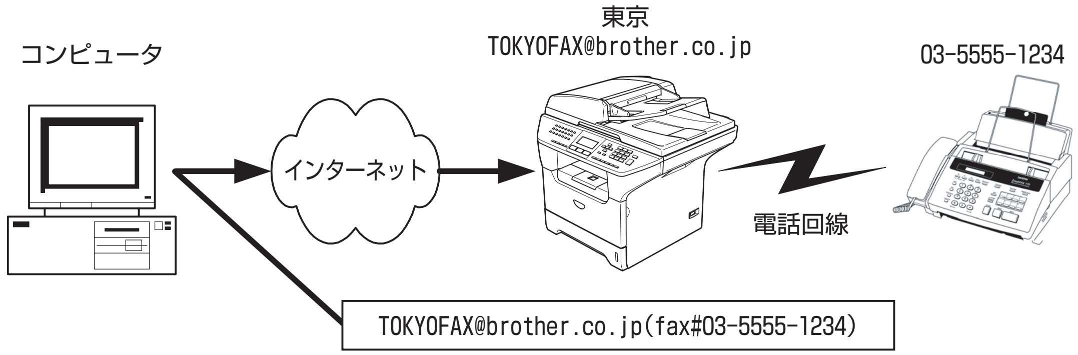
FAX=052-555-1234@brother.co.jp

4 **1 ～ 3 の操作を繰り返して複数のリレー配信先を登録する**

5 **スタート モノクロ を押して送信する**

コンピュータからリレー配信を行う

お持ちのコンピュータ から東京にある本製品にEメールを送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。



また、ソフトウエアやそのバージョンによっては、配信先のファクス番号を含んだメールアドレスの送信/同報に対応していない場合があります。

- Outlook Express
- Netscape Communicator 4.5
- Eudora Ver 4.x
- Outlook 97/98/2000/2002/2003

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。
TOKYOFAX@brother.co.jp（fax#03-5555-1234）
（メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］キーを押すと“fax#03-5555-1234”と表示されることがありますが、正しく送信できます。）
リレー配信機能はネットワークPCファクス からも使用できます。（Windows®のみ）

補足
添付文書をリレー配信する場合、ITU-T勧告によるI-FAXフォーマット「T.37」規格に準拠したファイルを添付してください。

7章

その他の便利な使い方（ControlCenter3）

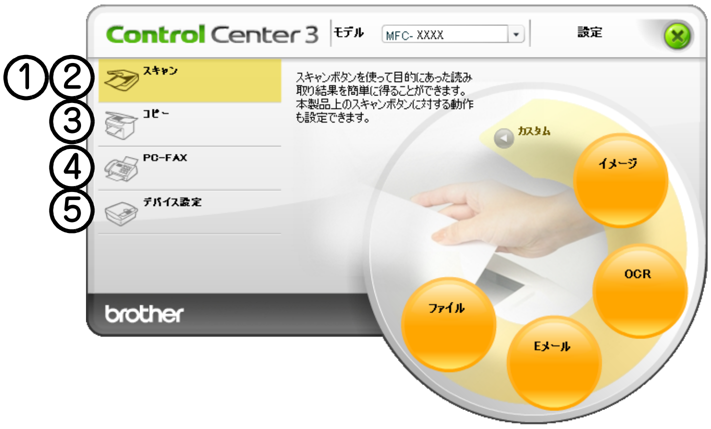
ControlCenter3とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3の画面

ControlCenter3には、「Modern」と「Classic」の2種類のスキンが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

Modern画面



Classic画面



① スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.143 を参照してください。

② カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.145 を参照してください。

③ コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.147 を参照してください。

④ PC ファクス

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.148 を参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.149 を参照してください。

ControlCenter3を起動する

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter3］を選択する**

ControlCenter3 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

起動時の動作を設定する

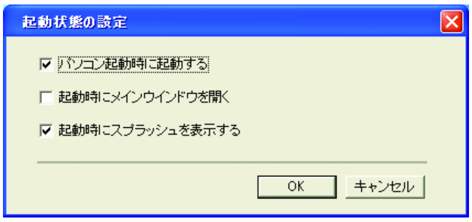
コンピュータを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

1 **タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択する**

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 **起動時の動作を選択する**

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter3 が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter3 が起動し、メインウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。



3 **［OK］をクリックする**

ControlCenter3のスキンを変更する

「Modern」と「Classic」のどちらかのスキンを選択できます。

1 **［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］-［使用するスキンの選択］を選ぶ**

［スキンの選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする**

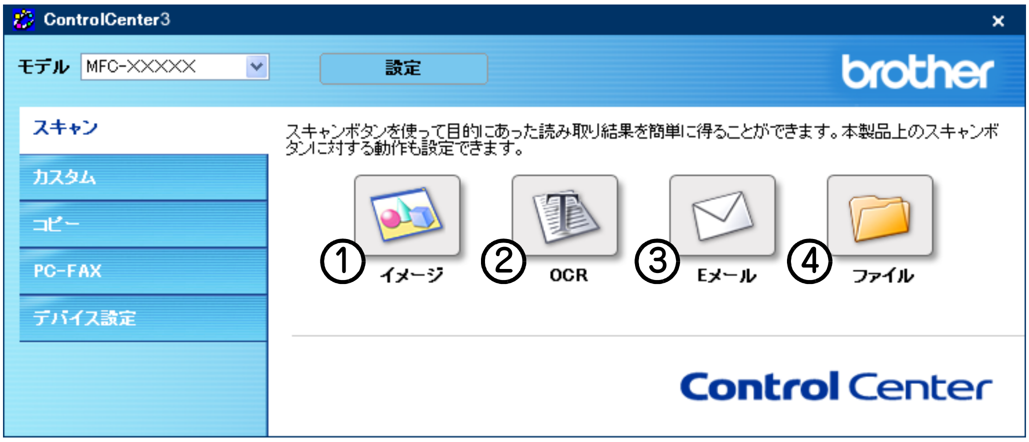
ControlCenter3 のスキンが変更されます。

補足

「Modern」を表示するには、Adobe® Flash® Player8 以降のインストールが必要です。インストールされていない場合は、ダウンロードしてから行ってください。

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。



① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、コンピュータで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、指定したフォルダに保存します。

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。設定方法は、P.144 を参照してください。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF－非圧縮（*.TIF）
- TIFF－圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－非圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ－圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンの設定を変更する

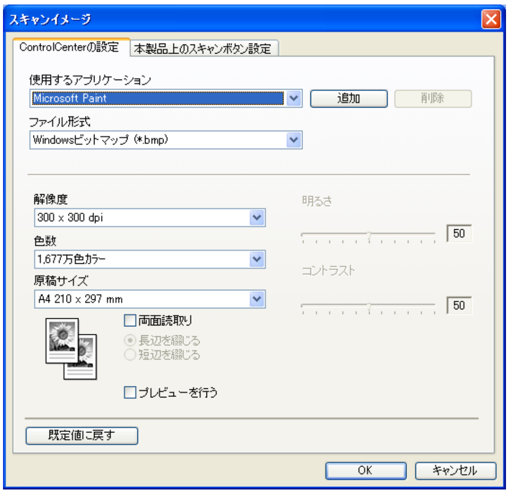
起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

1 各ボタンを右クリックして表示されるメニューから［ControlCenter3 のボタン設定］を選択する

2 ［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本製品上のスキャンボタン設定］タブをクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合



3 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタム

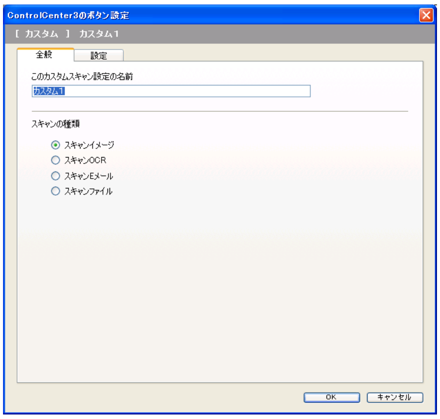
よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。



よく使う設定を登録する

1 **ボタンを右クリックして［ControlCenter3 のボタン設定］を選択する**

「ControlCenter3 のボタン設定」－［カスタム］ダイアログボックスが表示されます。



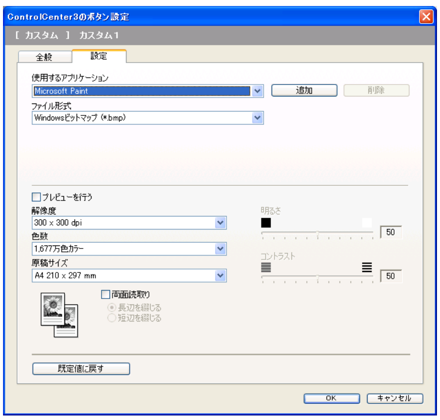
2 **「このカスタムスキャン設定の名前」に名前を入力する**

3 **スキャンの種類を選択する**

スキャンの種類は「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。

4 **「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する**

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。



5 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

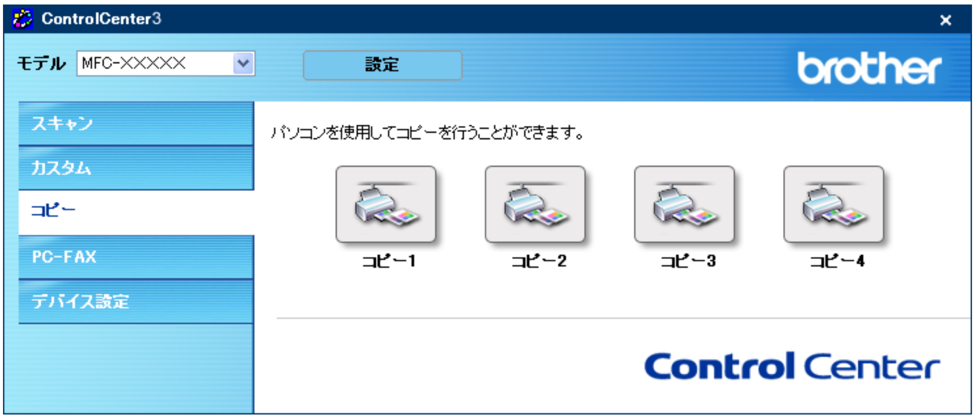
スキャンを実行する

1 原稿をセットし、設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー

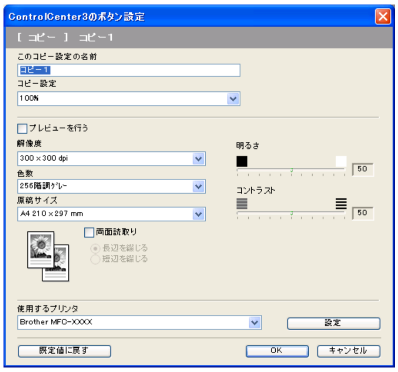
原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。



コピーの設定を登録する

1 **ボタンを右クリックして［ControlCenter3 のボタン設定］を選択する**

「ControlCenter3 のボタン設定」－［コピー］ダイアログボックスが表示されます。



2 **「このコピー設定の名前」に名前を入力する**

3 **「コピー設定」を選択する**

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

4 **他の項目を必要に応じて設定する**

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

5 **［OK］をクリックする**

設定した内容で登録されます。

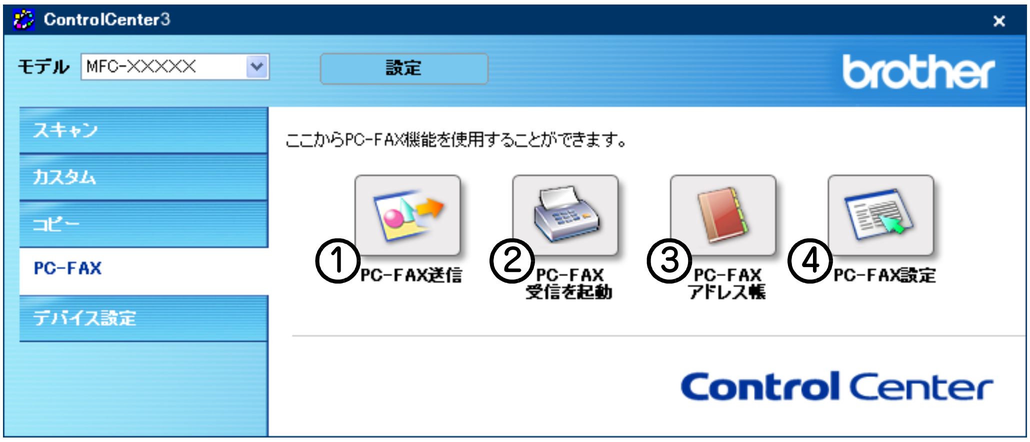
コピーを実行する

1 **原稿をセットし、設定したボタンをクリックする**

設定に従ってコピーが実行されます。

PCファクス

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピュータで内容を確認することもできます。



① PC-FAX 送信

スキャンした原稿をPCファクス送信します。
右クリックでスキャンするデータの設定ができます。

PCファクス 送信の操作については、P.109 またはP.111 を参照してください。

② PC-FAX 受信を起動

ファクスをコンピュータで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが に変わります。

PCファクス 受信の設定および操作については、P.123 を参照してください。

③ PC-FAX アドレス帳

PCファクスのアドレス帳に相手先を登録します。

PCファクスアドレス帳の操作については、P.108 を参照してください。

④ PC-FAX 設定

PCファクスを送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

個人情報の登録については、P.106 を参照してください。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。



① リモートセットアップ

コンピュータ上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.90 を参照してください。

② 電話帳

コンピュータ上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくはP.103 を参照してください。

③ ステータスモニタ

コンピュータ上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくはP.23 を参照してください。

④ ユーザーズガイド

コンピュータ上で本製品の「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照できます。

詳しくはP.2 を参照してください。

Macintosh編

1章

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Apple社製MacintoshのUSBポート搭載機で、Mac OS X 10.2.4以降（ただし、Mac OS X 10.3.0～10.3.8を除く）に対応のプリンタドライバが用意されています。このドライバは、Mac OSに簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。Macintoshとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもMacintoshからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高20枚の片面印刷ができます。（カラー／モノクロなど印刷する内容によって異なります。）

● 自動両面印刷（MFC-9450CDN/MFC-9840CDW のみ）

1分間に最高７ページ/分※の両面印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）
省資源、経費節減に有効です。

※両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、3.5枚/分です。

● 2400 × 600dpi 出力

普通紙に2400×600dpi相当の解像度で印刷します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙、ラベル紙およびはがきなどに対応します。

● ネットワークプリント

ネットワーク環境では、ネットワークプリンタとして使用できます。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

● セキュリティ印刷

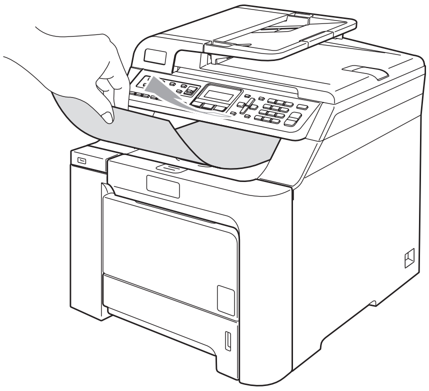
データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくはP.166 を参照してください。

補足

●解像度などの設定については P.164 を参照してください。

●記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド 1章「記録紙について」を参照してください。

●印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



●本製品が Macintosh からのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのは Macintosh の印刷終了後です。また、Macintoshから印刷中にファクスを受信すると、Macintoshの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やMacintoshの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙を使用しないでください。紙づまりなどの原因となります。60g/m^2 ～ 163g/m^2 の記録紙を使用してください。また、プリンタドライバの［用紙種類］を、記録紙に合わせて設定してください。

■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

印刷する

片面に印刷する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］または［ページ設定］を選択する**

2 **用紙サイズや印刷向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする**

3 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

4 **［プリント］をクリックする**

プリントデータランプ（DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する（MFC-9450CDN/MFC-9840CDWのみ）

両面印刷できるのは、A4サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）のみです。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

2 ポップアップメニューから［レイアウト］を選択する

3 両面プリントの［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択する

4 ［プリント］をクリックする

プリントデータランプ（MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

補足

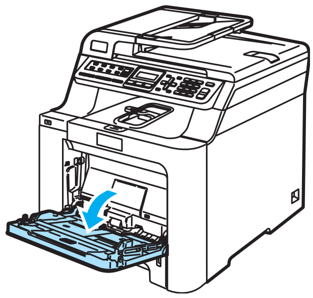
- 印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。
- カラーで両面印刷する場合の品質は、記録紙の種類や紙質によって異なります。あらかじめ試し印刷することをお薦めします。

多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

本製品の前面には、多目的トレイ（MP トレイ）があります。多目的トレイに用紙を入れると、自動的に多目的トレイモードになります。

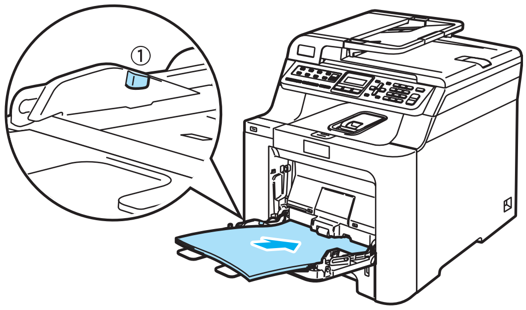
1 **多目的トレイ（MP トレイ）を開く**

必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。



2 **印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする**

記録紙ガイドは、多目的トレイ（MP トレイ）の両側にある記録紙ガイド（①）に収まるようにセットしてください。



3 **記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる**

4 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

5 **［プリント］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択する**

6 **用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［プリント］をクリックする**

プリントデータランプ（DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN）またはステータスランプ（MFC-9640CW/MFC-9840CDW）が点滅して印刷を開始します。

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリーに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。

1 **キャンセル を押す**

メモリー内のデータが消去されます。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。

1 (DCP-9040CN)

メニュー、3 DEF、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC–9450CDN/MFC–9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、4 GHI、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

フォントリストが出力されます。

3 停止/終了 を押す

プリント設定内容リストの出力

現在のプリント設定内容を印刷できます。

1 (DCP-9040CN)

メニュー、3 DEF、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC–9450CDN/MFC–9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、4 GHI、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

プリント設定内容が出力されます。

3 停止/終了 を押す

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

1

(DCP-9040CN)

メニュー、3 DEF、4 GHI の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC–9450CDN)

メニュー、4 GHI、4 GHI の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、4 GHI、5 JKL の順に押す

▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2

1 を押す

プリント設定内容が初期化されます。

3

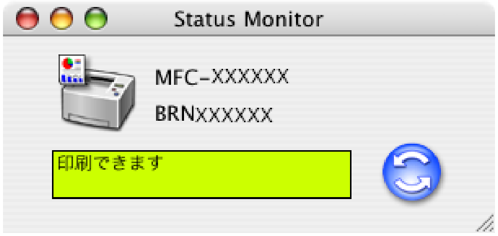
停止/終了 を押す

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

ご使用のMacintoshからステータスモニタで本製品の印刷状況などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［ブラザーステータスモニタ］アイコンをクリックすると、ステータスモニタが起動し、ステータスモニタウィンドウが表示されます。
ControlCenter2を使ってステータスモニタを起動することもできます。詳しくはP.229を参照してください。



本製品の状態表示の更新

をクリックすると、ご使用のMacintoshと本製品が通信を開始し、本製品の状態を確認できます。

更新間隔の変更

本製品の状態表示の自動更新間隔を変更することができます。

1 **メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［環境設定］を選択する**

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

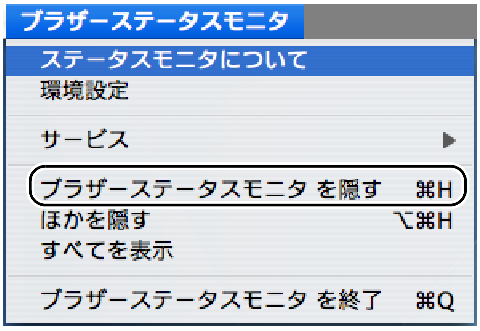
2 **［入］にチェックが入っていることを確認して、［リフレッシュ間隔］に数値を入力する**



3 **［OK］をクリックする**

ウインドウの格納と表示

- ステータスモニタ起動後、ステータスモニタウインドウを格納（非表示に）するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを隠す］を選択します。
- ステータスモニタ格納後、再度ステータスモニタウインドウを表示するには、ドックのをクリックします。また、ControlCenter 2のデバイス設定タブからステータスモニタをクリックしてもウインドウが表示されます。



ステータスモニタの終了

ステータスモニタを終了するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニタ］から［ブラザーステータスモニタを終了］を選択します。

ウェブブラウザを使用して本製品にアクセスする

- 標準のウェブブラウザでHTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、本製品を管理することが出来ます。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
- ステータスモニタウインドウのをクリックするとウェブブラウザを使用して本製品にアクセスすることができます。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバで設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。
ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択する**

［対象プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。
以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

設定が終わったら、［OK］をクリックする



2 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。

- Mac OS X 10.2.4～10.4.xの場合は、手順4に進みます。
- Mac OS X 10.5.xの場合は、手順3に進みます。

Mac OS X 10.2.4～10.4.x



Mac OS X 10.5.x



3 **［プリンタ］ポップアップメニュー横の▼をクリックする**



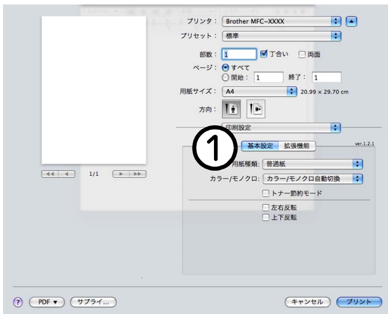


Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

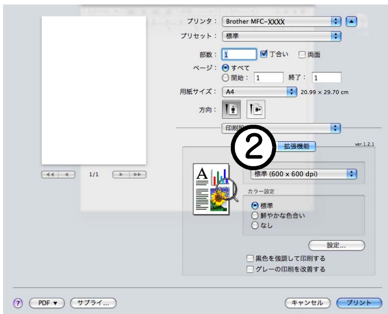
4 ポップアップメニューから［印刷設定］を選択する

以下の項目が設定できます。

①基本設定
- 用紙種類
- カラー／モノクロ
- トナー節約モード
- 左右反転
- 上下反転



②拡張機能
- 印刷品質
- カラー設定
- 黒色を強調して印刷する
- グレーの印刷を改善する



5 各項目を設定する

設定内容の詳細はP.162を参照してください。

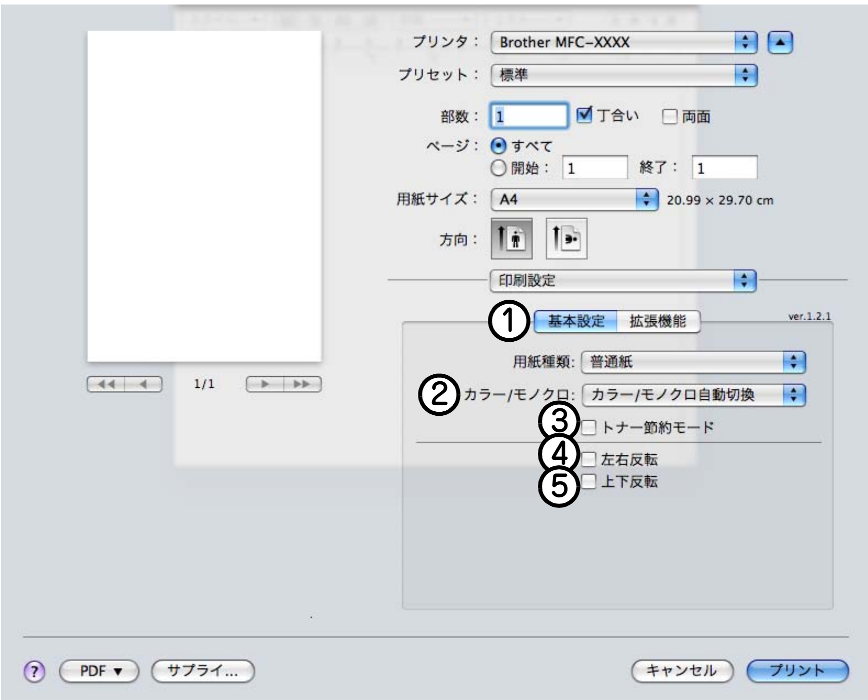
6 ［プリント］をクリックする

印刷が開始されます。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効になります。両方を設定せず、プリンタドライバでのみ設定してください。

[基本設定] 画面での設定項目



① 用紙種類

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙（厚め）
- 普通紙
- 厚紙
- 超厚紙
- ボンド紙
- 再生紙
- 封筒
- 封筒（薄め）
- 封筒（厚め）
- ハガキ
- ラベル紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。
市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］を選択します。
厚めの用紙を使用している場合は、［厚紙］を選択します。［厚紙］を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、［超厚紙］を選択します。
再生紙には［再生紙］を選択します。

② カラー／モノクロ

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを切り替えます。

- カラー／モノクロ自動切換 .... ページごとにカラー設定とモノクロ設定を自動的に切り替えて印刷します。印刷速度は多少低下します。
- カラー .... すべてのページをカラー印刷します。
- モノクロ... すべてのページをモノクロ印刷します。

補足

シアン、マゼンタ、またはイエローのトナーがなくなった場合は、「モノクロ」を選択すると、ブラックのトナーがなくなるまでモノクロ印刷を続けることができます。

③ トナー節約モード

印刷密度を下げて、トナーの消費量を抑えることができます。

④ 左右反転

左右に反転して印刷することができます。

⑤ 上下反転

上下に反転して印刷することができます。

補足

グレースケールや写真を印刷するときは、［トナー節約モード］を［オフ］にしてください。

［拡張機能］画面での設定項目



① 印刷品質

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 標準（600 x 600 dpi）............................通常の印刷にお勧めします。
- きれい（2400 dpi 相当）........................写真などをなめらかに印刷できます。ただし印刷速度が低下することがあります。

② カラー設定

カラー印刷の色合いを変化させることができます。

- 標準...標準的な色合いで印刷します。
- 鮮やかな色合い ....鮮やかな色合いで印刷します。
- なし
- 設定...明るさ、コントラスト、色合い、彩度を設定できます。

③ 黒色を強調して印刷する

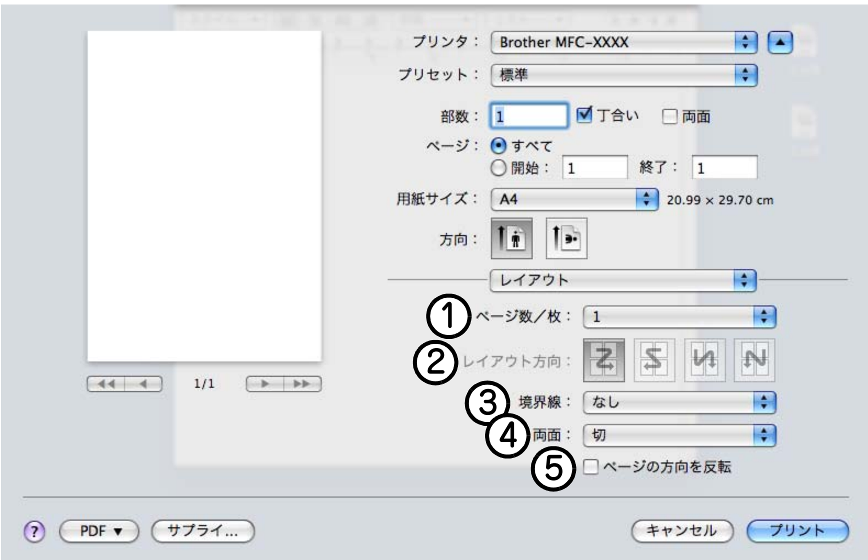
黒の部分が十分に黒く印刷できないときに、このチェックボックスをチェックします。

④ グレーの印刷を改善する

グレーの部分に他の色が混じってグレーに印刷できないときに、このチェックボックスをチェックします。

その他の設定内容

[レイアウト] での設定項目



① ページ／枚

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。
1枚の用紙に印刷するページ数を「1」、「2」、「4」、「6」、「9」、「16」から選択します。

② レイアウト方向

複数ページのレイアウト方向を選択します。

③ 境界線

複数ページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページに仕切り線を挿入することができます。
仕切り線のタイプを「なし」、「極細線」、「細線」、「極細2本線」、「細2本線」から選択します。

④ 両面（MFC-9450CDN/MFC-9840CDW のみ）

両面プリントをした際のとじ方を選択します。

⑤ ページの方向を反転（Mac OS X 10.5.x のみ）

上下に反転して印刷することができます。

［セキュリティ印刷］での設定項目

● セキュリティ印刷

Macintoshから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

Macintoshでセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する

▼

Macintoshで印刷を実行する

▼

印刷データが本製品に届き、本製品内に保持される

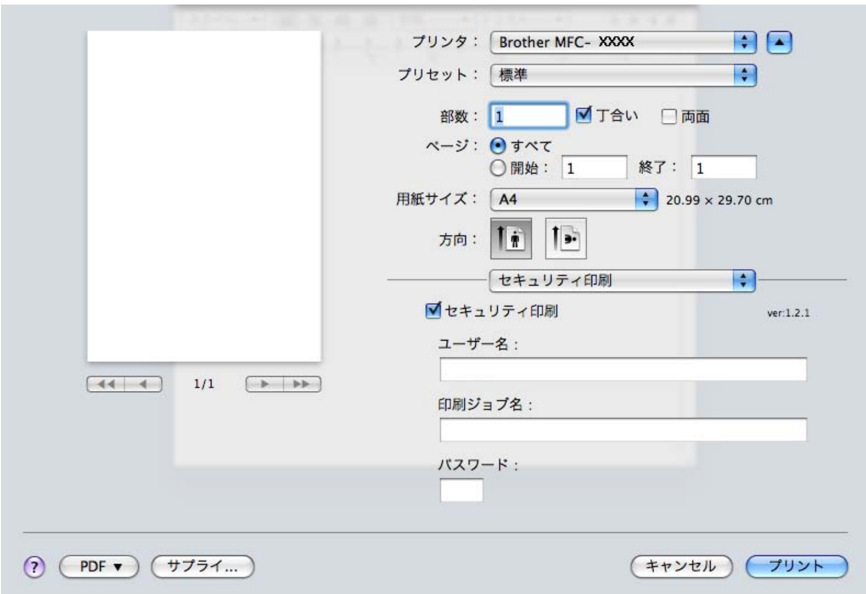
▼

本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。

● Macintosh の操作

1 ［セキュリティ印刷］で、セキュリティ印刷チェックボックスにチェックを付ける



2 ユーザー名、印刷ジョブ名、パスワードを設定する

ユーザー名と印刷ジョブ名は半角英数字、パスワードは半角４桁数字で入力してください。

3 ［プリント］をクリックする

● 本製品の操作

4 セキュリティ を押す

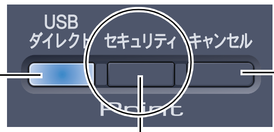
メモリーにセキュリティデータがない場合は、「データガ　アリマセン」と表示されます。



セキュリティ印刷をします。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

DCP-9040CN



USB ダイレクト印刷を行います。

本製品のメモリーにあるデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷をします。

MFC-9440CN/MFC-9450CDN/
MFC-9640CW/MFC-9840CDW

5 ▲または▼を押してユーザーを選択し、OK を押す

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
KOIZUMI ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
セキュリティ　プ゜リント
 ナマエ　？
▲ KOIZUMI
▼ SAKAI
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
```

6 ▲または▼を押して印刷したいデータを選択し、OK を押す

```
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
TEST1 ▲▼
```

```
セキュリティ　プ゜リント
 ブ゛ンショメイ　？
 TEST1
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
```

7 4 桁のパスワードを入力し、OK を押す

```
ニュウリョク&OKホ゛タン
ハ゜スワート゛：XXXX
```

```
セキュリティ　プ゜リント
 TEST1

 ハ゜スワート゛：XXXX
ニュウリョク&OKホ゛タン
```

8 ▲または▼を押して「プリント」を選択し、OK を押す

- 印刷を開始します。
- 印刷をしないでデータを削除する場合は、▲または▼を押して「ショウキョ」を選択し、OK を押してください。

```
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
プ゜リント ▲▼
```

```
セキュリティ　プ゜リント
 TEST1
▲ プ゜リント
▼ ショウキョ
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
```

BR-Script3プリンタドライバの設定をする

BR-Script3プリンタドライバは、PCファクス機能には対応していません。
USB接続しているMac OS Xは、1つのプリンタドライバのみ登録することができます。すでに［プリンタリスト］にブラザープリンタドライバが登録されている場合は、いったんドライバを削除してBR-Script3プリンタドライバをインストールする必要があります。

Mac OS X 10.2.4～10.4.xの場合

1 ［移動］メニューの［アプリケーション］を選択する



2 ［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックする



3 ［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする

Mac OS X 10.2.x の場合は、［プリントセンター］をダブルクリックします。



4 ［追加］をクリックする

Mac OS X 10.4.x の場合は、手順６に進みます。



5 ［USB］を選択する

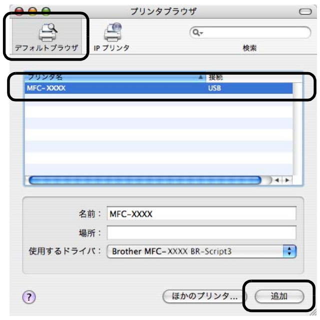


6 ［モデル名］を選択し、［追加］をクリックする

Mac OS X 10.2.4～10.3.9

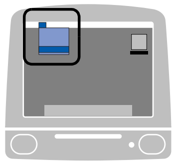


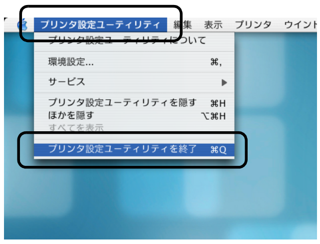
Mac OS X 10.4.x



7 ［プリンタ設定ユーティリティ］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］を選択する

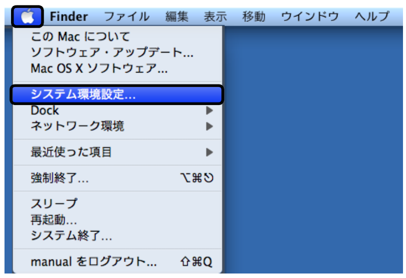
Mac OS X 10.2.x の場合は、［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択します。





Mac OS X 10.5.xの場合

1 メニューから［システム環境設定］を選択する



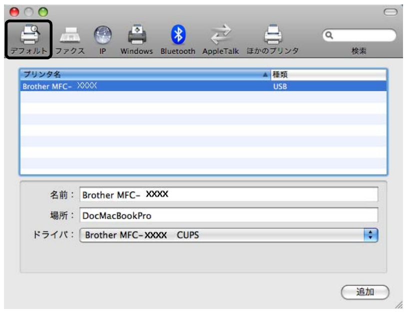
2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックする



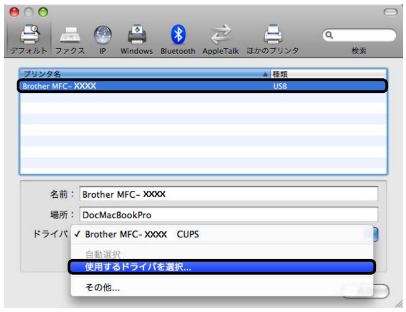
3　[＋]をクリックする



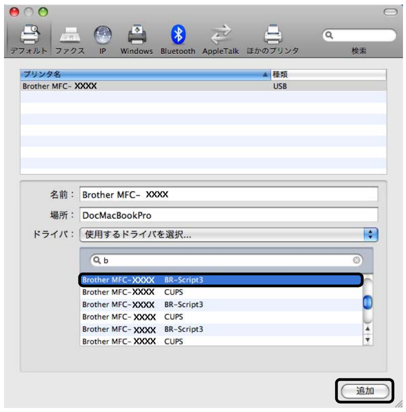
4　［デフォルト］アイコンをクリックする



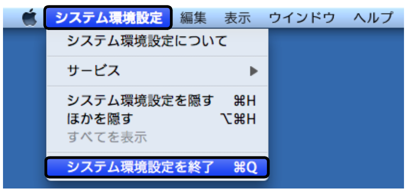
5　［Brother（モデル名）］を選択し、［ドライバ］から［使用するドライバを選択 ...］をクリックする



6　［Brother（モデル名）BR-Script3］を選択し、［追加］をクリックする



7　［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］を選択する



Macintosh編

2章

スキャナとして使う

スキャナとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナドライバをインストールする

付属のCD-ROMに収録されているドライバのインストールが必要です。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。

ただし、以下の場合はドライバのインストールは不要です。

- 「スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】(MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ)」P.175
- 「スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】」P.178
- 「スキャンした原稿を USB メモリーに保存する【スキャン to USB】（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/ MFC-9840CDWのみ）」P.181

ネットワーク接続の場合の準備

● ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みですが、そうでない場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

● スキャンするデバイスを選択する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、スキャンするデバイスをあらかじめ選んでおく必要があります。スキャンするデバイスを変更する場合は、以下の手順で操作してください。

1 **[Macintosh HD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [DeviceSelector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックする**

「デバイスセレクタ」画面が開きます。
デバイスセレクタは ControlCenter2 からも起動できます。

2 **IP アドレスまたは mDNS サービス名で本製品を指定する**

IP アドレスを変更するには、新しい IP アドレスを入力してください。
製品名の一覧から本製品を選択することもできます。
［検索］をクリックして一覧を表示してください。



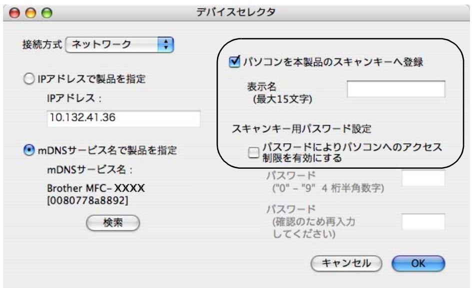
3 **項目を設定する**

4 **[OK] をクリックする**

補足

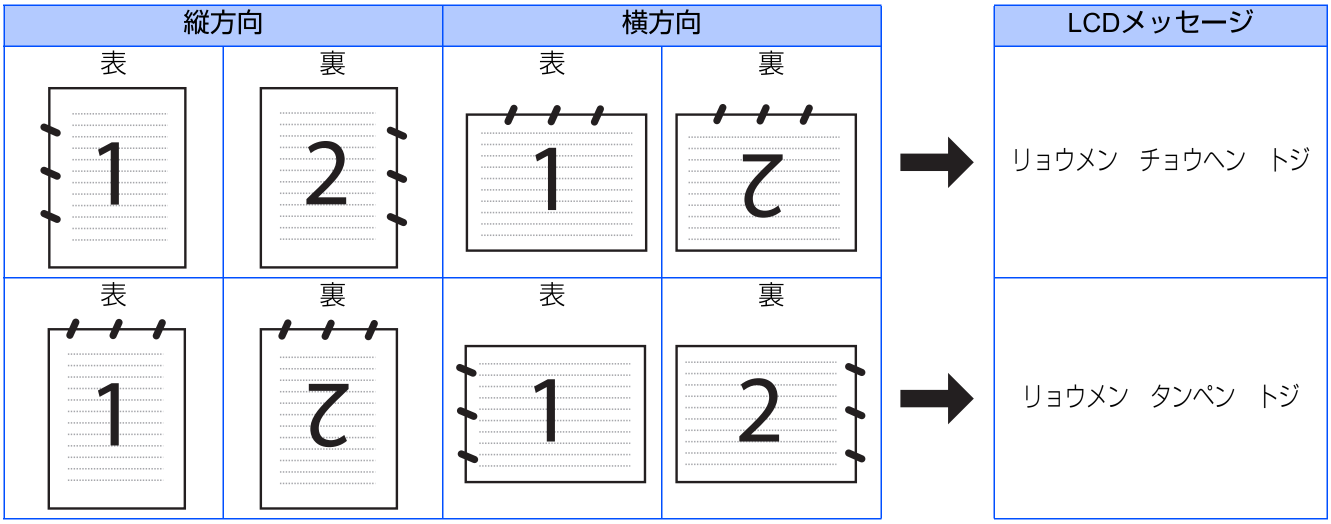
●本製品のスキャンボタンを使用してスキャンしたい場合は、「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、表示名にお使いのMacintoshの名前を入力します。

●スキャンした原稿データをMacintoshに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。



自動両面スキャンについて（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択することで自動両面スキャンをすることができます。原稿台ガラスから自動両面スキャンをすることはできません。



スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをMacintoshから新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	P.183
		スキャン to Eメール送信 ※	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。(本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、Macintoshの操作は必要ありません。)	P.175
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	P.184
	TWAINドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	P.188
	スキャン to OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word等で編集できます。	P.185
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル		スキャンしたデータをMacintoshのハードディスクに保存します。	P.186
	スキャン to FTP		スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	P.178
	スキャン to USB ※※		スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリーに保存します。	P.181

※ MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ
※※ MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ

補足

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～12：00 、13：00 ～17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

本製品のスキャンボタンからスキャンする（Macintoshに送らない場合）

操作パネルの（Scan）を押してスキャンした原稿データを、本製品で直接送ったり保存したりします。
Macintoshを使用しないため、ドライバのインストールは不要です。

スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】(MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ)

準備～本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳細は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿は E メールの添付ファイルとして、モノクロはTIFFまたはPDF形式、カラーはJPEGまたはPDF形式で送信されます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （Scan）を押す

3 ▲または▼を押して「スキャン to Eメール」を選択する

```
▲スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
 スキャン to イメージ
▼スキャン to OCR
▲▼デ センタク&OKボ タン
```

4 OKを押す

5 ▲または▼を押して［リョウメン チョウヘン トジ］、［リョウメン タンペン トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン チョウヘン トジ］または［リョウメン タンペン トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OKを押す

7 ▲または▼を押して「Eメールデ チョクセツオクル」を選択する

8 OK を押す

9 ▲ または ▼ を押して「ｾｯﾃｲ　ﾍﾝｺｳ」を選択する

画質を変更しない場合は、「ｱﾄﾞﾚｽ　ﾆｭｳﾘｮｸ」を選択し、OK を押して、手順 15 へ進みます。

10 OK を押す

11 ▲ または ▼ を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- ｶﾗｰ　150　dpi
- ｶﾗｰ　300　dpi
- ｶﾗｰ　600　dpi
- ﾓﾉｸﾛ　200　dpi
- ﾓﾉｸﾛ　200×100dpi

12 OK を押す

13 ▲ または ▼ を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

14 OK を押す

15 送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法については「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、すでに登録してある E メールアドレスを入力することもできます。

16 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

補足

手順9～11で画質を変更しない場合は、初期設定の画質・ファイル形式が適用されます。
詳しくは、P.193 を参照してください。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで送る

E メールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することもできます。画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限られます。

補足

スキャンの画質やファイル形式（スキャンプロファイル）は、E メールアドレスごとにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録できます。詳しくは、 ユーザーズガイド（MFC-9640CW/MFC-9840CDW 3 章）の「電話帳を作成する」を参照ください。

1 **スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする**

2 

を押す

3 **宛先の E メールアドレスが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押す**

4 

または 

を押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本製品がメールを送信します。

スキャンした原稿をFTPサーバーに送る【スキャン to FTP】

この機能は、スキャン画像を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。スキャン to FTPを使用するには、送信先の情報を操作パネルから入力するか、ウェブブラウザで登録したFTPサーバーを選択します。FTPサーバーの登録方法は、P.196 を参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る

1 スキャンする原稿をADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする

2 Scan を押す

3 ▲または▼を押して「ｽｷｬﾝ to FTP」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
ｽｷｬﾝ to FTP     ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to FTP
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to ｲﾒｰｼﾞ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
```

4 OK を押す

5 ▲または▼を押して［ﾘｮｳﾒﾝ ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ］、［ﾘｮｳﾒﾝ ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ］または［ｶﾀﾒﾝ］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［ﾘｮｳﾒﾝ ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ］または［ﾘｮｳﾒﾝ ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

7 ▲または▼を押して、送信したいFTPサーバーを選択する

8 OK を押す

9 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTP サーバーは登録されているが、その登録内容の中でブランク（未設定）になっている項目がある場合は、液晶ディスプレイ上で選択する必要があります。必要に応じて次ページの手順 11 へ進んでください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、送信先フォルダが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を手動でFTPサーバーに送る

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

3 ▲または▼を押して

「スキャン　to　FTP」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
スキャン　to　FTP　　　▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　USB
 スキャン　to　FTP
 スキャン　to　Eメール
▼スキャン　to　イメージ゛
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
```

4 OK を押す

5 ▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

7 ▲または▼を押して、「シュドウ　セッテイ」を選択する

8 OK を押す

9 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

10 OK を押す

11 ダイヤルボタンを押して送信先のフォルダ名を入力する

例：brother/abc

12 OK を押す

13 ▲または▼を押して、［ﾕｰｻﾞｰﾒｲ　ﾆｭｳﾘｮｸ］か［ｾｯﾃｲ　ﾍﾝｺｳ］を選択する

- ［ﾕｰｻﾞｰﾒｲ　ﾆｭｳﾘｮｸ］を選択した場合は、手順15に進みます。
- 解像度は下記の中から選択できます。
  - ｶﾗｰ　150　dpi
  - ｶﾗｰ　300　dpi
  - ｶﾗｰ　600　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200　dpi
  - ﾓﾉｸﾛ　200×100 dpi

14 ▲または▼を押して、画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

15 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

16 OK を押す

17 ダイヤルボタンを使用して FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

18 OK を押す

19 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、手順 1 からやり直してください。FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の液晶ディスプレイに「ﾆﾝｼｮｳ　ｴﾗｰ」と表示されます。手順1からやり直してください。

スキャンした原稿をUSBメモリーに保存する【スキャン to USB】（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/ MFC-9840CDWのみ）

スキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリーに保存します。

1 **USB メモリーを本製品の USB コネクタに接続する**

本製品が USB メモリーを認識し、USB ダイレクト が青く点灯します。

2 **スキャンする原稿を ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスにセットする**

3 **Scan を押す**

4 **▲または▼を押して［スキャン　to　USB］を選択する**

- MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順7に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順5に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/ MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン　to　USB　　　　▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　USB
　スキャン　to　FTP
　スキャン　to　Eメール
▼スキャン　to　イメージ゛
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

5 **OK を押す**

6 **▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する**

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

7 **OK を押す**

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順8に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順15に進んでください。

8 **▲または▼を押して「セッテイ　ヘンコウ」を選択する**

9 **OK を押す**

10 ▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　150 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

11 OK を押す

12 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、[PDF] か [JPEG] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF] か [TIFF] を選択します。

13 OK を押す

14 保存するファイル名を入力する

[例] ABC01

15 OK を押す

16 カラースタート または スタートモノクロ を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- ●ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに BROTHER フォルダが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダがある場合は、その中に保存されます）
- ●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、P.195を参照してください。
  - ファイル形式
    カラー　150　dpi／PDF
  - ファイル名
    yymmddxx
    yy：西暦の下2桁
    mm：月
    dd：日
    xx：通し番号

本製品のスキャンボタンからスキャンする（Macintoshに送る場合）

操作パネルの Scan を押してスキャンした原稿データを、Macintoshに送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿をEメールに添付して取り込むことができます。スキャンした原稿データがMacintoshに届くと、メール送信画面が起動します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

3 ▲または▼を押して「スキャン　to　Ｅメール」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン　to　Eメール　　　▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　FTP
 スキャン　to　Eメール
 スキャン　to　イメージ゛
▼スキャン　to　OCR
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 OK を押す

5 ▲または▼を押して［リョウメン　チョウヘン　トジ］、［リョウメン　タンペン　トジ］または［カタメン］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン　チョウヘン　トジ］または［リョウメン　タンペン　トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順9に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順7に進んでください。

7 ▲または▼を押して「PC」を選択する

8 OK を押す

9 （ネットワーク接続の場合）

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh 名を選択した後にパスワードを入力してください。

10 **OK を押す**

11 **カラー スタート または モノクロ スタート を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- Scan を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくはP.224を参照してください。
- ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をMacintoshのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがMacintoshに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、Macintoshの画面に表示されます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **Scan を押す**

3 **▲または▼を押して「スキャン　to　イメージ」を選択する**

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
スキャン　to　イメージ゛
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン　to　FTP
 スキャン　to　Eメール
 スキャン　to　イメージ゛
▼スキャン　to　OCR
▲▼デ゛ンタク&OKボ゛タン
```

4 **OK を押す**

5 または を押して［リョウメン チョウヘン トジ］、［リョウメン タンペン トジ］または［カタメン］を選択する

補足
自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン チョウヘン トジ］または［リョウメン タンペン トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

7 （ネットワーク接続の場合）
または を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh 名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 OK を押す

9 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足
ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくはP.224を参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

3 または を押して「スキャン to OCR」を選択する

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
スキャン to OCR
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン to FTP
 スキャン to Eメール
 スキャン to イメージ゛
▼スキャン to OCR
▲▼デ゛センタク&OKホ゛タン
```

4 OK を押す

5 ▲ または ▼ を押して［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾁｮｳﾍﾝ　ﾄｼﾞ］、［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾀﾝﾍﾟﾝ　ﾄｼﾞ］または［ｶﾀﾒﾝ］を選択する

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾁｮｳﾍﾝ　ﾄｼﾞ］または［ﾘｮｳﾒﾝ　ﾀﾝﾍﾟﾝ　ﾄｼﾞ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 OK を押す

7 （ネットワーク接続の場合）

▲ または ▼ を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力してください。

8 OK を押す

9 カラー スタート または スタート モノクロ を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

● Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、Macintoshの指定したフォルダに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、P.224 を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 Scan を押す

Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

3 **▲または▼を押して「スキャン to ファイル」を選択する**

- DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合は手順6に進んでください。
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合は手順4に進んでください。

DCP-9040CN/MFC-9440CN/MFC-9450CDN

```
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
スキャン to ファイル   ▲▼
```

MFC-9640CW/MFC-9840CDW

```
▲スキャン to Eメール
 スキャン to イメージ゛
 スキャン to OCR
▼スキャン to ファイル
▲▼デ゛センタク&OKボ゛タン
```

4 **OKを押す**

5 **▲または▼を押して［リョウメン チョウヘン トジ］、［リョウメン タンペン トジ］または［カタメン］を選択する**

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして［リョウメン チョウヘン トジ］または［リョウメン タンペン トジ］を選択してください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

6 **OKを押す**

7 **（ネットワーク接続の場合）**

▲または▼を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh 名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 **OKを押す**

9 **カラー スタート または モノクロ スタート を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  ユーザ¥xxx¥ピクチャ
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxxx：通し番号

●ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

アプリケーションからスキャンする

Macintosh側で、TWAIN対応のアプリケーションを操作してスキャンします。

TWAINドライバを使ってスキャンする

Macintoshからスキャンする場合は、TWAINドライバを使用し、TWAIN対応のアプリケーション（Presto! PageManager、Adobe® Photoshop®など）から実行します。本製品がDevice Selectorで選択されていることを確認してください。

1 **Macintosh を起動してアプリケーションソフトを起動する**

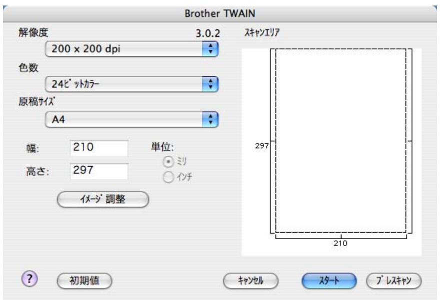
2 **ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットする**

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

3 **Brother TWAIN のスキャナウィンドウを表示させる**

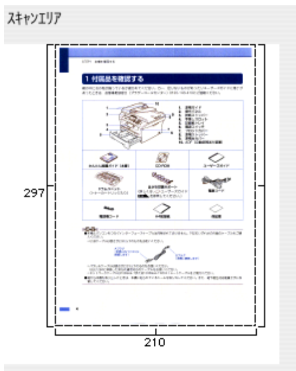
お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。

- Presto! PageManagerの場合
  ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］の順に選択する



4 **［プレスキャン］をクリックする**

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。



5 **点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する**

6 **必要に応じてスキャナウィンドウ内の項目を設定する**

設定項目の詳細については、P.189 を参照してください。

7 **［スタート］ボタンをクリックする**

スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

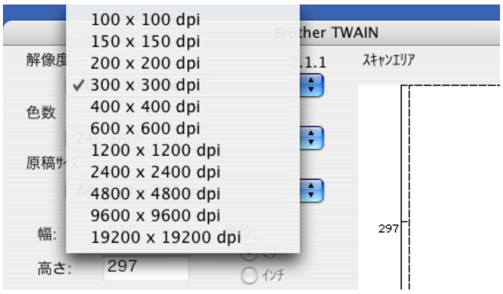
Windows®編
Macintosh編
本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

TWAINダイアログボックスの設定項目

TWAINダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

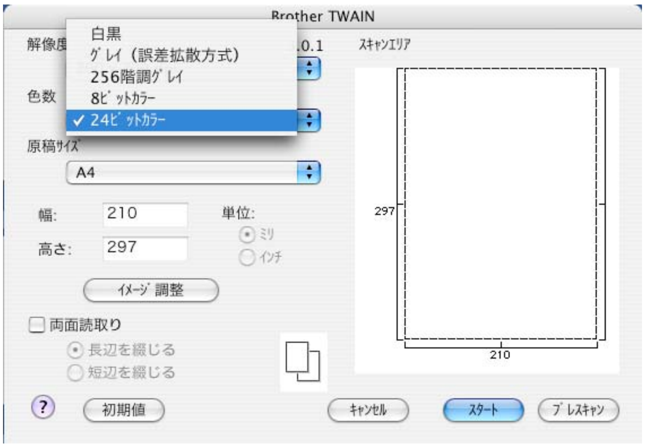
● 解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。



● 色数

取り込む色数を設定します。



白黒

線画およびテキストのとき。

グレイ（誤差拡散方式）

写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。

256 階調グレイ

写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。

8 ビットカラー

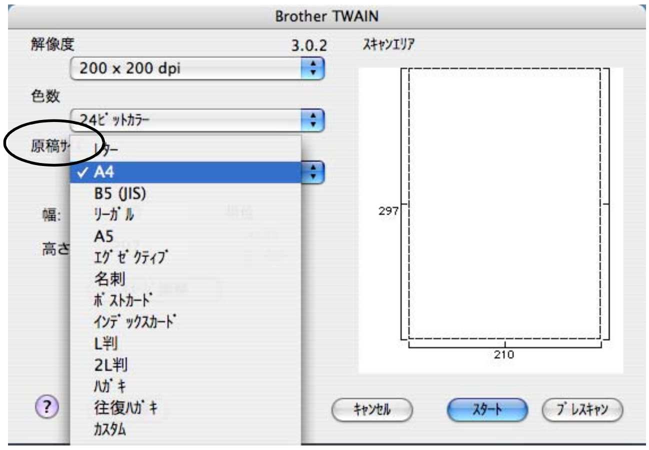
256色のカラーで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。（解像度1200×1200dpi以上は対応していません。）

24 ビットカラー

1677万色のカラーで取り込みます。「8ビットカラー」の約3倍の容量です。

● 原稿サイズ

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。



● イメージ調整

［イメージ調整］ボタンをクリックして、「明るさ」「コントラスト」「ColorSync」を調整します。
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

「ColorSyncは」、ColorSyncを使って色補正を行う場合の基準を設定します。

- マッチングスタイル

  知覚的（画像）…写真のようなイメージのとき選びます。

  彩度（グラフィックス）…はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。

  相対的な色域を維持…色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。

  絶対的な色域を維持…シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル

  本製品を選びます。



自動両面スキャンする（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読取ることができます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**

2 **［両面読取り］のチェックボックスにチェックする**

［長辺を綴じる］または［ 短辺を綴じる］を選択します。

3 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整する**

4 **［スタート］ボタンをクリックする**

スキャンが終了したら［キャンセル］ボタンをクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

●スキャンする範囲をドラッグして調整することはできません。

●［プレスキャン］ボタンは、使用することができません。

Macintosh編

3章

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからの設定

本製品のスキャン機能のうち、スキャン to Eメール送信、スキャン to FTP、スキャン to USBでは、解像度とファイル形式の初期設定を以下の手順で変更できます。

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

1 **メニュー、7 PQRS、4 GHI の順に押す**

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 **▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

3 **OK を押す**

4 **▲または▼を押して画像の形式を選択する**

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

5 **OK を押す**

スキャン to FTPの初期設定を変更する

1 (DCP-9040CN)

メニュー、4 GHI、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC-9450CDN)

メニュー、7 PQRS、3 DEF の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、7 PQRS、5 JKL の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー 150 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200×100dpi

3 OK を押す

4 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、[PDF] か [JPEG] を選択します。
- モノクロを選択した場合は、[PDF] か [TIFF] を選択します。

5 OK を押す

スキャン to USBの初期設定を変更する（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

解像度と画像の形式を変更する

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 ▲または▼を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー 150 dpi
- カラー 300 dpi
- カラー 600 dpi
- モノクロ 200 dpi
- モノクロ 200×100dpi

3 OK を押す

4 ▲または▼を押して画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

5 OK を押す

ファイル名を変更する

1 メニュー、5 JKL、2 ABC、2 ABC の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2 新しいファイル名を入力する

ファイル名は 6 文字まで入力できます。

3 OK を押す

FTPの送信先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーに送信する際の送信先を、あらかじめFTPプロファイルとして10件まで登録しておくことができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名 15字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............60字以内
- ユーザ名 32字以内
- パスワード...32字以内
- 送信先フォルダ 60字以内

1 ウェブブラウザのアドレス入力欄に、http://ip address（ip address はご使用になる本製品の IP アドレス）を入力する

パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です）。

2 「スキャン FTP」をクリックする

3 登録したい「プロファイル」をクリックする



4 FTP サーバーのプロファイル名を入力する

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



5 「FTP サーバアドレス」に FTP サーバーのドメイン名を入力する

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

Windows®編
Macintosh編
目次・本書の使い方
プリンタ
スキャナ
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクスを使用する
インターネットファクス
その他の便利な使い方（ControlCenter2）
付録

6 FTP サーバーにログインするためのユーザ名を入力する

7 FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力する

8 スキャンした原稿の送信先フォルダを入力する

送信先フォルダのパスを入力します。（例：brother/abc）

9 プルダウンリストから、画像を保存するファイル名を選択する

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、次の「オリジナルファイル名を登録する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナのカウンタ（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori098765.pdf）。

10 プルダウンリストから解像度とモノクロ / カラーを選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　150　dpi
- カラー　300　dpi
- カラー　600　dpi
- モノクロ　200　dpi
- モノクロ　200×100dpi

11 プルダウンリストから画像の形式を選択する

- カラーを選択した場合は、［PDF］か［JPEG］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］か［TIFF］を選択します。

12 パッシブモードを設定する

お使いの FTP サーバーやファイアウォールの設定によって、ON または OFF に設定します。
お買い上げ時は ON に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

13 ポート番号を設定する

FTP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。
お買い上げ時は 21 番に設定されています。
ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありません。

14 OK をクリックする

設定した内容で、FTP プロファイルが登録されます。

オリジナルファイル名を登録する

ファイル名は、用意されている7種類のほかに好みのものを2種類登録できます。

1　スキャン to FTP の画面で、［オリジナルファイル名登録］をクリックする



2　オリジナルファイル名の入力欄に登録したいファイル名を入力し、［OK］をクリックする

- ファイル名は半角英数字で15文字まで入力できます。



Macintosh編

4章

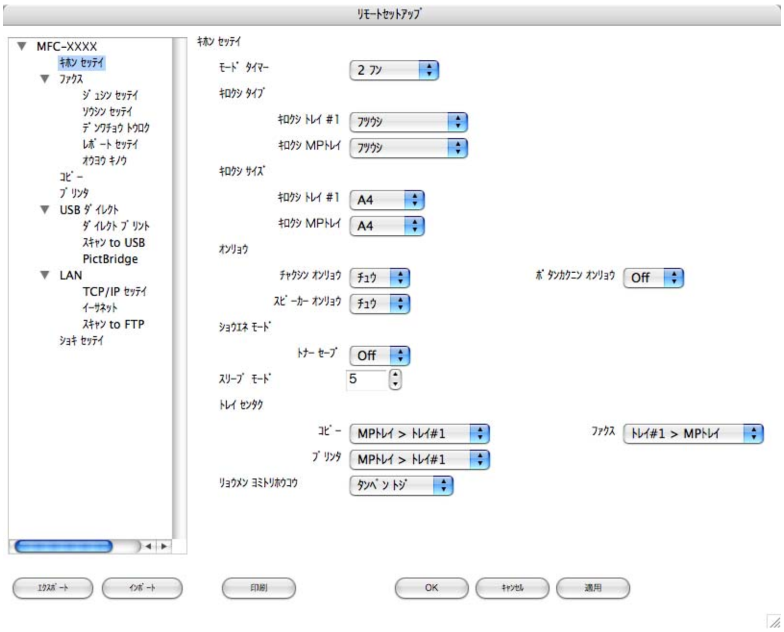
リモートセットアップ（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintoshで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［Remote Setup］アイコンをダブルクリックします。
※ネットワーク環境でリモートセットアップ機能をお使いの場合、パスワードの入力が必要です。お買い上げ時のパスワードは、「access」に設定されています。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド 2章の「ファクスを受信する」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintoshにダウンロードされ、画面上に表示されます。

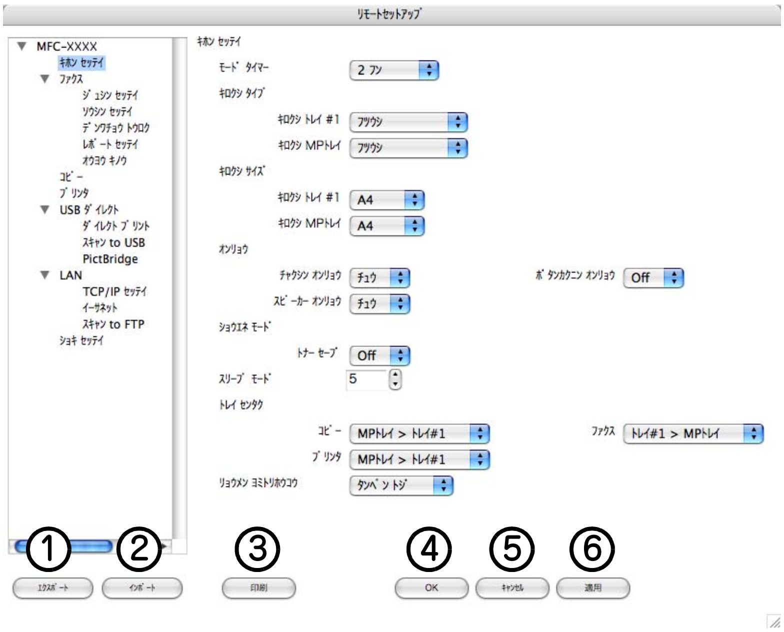
補足

- この章では、MFC-9440CNの画面を例に説明しています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いの Macintosh に Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- セキュリティ保護機能を持つ市販のソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「デンワチョウ　トウロク」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド（MFC-9440CN 4章, MFC-9450CDN 4章, MFC-9640CW/MFC-9840CDW 5章)の「レポート・リストの印刷」を参照ください。）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

補足

- エクスポート、インポートの機能を使うと、本製品の設定を独立したファイルにそれぞれ保存して設定内容を読み込むことができます。
- 機能の分類の中から、各機能（例：デンワチョウトウロク）を選択して［エクスポート］をクリックしてください。各機能ごとに設定が保存されます。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

● MFC-9440CN

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	－	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	－	×
	セキュリティセッテイロック	－	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	×
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ／メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ナンバー　プレフィックス	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	アカルサ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	－	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
	インサツ　カラー	－	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	－	×
	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	×
		ホセイ　ヒンド	○
	シュドウイロズレホセイ	イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	○
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	ＬＡＮセッテイナイヨウリスト	－	×
ＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
		ＩＰ　アドレス	○
		サブネット　マスク	○
		ゲートウェイ	○
		ノード　メイ	○
		ＷＩＮＳ　セッテイ	○
		ＷＩＮＳ　サーバ	○
		ＤＮＳ　サーバ	○
		ＡＰＩＰＡ	○
		ＩＰｖ６	○
	イーサネット	－	○
	スキャン　ｔｏ　ＦＴＰ	－	○
	ＬＡＮセッテイ　リセット	－	×
セイヒン　ジョウホウ	シリアル　Ｎｏ．	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	ショウモウヒン　ジュミョウ	ドラム　ジュミョウ	×
		ベルト　ジュミョウ	×
		ＰＦキットＭＰ　ジュミョウ	×
		ＰＦキット１　ジュミョウ	×
		ＰＦキット２　ジュミョウ※1	×
		ヒーター　ジュミョウ	×
		レーザー　ジュミョウ	×
	ショウモウヒン　リセット	－	×
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	－	×
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×
	コジンジョウホウ_クリア	－	×
	キノウセッテイ　リセット	－	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×

※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。

● MFC-9450CDN

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	−	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	−	×
	セキュリティセッテイロック	−	×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフジョ	○
		ソウフジョ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ／ワンタッチ	×
		デンワチョウ／タンシュク	○
		デンワチョウ／グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ／メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ナンバー　プレフィックス	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	アカルサ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	－	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
	インサツ　カラー	－	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	－	×
	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	×
		ホセイ　ヒンド	○
	シュドウイロズレホセイ	イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	○
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ	×
		インサツ	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン	×
		ナマエジュン	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	LANセッテイナイヨウリスト	－	×

分類	中分類	項目	設定の可否
LAN	TCP/IP セッテイ	IP シュトク ホウホウ	○
		IP アドレス	○
		サブネット マスク	○
		ゲートウェイ	○
		ノード メイ	○
		WINS セッテイ	○
		WINS サーバ	○
		DNS サーバ	○
		APIPA	○
		IPv6	○
	イーサネット	−	○
	スキャン to FTP	−	○
	LANセッテイ リセット	−	×
セイヒン ジョウホウ	シリアル No.	−	×
	インサツマイスウ ヒョウジ	−	×
	ショウモウヒン ジュミョウ	ドラム ジュミョウ	×
		ベルト ジュミョウ	×
		PFキットMP ジュミョウ	×
		PFキット1 ジュミョウ	×
		PFキット2 ジュミョウ※1	×
		ヒーター ジュミョウ	×
		レーザー ジュミョウ	×
	ショウモウヒン リセット	−	×
ショキ セッテイ	ジュシン モード	−	○
	トケイ セット	−	○
	ハッシンモト トウロク	−	○
	カイセンシュベツ セッテイ	−	○
	ダイヤルトーン セッテイ	−	×
	トクベツカイセン タイオウ	−	×
	ナンバー ディスプレイ	−	×
	コジンジョウホウ_クリア	−	×
	キノウセッテイ リセット	−	×
	ヒョウジ ゲンゴ	−	×

※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。

● MFC-9640CW/MFC-9840CDW

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	−	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　MPトレイ	○
		キロクシ　トレイ#1	○
		キロクシ　トレイ#2※1	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ	○
		ボタンカクニン　オンリョウ	○
		スピーカー　オンリョウ	○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ	○
		スリープ　モード	○
	トレイ　センタク	コピー	○
		ファクス	○
		プリンタ	○
	ガメンノ　コントラスト	−	×
	セキュリティ	セキュリティ　セッテイロック	×
		セキュリティ　キノウロック	×
	リョウメン　ヨミトリホウコウ	−	○
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		ジュシン　スタンプ	○
		リョウメン　インサツ※2	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ/ワンタッチ	○
		デンワチョウ/タンシュク	○
		デンワチョウ/グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	オウヨウ　キノウ	テンソウ／メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ナンバー　プレフィックス	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	アカルサ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー　チョウセイ	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンタ	エミュレーション	－	×
	プリンタ　オプション	フォント　リスト	×
		プリンタ　セッテイ	×
		テスト　プリント	×
		リョウメン　インサツ※2	○
	インサツ　カラー	－	○
	プリンタ　セット	ケッテイ	×
	イロ　ホセイ	－	×
プリンタ	ジドウイロズレホセイ	イロズレホセイ　ジッシ	×
		ホセイ　ヒンド	○
	シュドウイロズレホセイ	イロズレチャート　インサツ	×
		ホセイチ　ニュウリョク	○
USBダイレクト	ダイレクト　プリント	キロクシ　サイズ	○
		キロクシ　タイプ	○
		レイアウト	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ブタンイ	○
		インサツ　ヒンシツ	○
		PDFオプション	○
		インデックス　セッテイ	○
	スキャン　to　USB	カイゾウド	○
		ファイルメイ	○
	PictBridge	キロクシ　サイズ	○
		インサツ　ノ　ムキ	○
		ヒヅケ　インサツ	○
		ファイルメイ　インサツ	○
		インサツ　ヒンシツ	○

分類	中分類	項目		設定の可否
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	ヒョウジ		×
		インサツ		×
	キノウアンナイ	−		×
	デンワチョウ　リスト	メモリーバンゴウジュン		×
		ナマエジュン		×
	ツウシン　カンリ　レポート	−		×
	セッテイナイヨウ　リスト	−		×
	チャクシンリレキ　リスト	−		×
	ＬＡＮセッテイナイヨウリスト	−		×
ＬＡＮ	ユウセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		イーサネット	−	○
		ショキセッテイ　ニ　モドス	−	×
		ユウセンＬＡＮ　ユウコウ	−	×
	ムセンＬＡＮ	ＴＣＰ／ＩＰセッテイ	ＩＰ　シュトク　ホウホウ	○
			ＩＰ　アドレス	○
			サブネット　マスク	○
			ゲートウェイ	○
			ノード　メイ	○
			ＷＩＮＳ　セッテイ	○
			ＷＩＮＳ　サーバ	○
			ＤＮＳ　サーバ	○
			ＡＰＩＰＡ	○
			ＩＰｖ６	○
		セツゾク　ウィザード	−	×
		ＡＯＳＳ	−	×
		ムセン　ジョウタイ	セツゾク　ジョウタイ	×
			デンパ　ジョウタイ	×
			ＳＳＩＤ	×
			ツウシン　モード	×
		ショキセッテイ　ニ　モドス	−	×
		ムセンＬＡＮ　ユウコウ	−	×

分類	中分類	項目		設定の可否
LAN	IFAX セッテイ	インターネット セッテイ	メール アドレス	○
			SMTP サーバ	○
			SMTP ポート	○
			SMTP Auth.	○
			POP3 サーバ	○
			POP3 ポート	○
			アカウント メイ	○
			パスワード	○
		メール ジュシン セッテイ	ジドウ ジュシン	○
			ポーリング カンカク	○
			ヘッダ インサツ	○
			エラー メール サクジョ	○
			ジュシン カクニン	○
		メール ソウシン セッテイ	メールタイトル	○
			サイズ セイゲン	○
			ジュシンカクニンヨウキュウ	○
		リレー セッテイ	リレー キョカ	○
			キョカ ドメイン	○
			リレー レポート	○
	スキャン to Eメール	−		○
	スキャン to FTP	−		○
	タイム ゾーン	−		○
	LANセッテイ リセット	−		×
セイヒン ジョウホウ	シリアル No.	−		×
	インサツマイスウ ヒョウジ	−		×
	ショウモウヒン ジュミョウ	ドラム ジュミョウ		×
		ベルト ジュミョウ		×
		PFキットMP ジュミョウ		×
		PFキット1 ジュミョウ		×
		PFキット2 ジュミョウ		×
		ヒーター ジュミョウ		×
		レーザー ジュミョウ		×
	ショウモウヒン リセット	−		×
ショキ セッテイ	ジュシン モード	−		○
	トケイ セット	−		○
	ハッシンモト トウロク	−		○
	カイセンシュベツ セッテイ	−		○
	ダイヤルトーン セッテイ	−		×
	トクベツカイセン タイオウ	−		×
	ナンバー ディスプレイ	−		×
	コジンジョウホウ_クリア	−		×
	キノウセッテイ リセット	−		×
	ヒョウジ ゲンゴ	−		×

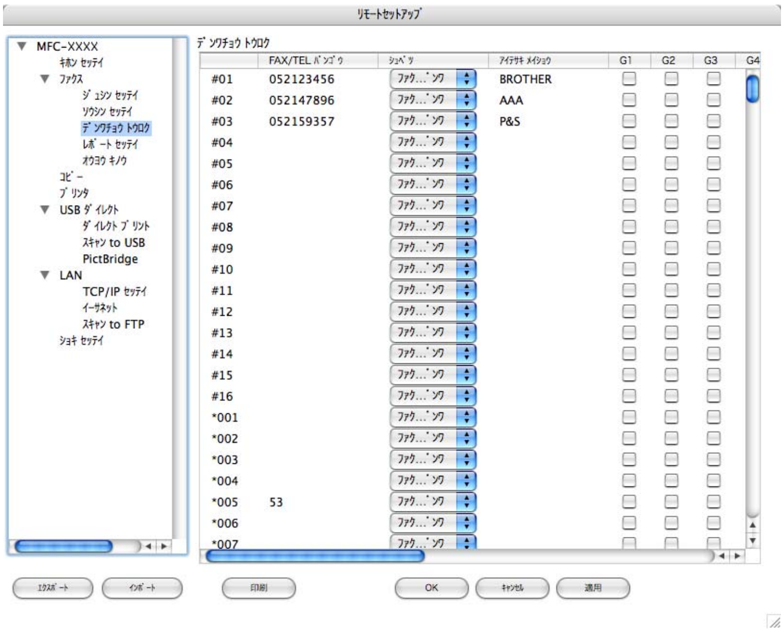
※1：オプションの増設記録紙トレイLT-100CLを装着すると表示されます。
※2：MFC-9840CDWのみ

補足

●各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド 2章の「ファクスを受信する」を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「デンワチョウ　トウロク」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大16件（1～16、MFC-9440CN/MFC-9450CDN）
  最大40件（1～40、MFC-9640CW/MFC-9840CDW）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号、またはメールアドレス（MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

1 左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL バンゴウ」※をダブルクリックし、電話番号、ファクス番号またはメールアドレス（MFC-9640CW/MFC-9840CDW のみ）を入力する

※ MFC-9640CW/MFC-9840CDW の場合は、［ファクス／デンワ／Eメール］

3 種別を選ぶ

- MFC-9440CN/MFC-9450CDNの場合：「ファクス／デンワ」のみ
- MFC-9640CW/MFC-9840CDWの場合：「ファクス／デンワ」または「Eメール」

4 「アイテサキ　メイショウ」に相手先の名前を入力する

5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ３に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 **［OK］をクリックする**

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

1 **左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ**

電話帳登録の画面が表示されます。

2 **種別でグループを選ぶ**

グループ番号は「1 ～ 20」から選びます。
例）ここでは「グループ 2」を選びます。

3 **「アイテサキ　メイショウ」にグループ名を入力する**

4 **グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする**

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

5 **［OK］をクリックする**

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

5章

PCファクス（MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ）

Macintoshからファクスを送る

PCファクスを利用すると、Macintosh上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。あらかじめ、PCファクスのアドレスブックに相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

- ●Mac　OS　X の最新バージョンの対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しています。以下のサイトを参照してください。http://solutions.brother.co.jp/
- ●PCファクスは、モノクロのみ対応しています。

1 Macintosh のアプリケーションでファイルを作成する

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認してください。

- Mac OS X 10.2.4～10.4.xの場合は、手順4に進みます。
- Mac OS X 10.5.xの場合は、手順3に進みます。

Mac OS X 10.2.4～10.4.x

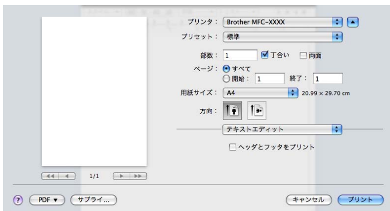


Mac OS X 10.5.x

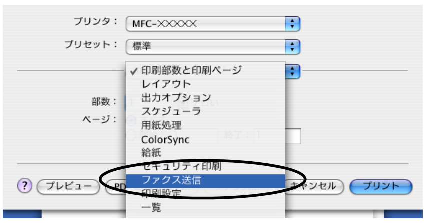


3 ［プリンタ］ポップアップメニュー横の▼をクリックする

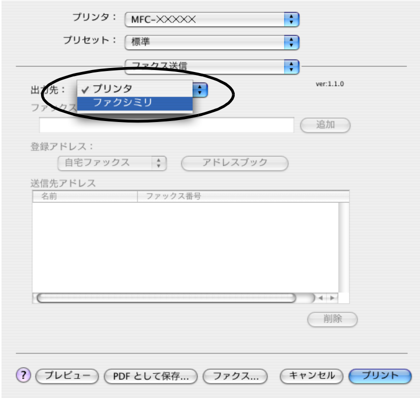




4 プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

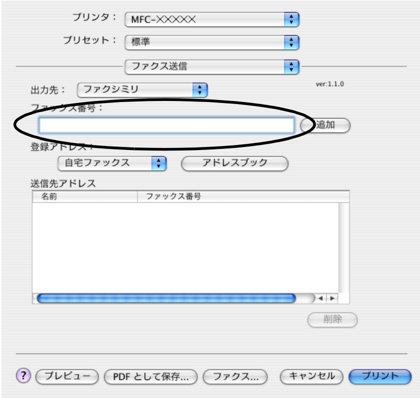


5 ［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する



6 ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作をくり返して、すべてのファクス番号を入力します。



7 ［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

アドレスブックを利用する

Mac OS X 10.2.4～10.4.xの場合

アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

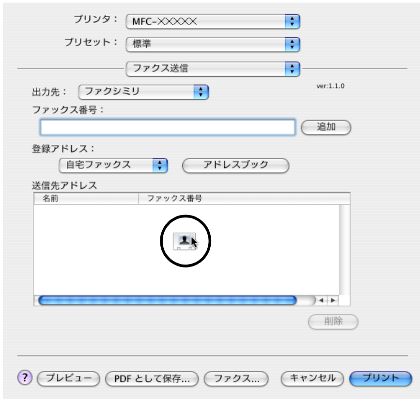
1 **［アドレスブック］をクリックする**

［アドレスブック］が起動します。

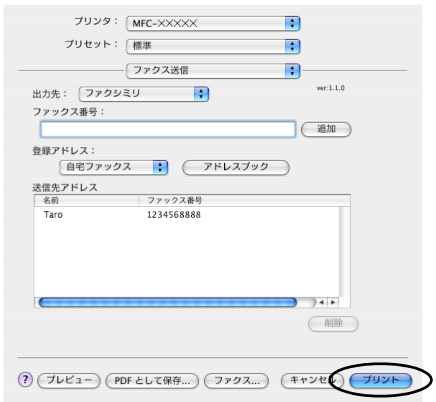


2 **アドレスブックから vCard を［送信先アドレス］までドラッグする**

［送信先アドレス］に番号が表示されます。



3 **ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする**



注意

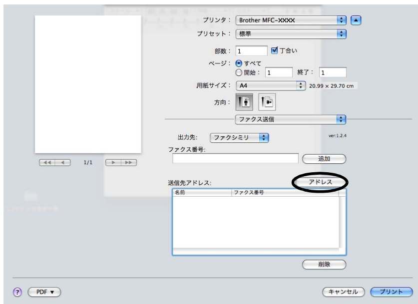
■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

Mac OS X 10.5.xの場合

1 **［アドレス］をクリックする**

［アドレスブック］が起動します。

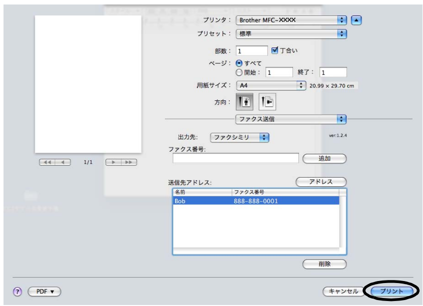


2 **ファクスの送信先を選択して、［宛先］をクリックする**

［送信先アドレス］に番号が表示されます。



3 **ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする**



Macintosh編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の画面

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。



①スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P.223 を参照してください。

②カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。P.225 を参照してください。

③コピー /PC-FAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。P.227 を参照してください。
また、スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P.227 を参照してください。
DCP-9040CNでは、PCファクス機能は使用できません。

④デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。P.229 を参照してください。

ControlCenter2を起動する

1 **[MacintoshHD] － [ライブラリ] － [Printers] － [Brother] － [Utilities] － [ControlCenter] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする**

メニューバーに が表示されます。

起動時の動作を設定する

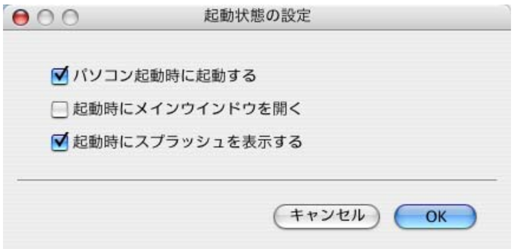
Macintoshを起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

1 **メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選択する**

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 **起動時の動作を選択する**

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：
  ControlCenter2 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。



3 **[OK] をクリックする**

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。



① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、Macintoshで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにMacintoshの指定したフォルダに保存します。

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。設定方法は、P.224 を参照してください。

- Windows® ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF−非圧縮（*.TIF）
- TIFF−圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ−非圧縮（*.TIF）
- TIFFマルチページ−圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィックPNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンを実行する

1 **原稿をセットして設定したボタンをクリックする**

設定に従ってスキャンが実行されます。

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

1 **［control］キーを押しながらボタンをクリックする**

2 **［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する**

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］をクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合



3 **［OK］をクリックする**

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4 つまで登録できます。



よく使う設定を登録する

1 **［control］キーを押しながらボタンをクリックする**

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。



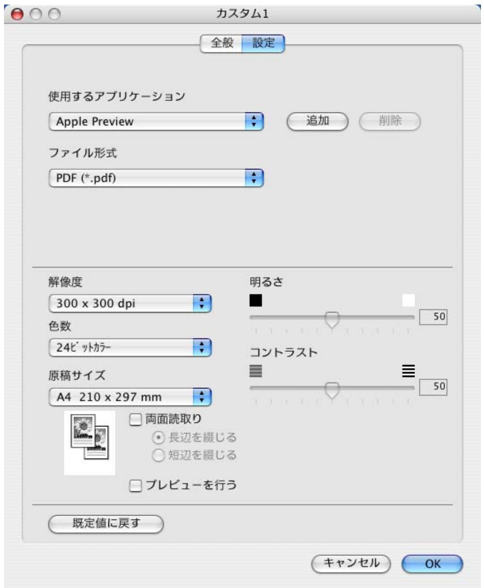
2 **「カスタム 1 の名前」に名前を入力する**

3 **スキャンの種類を選択する**

スキャンの種類は「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。



5 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PCファクス

原稿をコピーしたり、Macintoshからファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。



コピーの設定を登録する

1 **［control］キーを押しながらボタンをクリックする**

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。



2 **「コピー 1 の名前」に名前を入力する**

3 **「コピー設定」を選択する**

「コピー設定」は、「100%」または「用紙サイズに合わせる」から選びます。

4 **他の項目を必要に応じて設定する**

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

5 **［OK］をクリックする**

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 **原稿をセットして設定したボタンをクリックする**

設定に従ってコピーが実行されます。

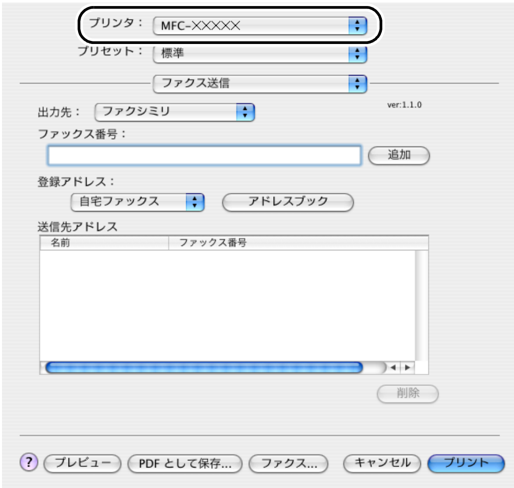
PCファクスを送信する

1 **原稿をセットして、[control] キーを押しながらボタンをクリックする**

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 **「プリンタ」で本製品を選択する**

PC ファクス送信の操作については、P.216 の手順 3 以降をご覧ください。



デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。



① リモートセットアップ

Macintosh上で本製品に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、P.200 を参照してください。

② 電話帳

Macintosh上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

詳しくは、P.213 を参照してください。

③ ステータスモニタ

Macintosh上で本製品のステータスモニタが確認できます。

詳しくは、P.158 を参照してください。

付　録

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド(DCP-9040CN 3章, MFC-9440CN 7章, MFC-9450CDN 7章, MFC-9640CW/MFC-9840CDW 8章)の「エラーメッセージ」を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド(DCP-9040CN 3章, MFC-9440CN 7章, MFC-9450CDN 7章, MFC-9640CW/MFC-9840CDW 8章)の「故障かな？と思ったら」を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

エミュレーションモードの設定

印刷データを受け取ったとき、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷することができます。下記のエミュレーションモードが自動で選択されます。

● HP LaserJet モード

HP LaserJet モード（HP モード）は、ヒューレット・パッカードLaserJet レーザープリンタのPCL6 言語互換のエミュレーションモードです。
アプリケーションソフトがヒューレット・パッカード LaserJet レーザープリンタの PCL6 言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

● BR-Script 3 モード

BR-Script 3 モードは、当社独自の言語とPostScript® 言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。
レベル3 のPostScript® に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScript® のコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

1

(DCP-9040CN)

メニュー、3 DEF、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

(MFC-9440CN/MFC-9450CDN/MFC-9640CW/MFC-9840CDW)

メニュー、4 GHI、1 の順に押す

▲または▼で選択して OK で決定することも可能です。

2

▲または▼を押して「ジドウ」、「HP　LaserJet」または「BR－Script 3」を選択する

お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

3

OK を押す

エミュレーションモードが登録されます。

4

停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

使用環境

コンピュータ環境〔Windows®〕

本製品とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。またサポートサイト（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home/Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）、または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

補足
上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home/XP Professional/XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE802.11b/g）［MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ］

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- ソフトウェアやドライバのインストール時は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

コンピュータ環境〔Macintosh〕

本製品とMacintoshを接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
サポートサイト（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS X 10.2.4～10.4.3（ただし、Mac OS X 10.3.0～10.3.8を除く）/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS X 10.2.4～10.4.3（ただし、Mac OS X 10.3.0～10.3.8を除く）、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz
Mac OS X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB2.0（USB1.1対応のMacintoshでもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE802.11b/g）［MFC-9640CW/MFC-9840CDWのみ］

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS X 10.2.3 までをお使いの場合は、Mac OS X 10.2.4 以降（ただし、Mac OS X 10.3.0 ～ 10.3.8 を除く）へのアップグレードが必要となります。

索　引